

383
171

383-171
1200501499218

0

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5

始





名古屋博覽會總覽



博覽會總覽目次

第一編 博覽會

| | | |
|--------|----------|----|
| 第一章 | 總論 | 一 |
| 第一節 | 名古屋市の商工業 | 一 |
| 第二節 | 博覽會開催の趣意 | 六 |
| 第二章 | 開設 | 八 |
| 第一節 | 役員 | 八 |
| 第二節 | 諸規程 | 一〇 |
| 第三節 | 徴收 | 一〇 |
| 第三章 | 土地及建物 | 一〇 |
| 第一節 | 位置 | 一〇 |
| 第二節 | 敷地 | 一〇 |
| 一、會場本部 | 一〇 | |
| 二、會場東部 | 一〇 | |
| 三、其他 | 一〇 | |
| 第三節 | 各館の配置 | 一〇 |
| 第四節 | 普通建築物 | 一〇 |

博覽會總覽目次

| | |
|---------|----|
| 一、奉祝門 | 九〇 |
| 二、正門 | 九〇 |
| 三、奉祝塔 | 九一 |
| 四、本門 | 九一 |
| 五、本館 | 九一 |
| 六、機械館 | 九一 |
| 七、電氣館 | 九一 |
| 八、農林館 | 九二 |
| 九、大禮館 | 九二 |
| 一〇、國防館 | 九二 |
| 二、演舞場 | 九二 |
| 三、教育館 | 九二 |
| 三、衛生館 | 九二 |
| 四、家畜館 | 九三 |
| 五、日光館 | 九三 |
| 六、野外劇場 | 九三 |
| 七、小鳥館 | 九三 |
| 八、歷史館 | 九三 |
| 九、自働撮影館 | 九三 |

| | |
|--------|----|
| 一〇、聞天閣 | 九四 |
| 三、迎賓館 | 九四 |
| 三、倉庫 | 九四 |
| 三、警官詰所 | 九四 |
| 二、消防詰所 | 九四 |
| 二、賣店 | 九五 |

第五節 其他の施設

| | |
|--------------|-----|
| 一、ラヂオ館 | 九七 |
| 二、鶴々亭 | 九八 |
| 三、鶴舞公園驛 | 九八 |
| 四、博覽會郵便局 | 九九 |
| 五、赤十字社救護所 | 一〇〇 |
| 六、簡易保險局健康相談所 | 一〇一 |
| 七、構内飲食店 | 一〇一 |
| 八、新愛知飛行機陳列所 | 一〇三 |
| 九、休憩所 | 一〇四 |
| 一〇、案内所 | 一〇四 |
| 二、湯呑所 | 一〇五 |
| 三、街燈 | 一〇五 |

| | | |
|------|------------|-----|
| 三、水 | 道 | 一〇五 |
| 一四、下 | 水 | 一〇六 |
| 第六節 | 電燈及電話 | 一〇七 |
| 一、 | 電氣に關する施設方針 | 一〇七 |
| 二、 | 購入電力 | 一〇七 |
| 三、 | 電氣設備 | 一〇八 |
| 四、 | 照明 | 一一一 |
| 五、 | 電話 | 一一三 |
| 第四章 | 出品 | 一一五 |
| 第一節 | 勸誘 | 一一五 |
| 第二節 | 鐵道及汽船の割引 | 一一三 |
| 第三節 | 陳列の獎勵 | 一一三 |
| 第四節 | 陳列 | 一一七 |
| 一、 | 區域 | 一一七 |
| 二、 | 方法 | 一一七 |
| 第五節 | 出品物の搬出搬入 | 一二六 |
| 第六節 | 種類 | 一二六 |
| 一、 | 本館 | 一二六 |
| 二、 | 農林館 | 一二三 |

| | | |
|-----|--------|-----|
| 三、 | 機械館 | 一二三 |
| 四、 | 電氣館 | 一二五 |
| 五、 | 衛生館 | 一二六 |
| 六、 | 家畜館 | 一二四 |
| 七、 | 小鳥館 | 一二四 |
| 第七節 | 賣約及即賣 | 一二四 |
| 一、 | 御買上品 | 一二四 |
| 二、 | 販賣所 | 一二四 |
| 三、 | 看守人 | 一二六 |
| 第八節 | 館外出品 | 一二六 |
| 第九節 | 特設館 | 一二七 |
| 一、 | 朝鮮館 | 一二七 |
| 二、 | 臺灣館 | 一二八 |
| 三、 | 北海道館 | 一二九 |
| 四、 | 滿蒙參考館 | 一五〇 |
| 五、 | 印刷館 | 一五一 |
| 第五章 | 審査及褒賞 | 一五二 |
| 第一節 | 審査 | 一五二 |
| 第二節 | 審査概評摘要 | 一五三 |

- 一、農蠶林礦業品.....一五三
- 二、染織作工業品.....一六一
- 三、機械工業品.....一六七
- 四、化學工業品.....一七二
- 五、製作工藝品.....一七九
- 六、水產食料品.....一八三
- 七、意匠圖案及特許品.....一八七
- 第三節 褒 賞.....一九〇
- 一、農蠶林礦業品.....一九〇
- 二、染織工業品.....一九九
- 三、機械工業品.....二〇八
- 四、化學工業品.....二一三
- 五、製作工業品.....二二五
- 六、水產食料品.....二二九
- 七、意匠圖案及特許品.....三三七
- 第四節 審查補助員.....三三二
- 第六章 式 典.....三三五
- 第一節 總裁官奉戴式.....三三五
- 第二節 地 鎮 祭.....三三六

- 第三節 開 會 式.....三三八
- 第四節 褒 賞 授 與 式.....三三八
- 第五節 奉 祝.....三四五
- 第六節 閉 會 式.....三四六
- 第七章 宣 傳.....三四六
- 第一節 要 領.....三四六
- 第二節 範 圍.....三四六
- 一、縣 內.....三四七
- 二、縣 外.....三四七
- 第三節 方 法.....三四七
- 一、無料入場券.....三四七
- 二、ポスター及鳥瞰圖.....三四七
- 三、繪ハガキ.....三四八
- 四、俚 談.....三四八
- 五、ピ ラ.....三四九
- 六、新聞記事.....三四九
- 七、新聞廣告.....三四九
- 八、飛 行 機.....三五〇
- 九、委托宣傳.....三五〇

一、名古屋鐵道局.....三五〇

二、愛電.....三五二

三、名古屋電.....三五二

四、瀬戸電.....三五二

五、市電氣局.....三五二

〇、案内圖.....三五二

二、博覽會日報.....三五二

三、揭示板.....三五二

三、行列.....三五二

第八章 觀覽及入場

第一節 觀覽.....三五二

一、要領.....三五二

二、諸規程.....三五二

第二節 特別觀覽.....三五二

一、美術館.....三五四

二、子供汽車.....三五四

三、サークリング.....三五四

四、飛行塔.....三五四

五、マラソントラック.....三五四

六、自働撮影館.....三五四

七、演舞場.....三五五

八、動物園.....三五五

第三節 夜間觀覽.....三五五

第四節 出品及入場券.....三五六

第五節 門鑑.....三五七

第六節 觀覽人.....三五七

第九章 警備及衛生

第一節 警備の組織.....三五九

一、守衛及看守.....三五九

二、方法.....三五九

三、警察官.....三五〇

四、其他.....三五〇

第二節 衛生.....三五〇

一、清掃.....三五〇

二、便所.....三五〇

三、撒水.....三五〇

四、飲食店.....三五〇

五、救護所.....三五〇

第三節 消防

- 一、禁煙.....三五二
- 二、消火液.....三五二
- 三、消火栓及用水桶.....三五二
- 四、自動車ポンプ.....三五二
- 五、火災報知器.....三五二
- 六、夜警.....三五二

第四節 特別警戒

- 一、陛下御駐輦當日.....三五三
- 二、御即位式當日.....三五三

第十章 接待

第一節 問天閣

第二節 迎賓館

第三節 開期中の重なる來賓

第十一章 特別陳列品及餘興

- 第一節 日光館.....三五〇
- 第二節 國防館.....三五〇
- 第三節 教育館.....三五〇
- 第四節 大禮館.....三五三

第二編 協賛會

第一章 設立

第一節 趣意と博覽會との關係

第二節 役員及會員

第三節 諸規程

第二章 事業

第一節 無料入場券

第二節 演舞場

第三節 餘興館

第四節 野外劇場

第五節 屋外餘興

第六節 福引

第十二章 廣告

第一節 廣告塔及看板

第二節 博覽會日報廣告

第五節 歷史館

第六節 菊花競技會

- 一、會議所デー……………四二
- 二、特別福引……………四二
- 三、特別景品……………四三
- 第七節 煙 火……………四三
- 第八節 子 供 の 國……………四三
- 一、子供の汽車……………四四
- 二、飛 行 塔……………四四
- 三、サークリング……………四五
- 四、マラソントラック……………四五
- 五、其他の施設……………四五
- 第九節 街 路 裝 飾……………四六
- 第三章 美 術 館……………四六
- 第一節 出 品 及 勸 誘……………四六
- 第二節 出 品 規 程……………四九
- 第三節 陳 列……………四九
- 第四節 搬 入 及 管 理……………四九
- 第五節 鑑 査 及 審 査……………四九
- 第六節 審 査 概 評 摘 要……………四九
- 第七節 褒 賞……………四九

第八節 觀 覽 者……………四五〇

第四章 聯合發展會

- 第一節 街 路 裝 飾……………四五〇
- 第二節 其 他……………五一

- 一、祝賀提灯行列……………五一
- 二、協贊賣出し……………五一
- 三、文字探しと福の神の出現……………五一
- 四、觀 覽……………五一

第三編 經費及殘務

第一章 經 費

第一節 豫 算……………四五一

第二節 決 算……………四五一

第二章 殘 務

- 第一節 殘 務 整 理……………四五一
- 第二節 記 念 品……………四五一
- 第三節 御 下 賜 品……………四五一
- 第四節 記 念 狀……………四五一

| | | |
|-----|------|-----|
| 第五節 | 感謝狀 | 四五七 |
| 第六節 | 總覽編集 | 四五八 |

第四編

結

論

| | | |
|-----|--------------|-----|
| 第一章 | 名古屋市に及ぼしたる影響 | 四五九 |
| 第二章 | 全國に及ぼしたる影響 | 四六〇 |

裁 總



賀陽宮恒憲王殿下

裁 總 副



名古屋工商會議所 頭
伊藤次郎左衛門



愛知縣知事
小幡豐治

會長



大岩勇夫
名古屋勸業協會長
名古屋市長

副 會 長



名古屋工商會議所副會長
瀧 定 助



名古屋工商會議所副會長
岡 谷 惣 助



名古屋勸業協會副會長
鈴 木 政 吉



名古屋總務部長
青 木 嗣 夫



名古屋總務部長
三 澤 寬 一

協 贊 會



會長
名古屋工商會議所頭
伊藤次郎左衛門



事務部長
名古屋工商會議所副頭
岡谷惣助



資金部長
名古屋工商會議所副頭
瀧定



事務副部長
名古屋工商會議所業部長
高松一定



資金副部長
名古屋工商會議所業工部長
青木鎌太郎



審査總長
工學博士 大河內 正敏



美術審査長
東京美術學校校長
正木 直彦



審査長
名古屋高等工業學校校長
工學博士 森 彦三



長部興餘
郎治巳井中



長部待接
七甚野淺



長部傳宣
七幸頭鬼



長部品出
郎十喜島大



長部生衛備警
衛兵茂上井



長部理經
郎太梅藤加故



問願術美
郎三鈴部宮



長部查審
郎四平崎宮



長部營工
郎次錄木青



長部副傳宣
准 富 工



長部副理經
薰 下 木



長部副品出
郎 太 勝 藤 加



事 理 務 專
雄 昌 山 宮 小



長部副待接
郎 三 篤 田 池



長部副興餘
郎 次 庄 原 金



長部副査審
信 泰 金 黒



長部副品出
通 博 藤 近



長部副傳宣
一 榮 住 久

員 查 審



長部三第
郎太萬藤伊



長部二第
郎一才田柴



長部一第
操野上



長部五第
一純屋土



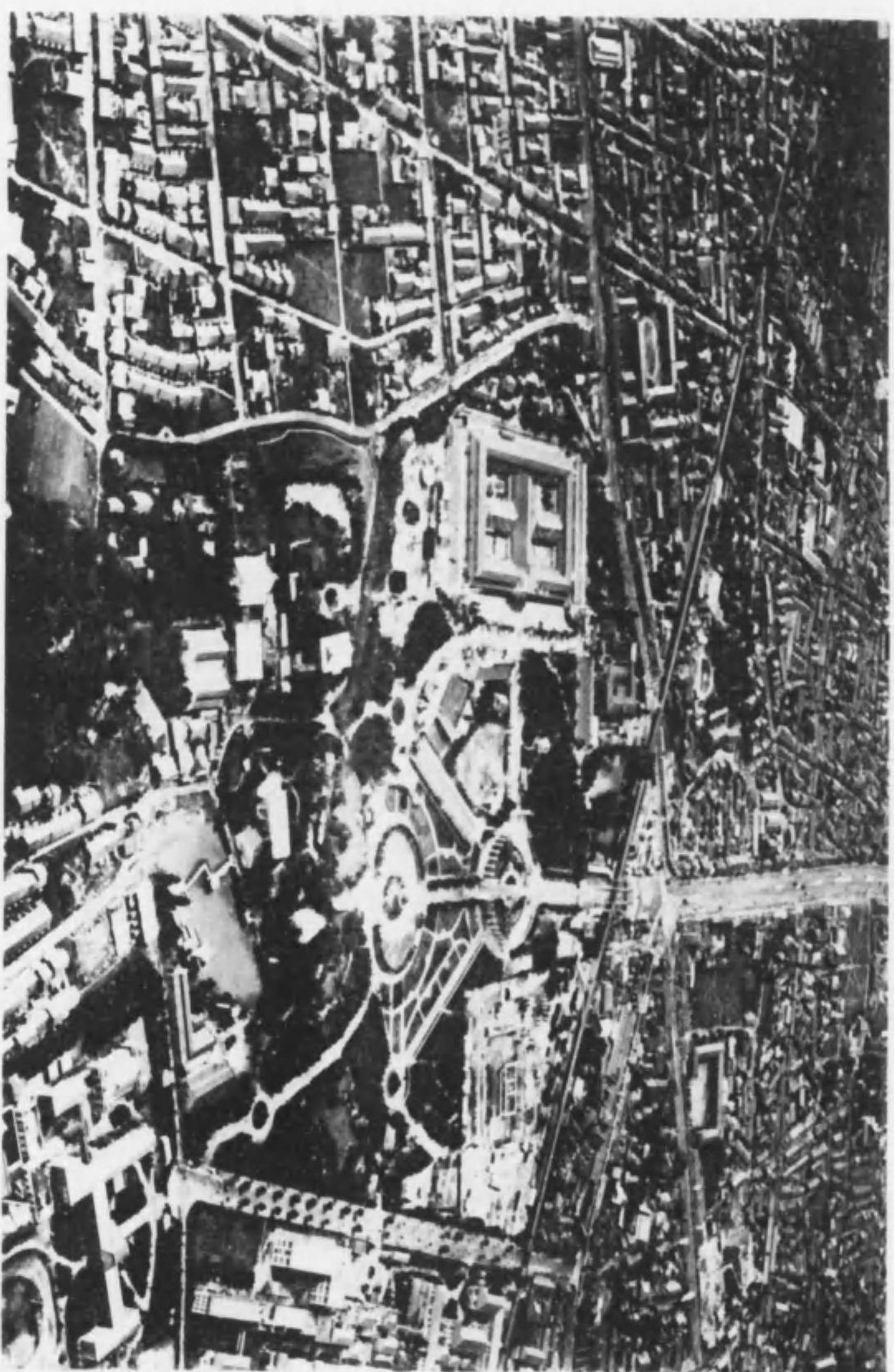
長部四第
十晃奈比朝



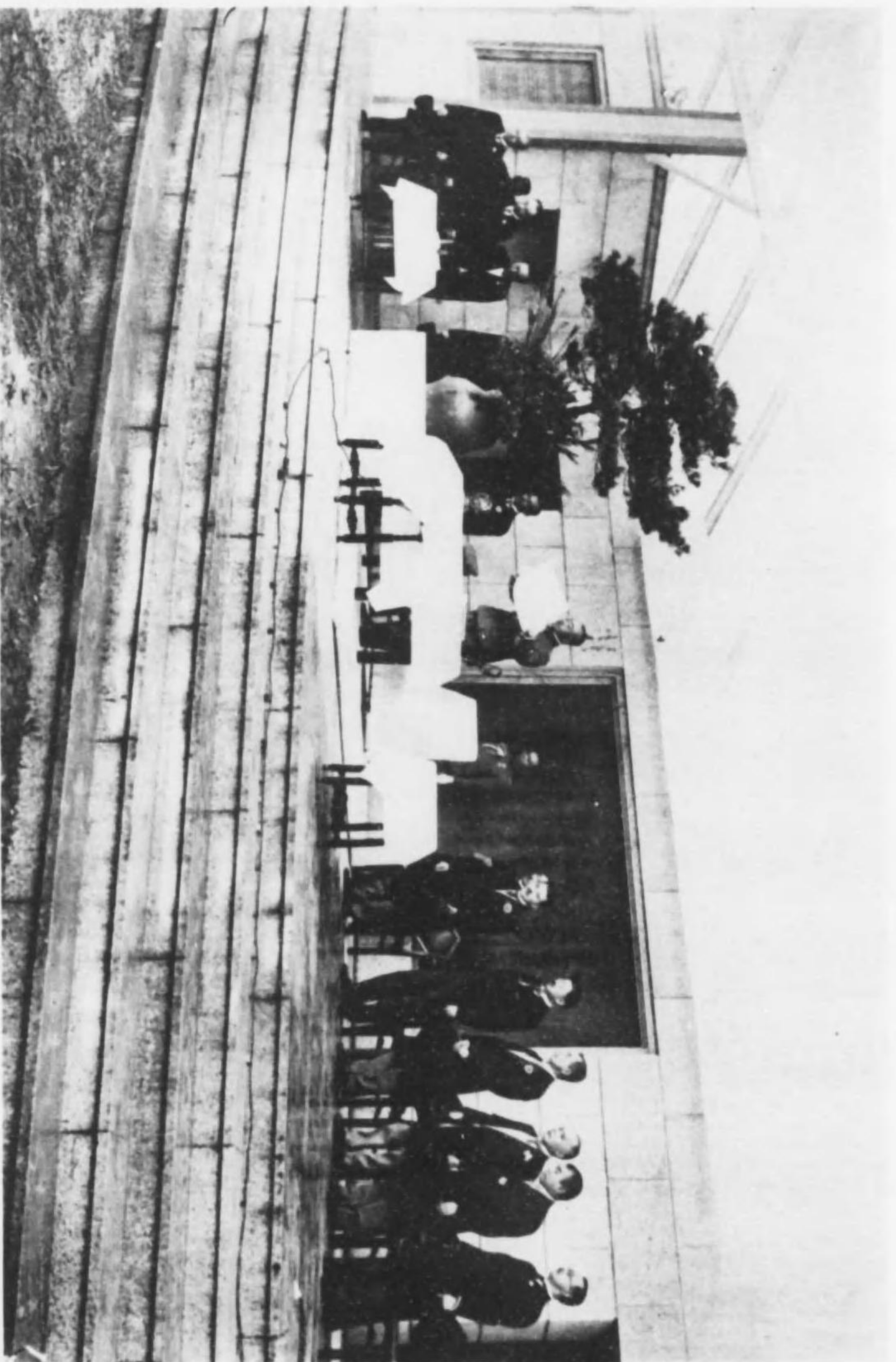
長部七第
郎治文原



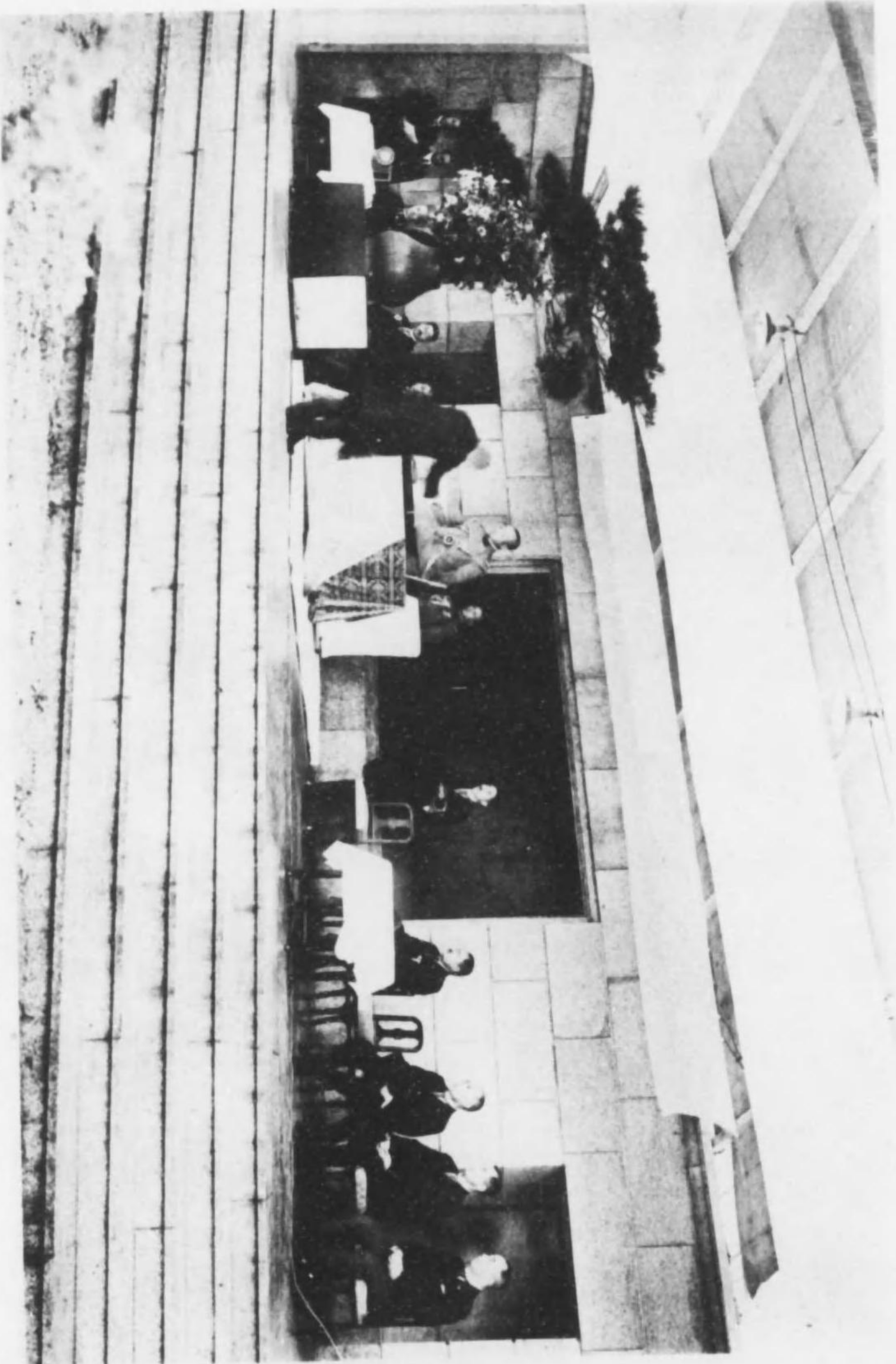
長部六第
吉春井金



會場島瞰圖



開會式に於て總裁宮殿下御旨賜ふ



授親御賞褒下殿宮裁總て於に式與授賞褒

御巡覧の賀陽宮殿下御一族



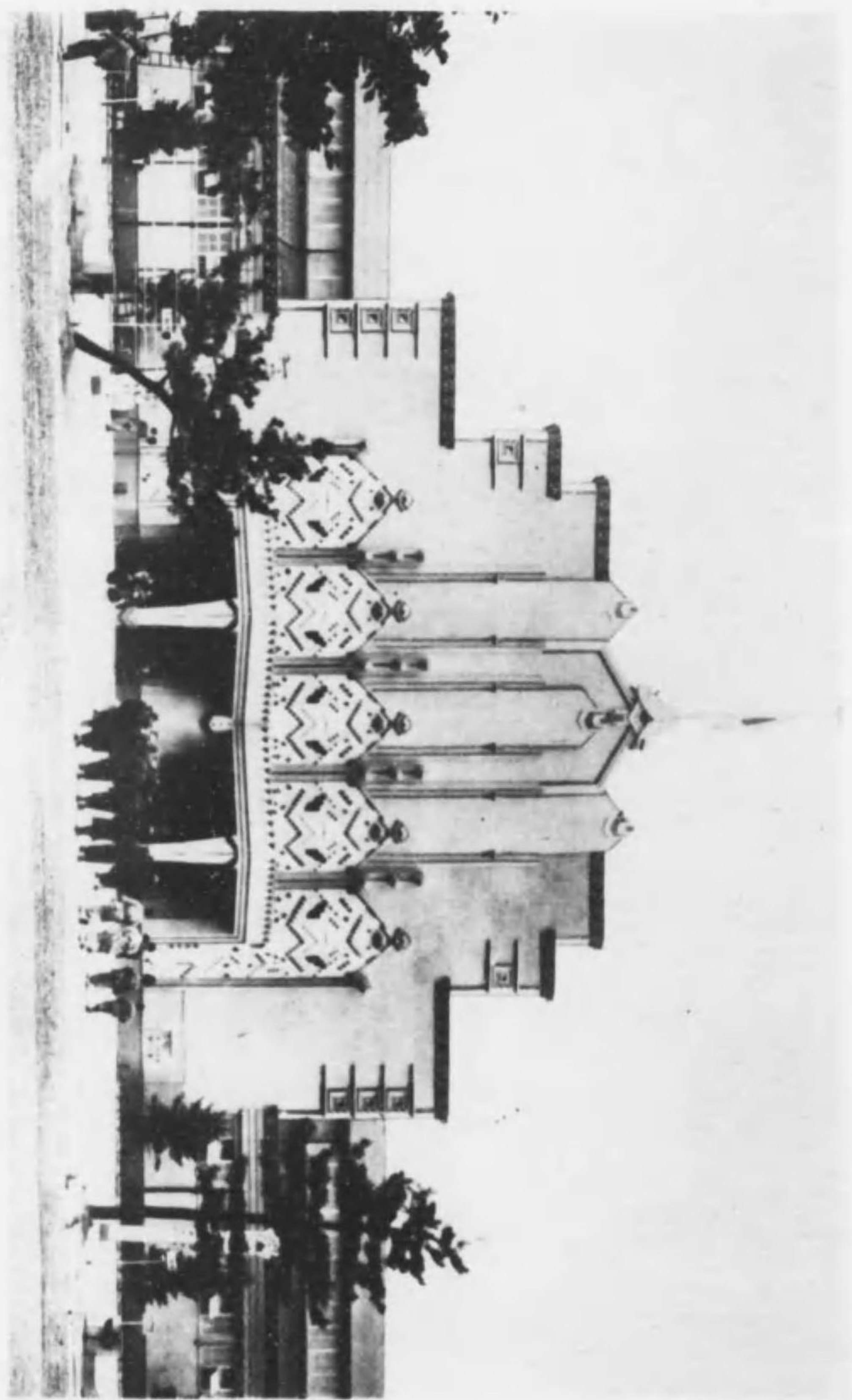
御巡覧の閑院宮殿下

奉 祝 塔



名古屋驛前奉祝門(建架中)

館 本



門 正

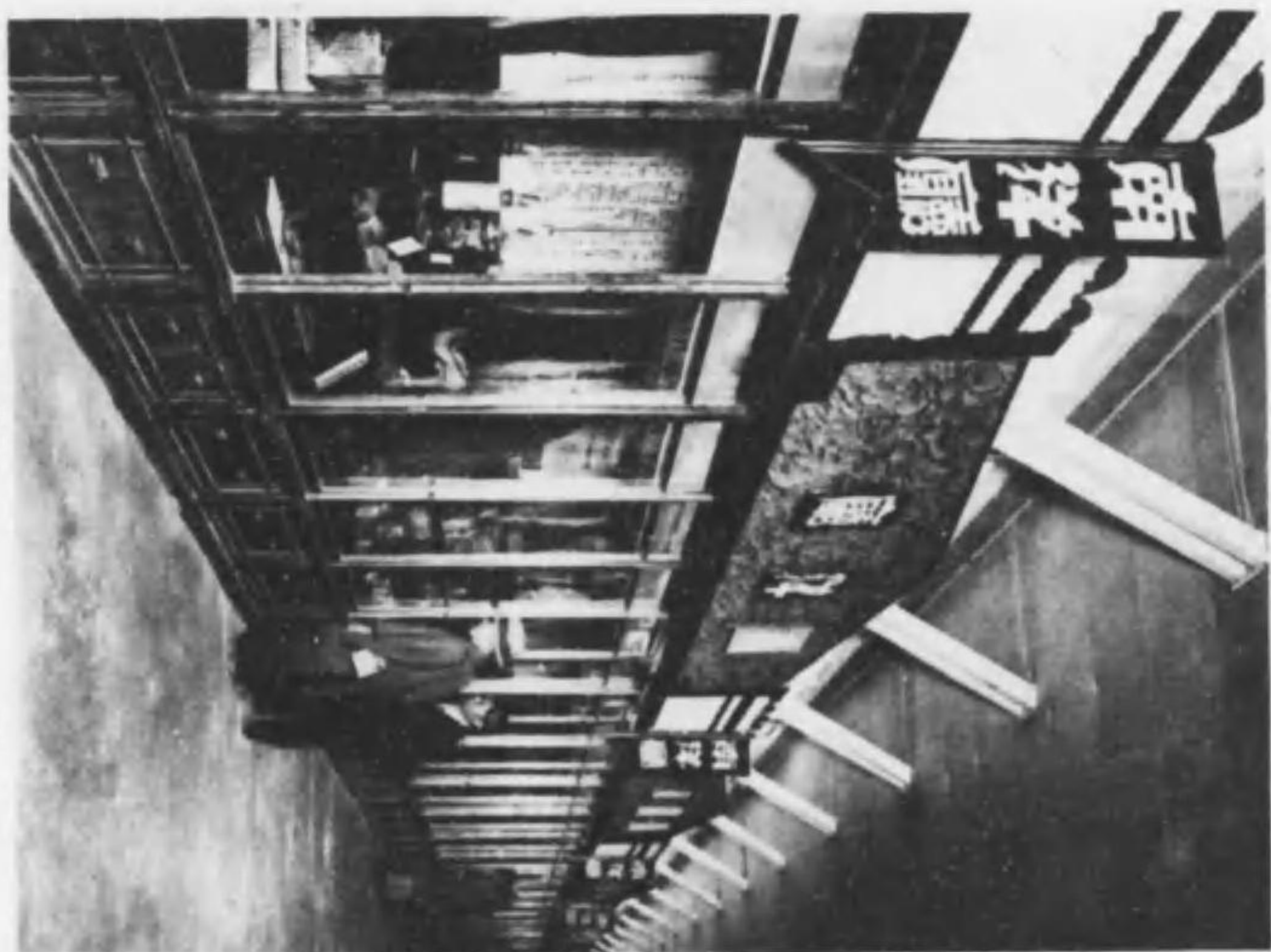


場 賣 券 覽 觀

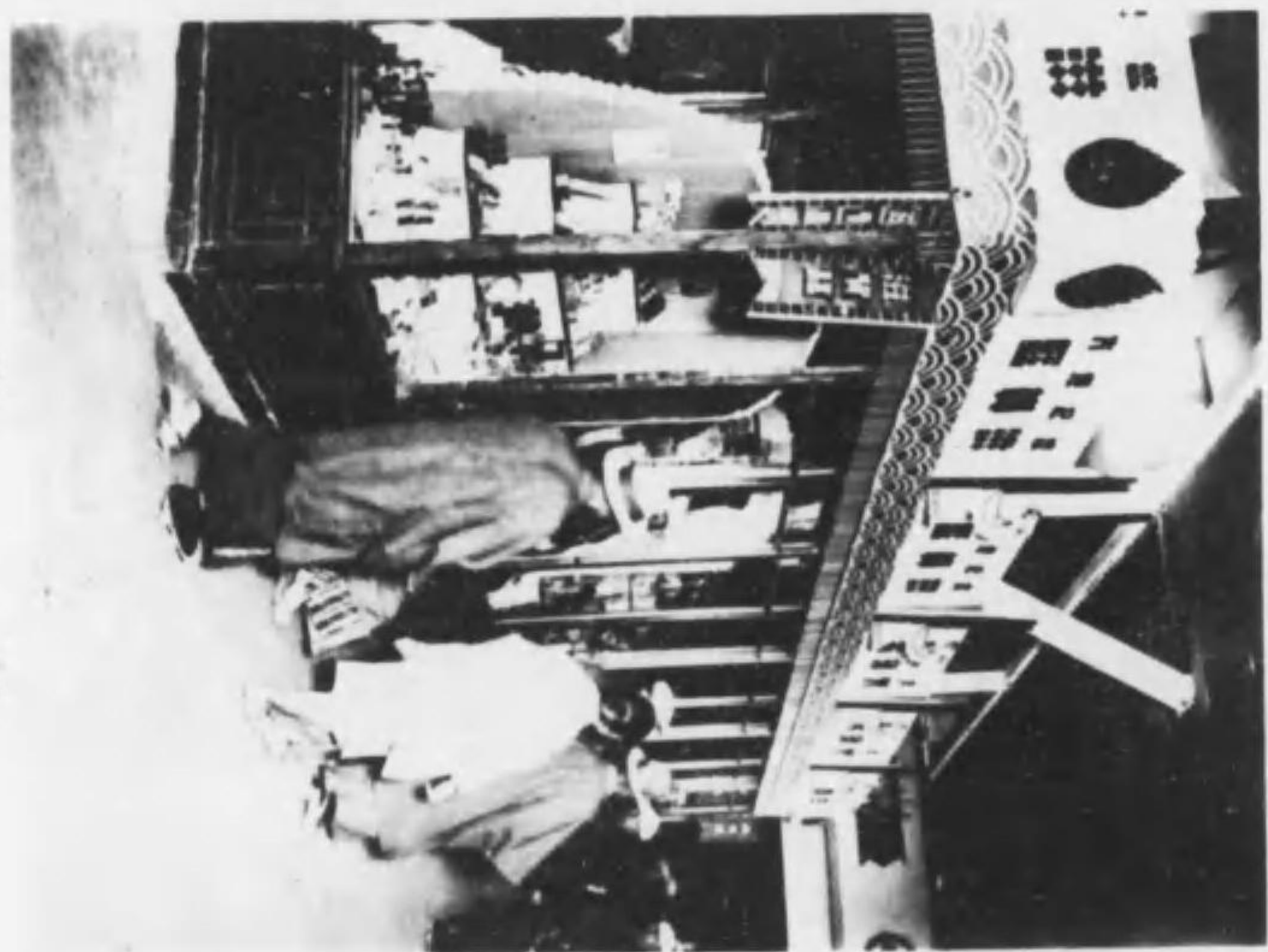
(一 其) 部 内 館 本



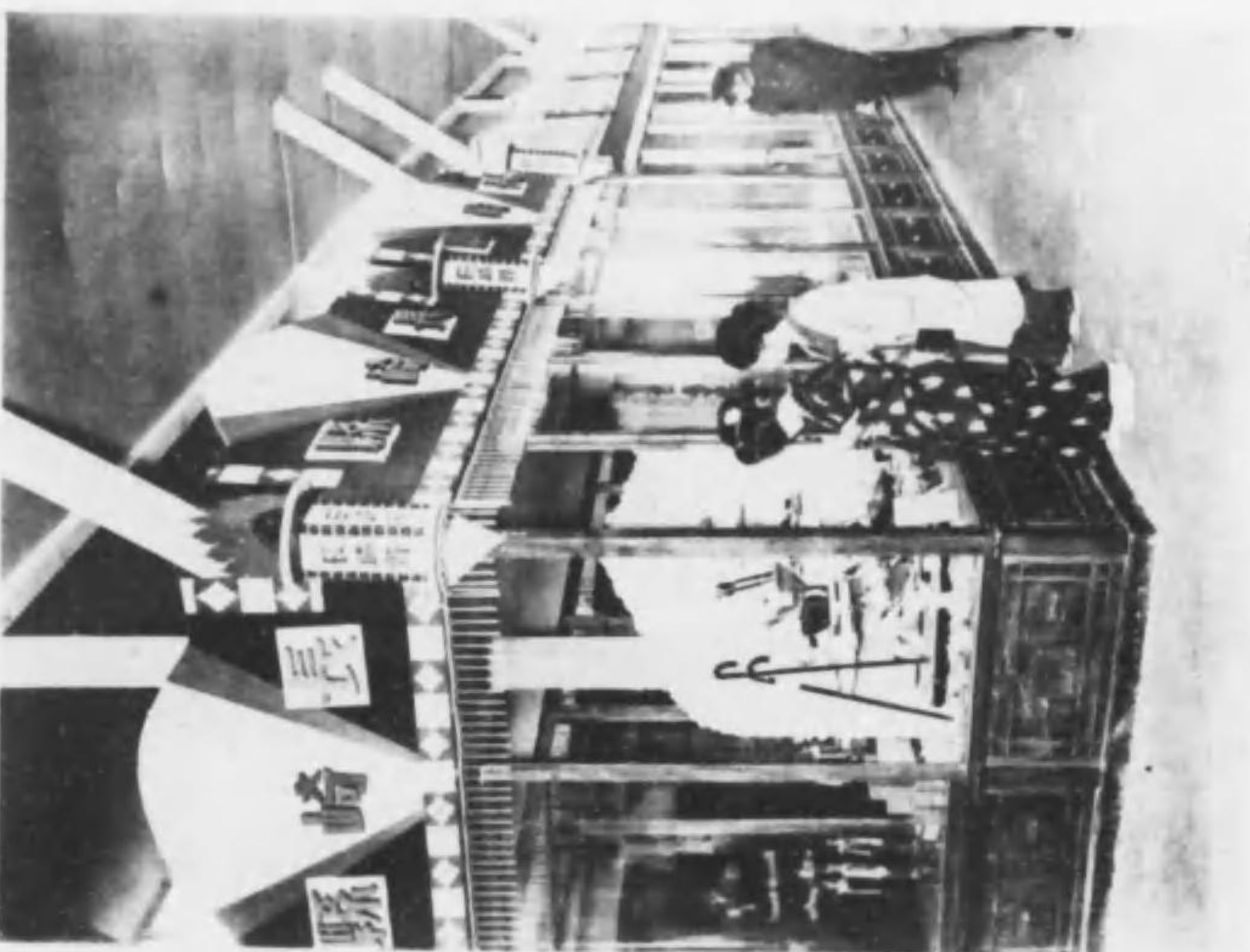
(二 其) 同



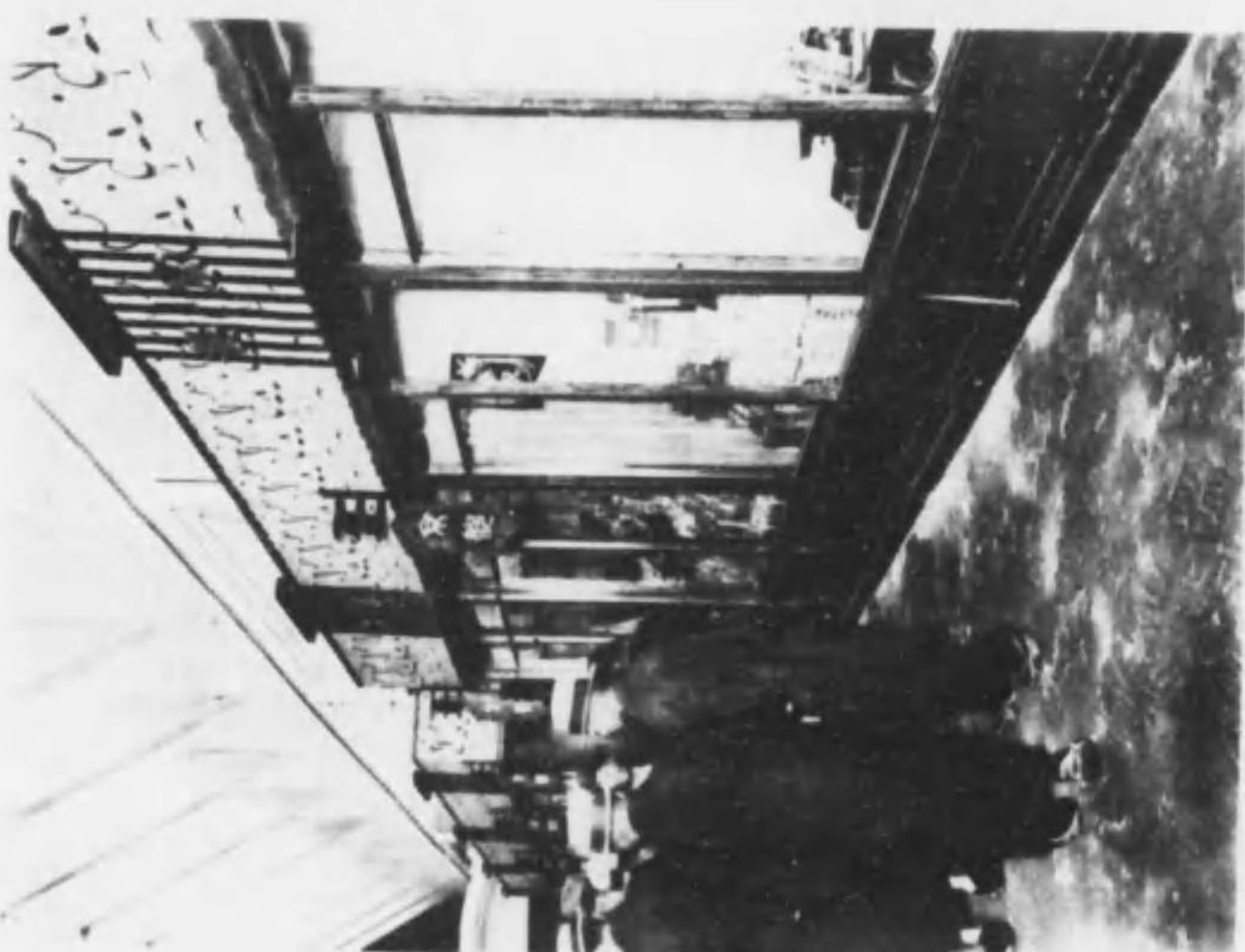
(四 其) 同



(三 其) 同



同 (五其)



同 (六其)



同 (八其)



同 (七其)

(一十其) 同

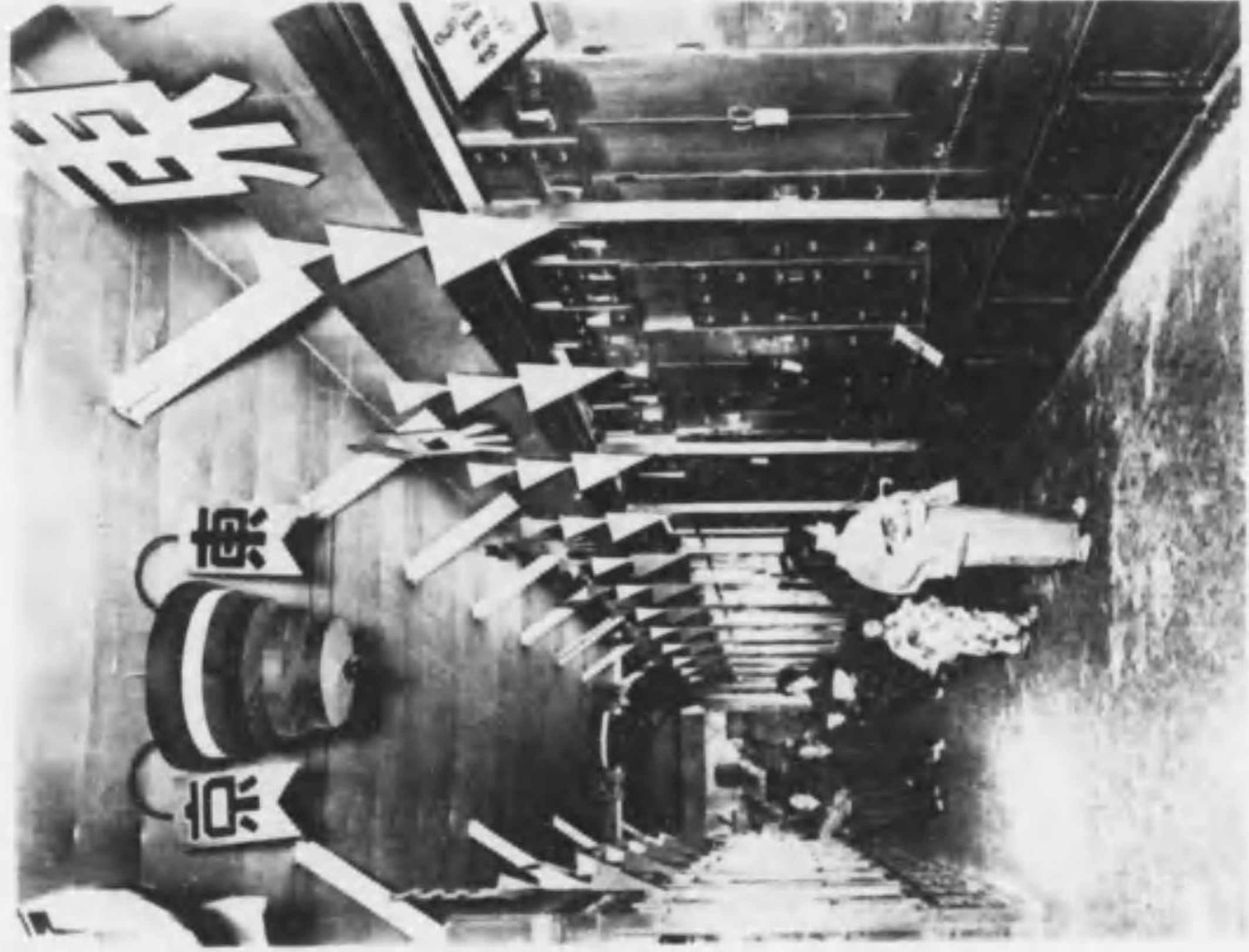


(二十其) 同



同

(九其)



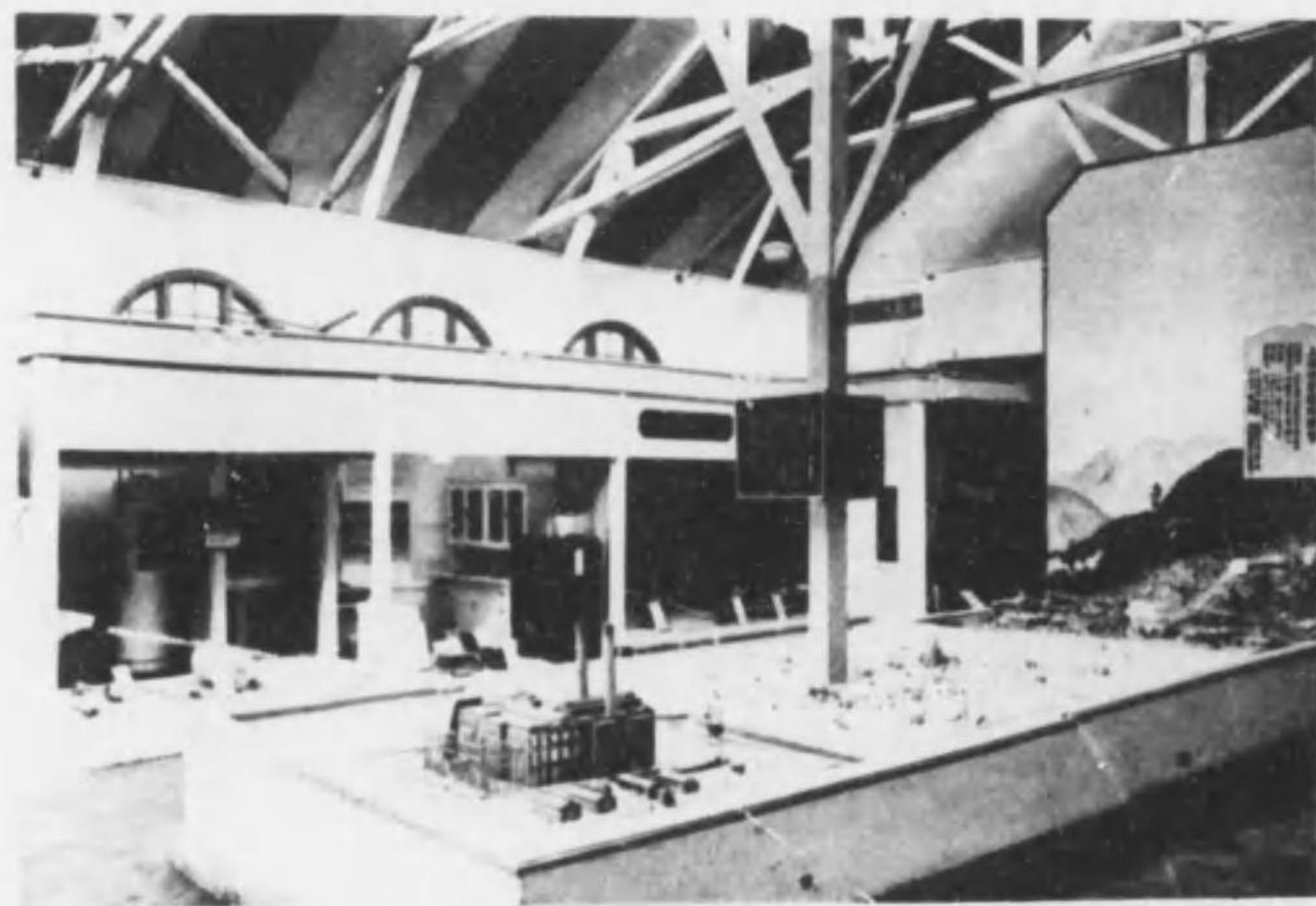
同

(十其)

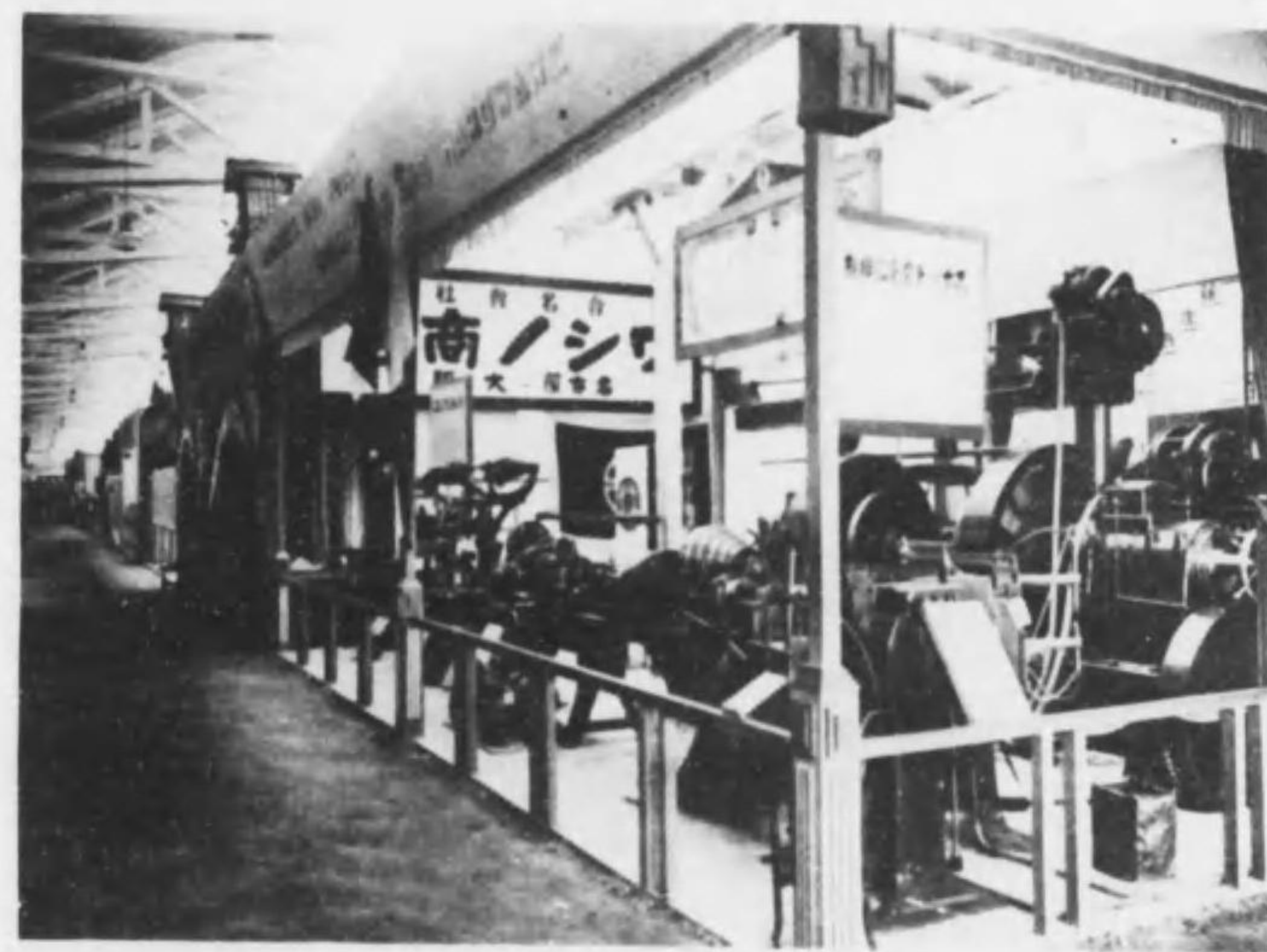
電 氣 館



機 械 館



其 一 部



其 一 部

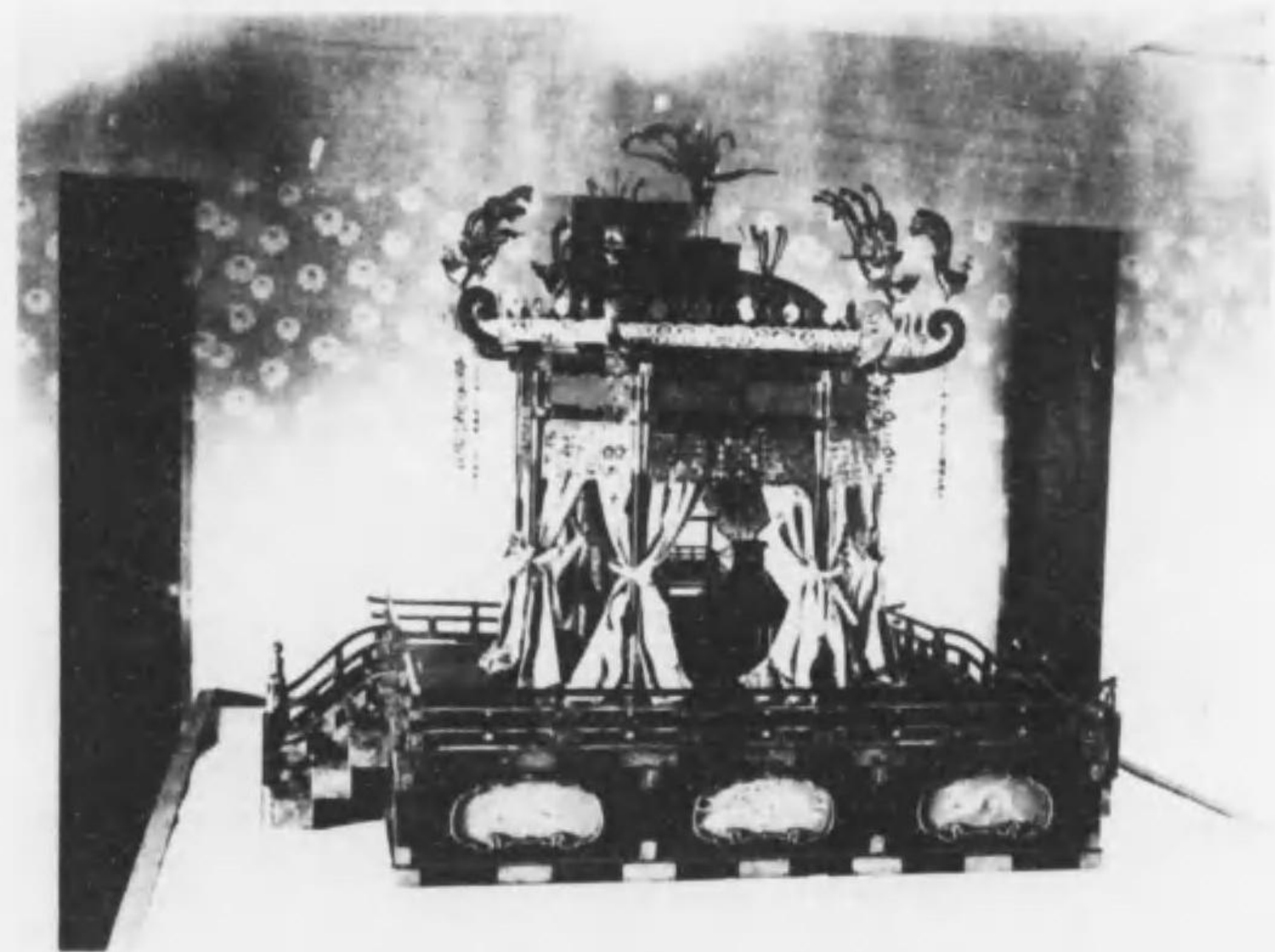
館 防 國



館 禮 大

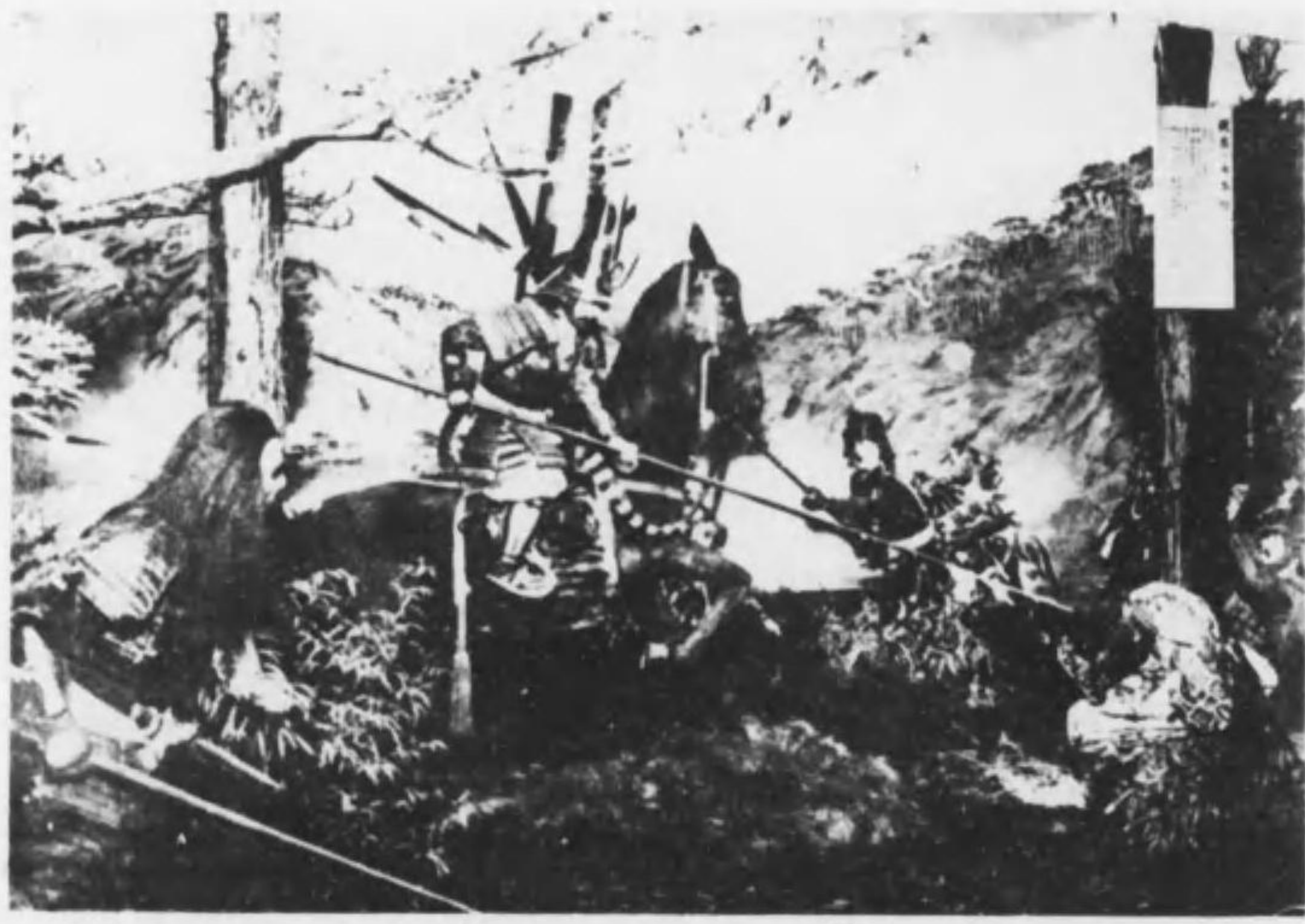


館 生 衛



部 一 其

館 史 歴



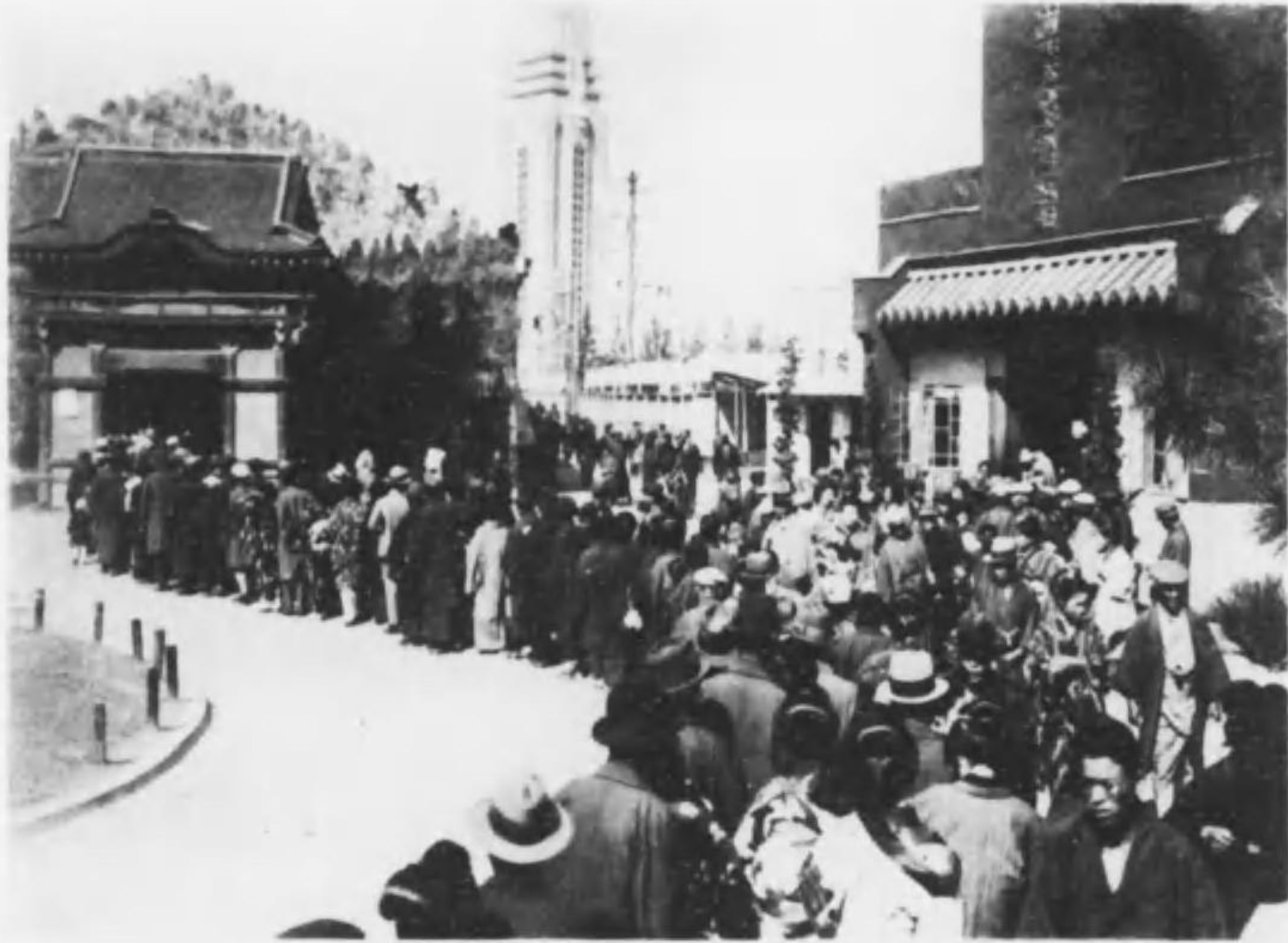
部 一 其

館 育 教



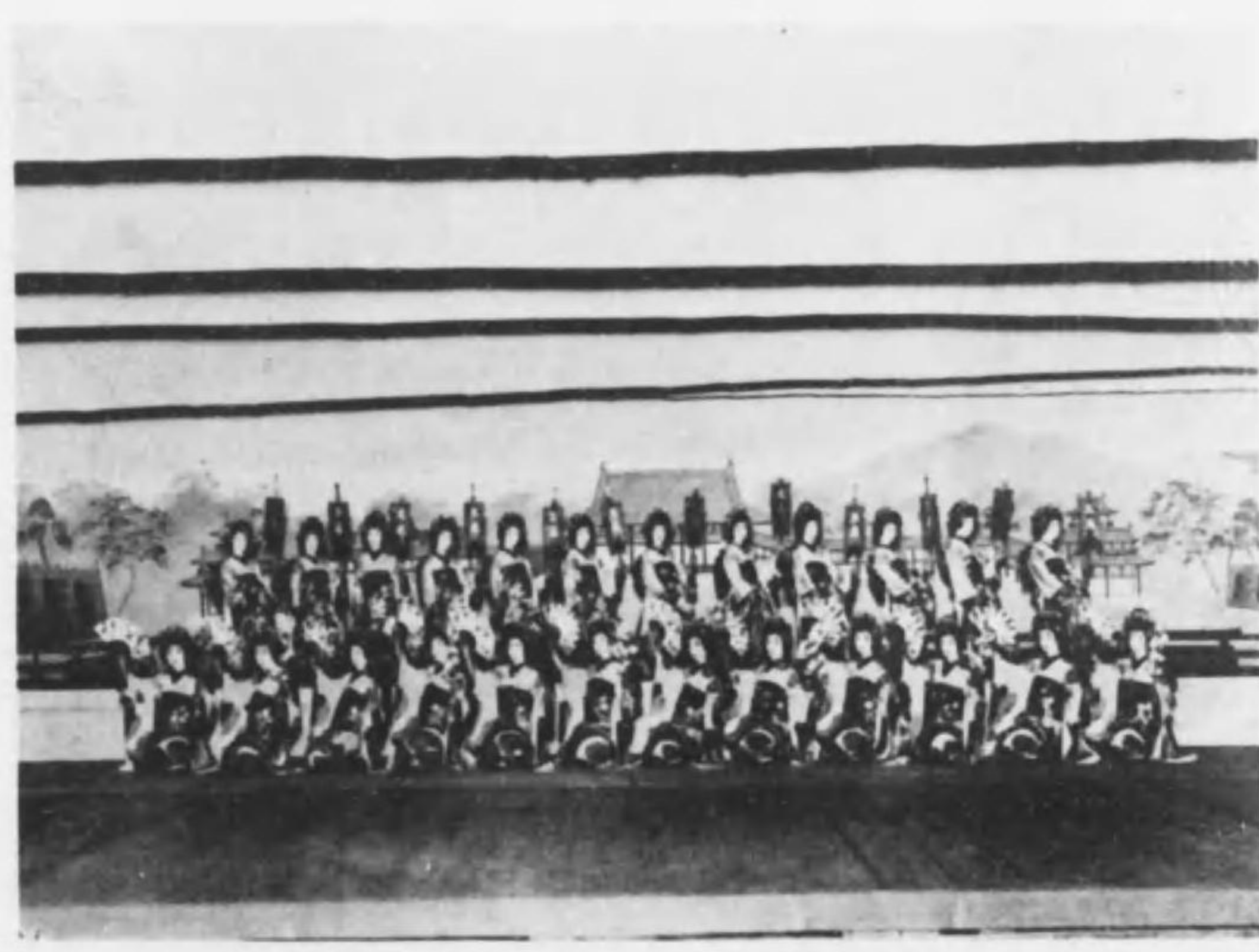
館 林 農

館 光 日



部 一 其

場 舞 演



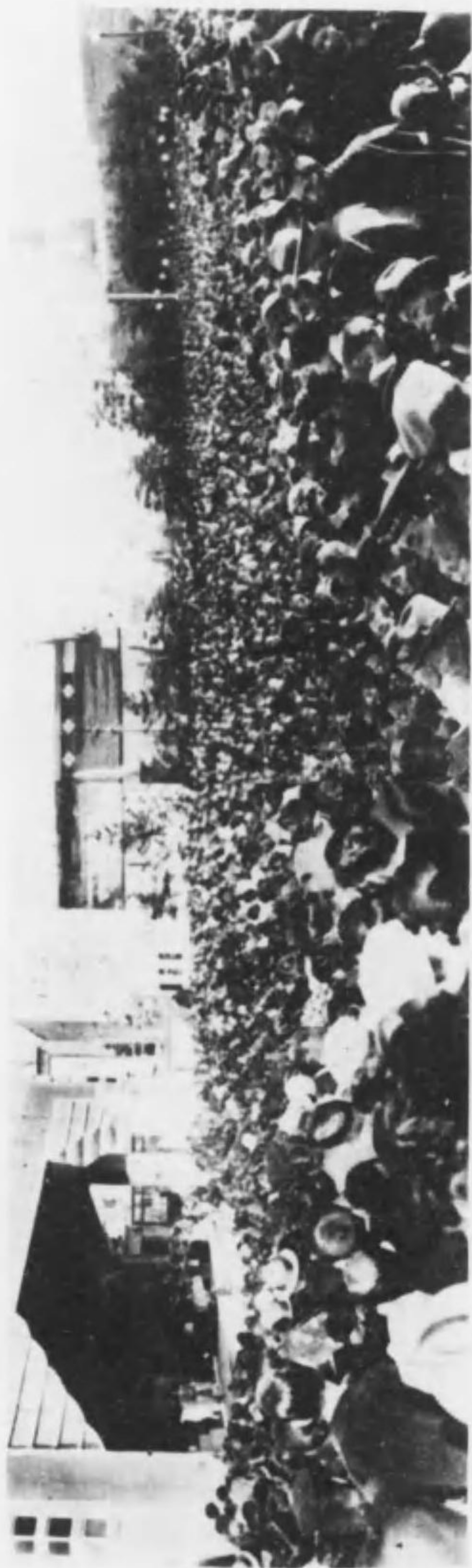
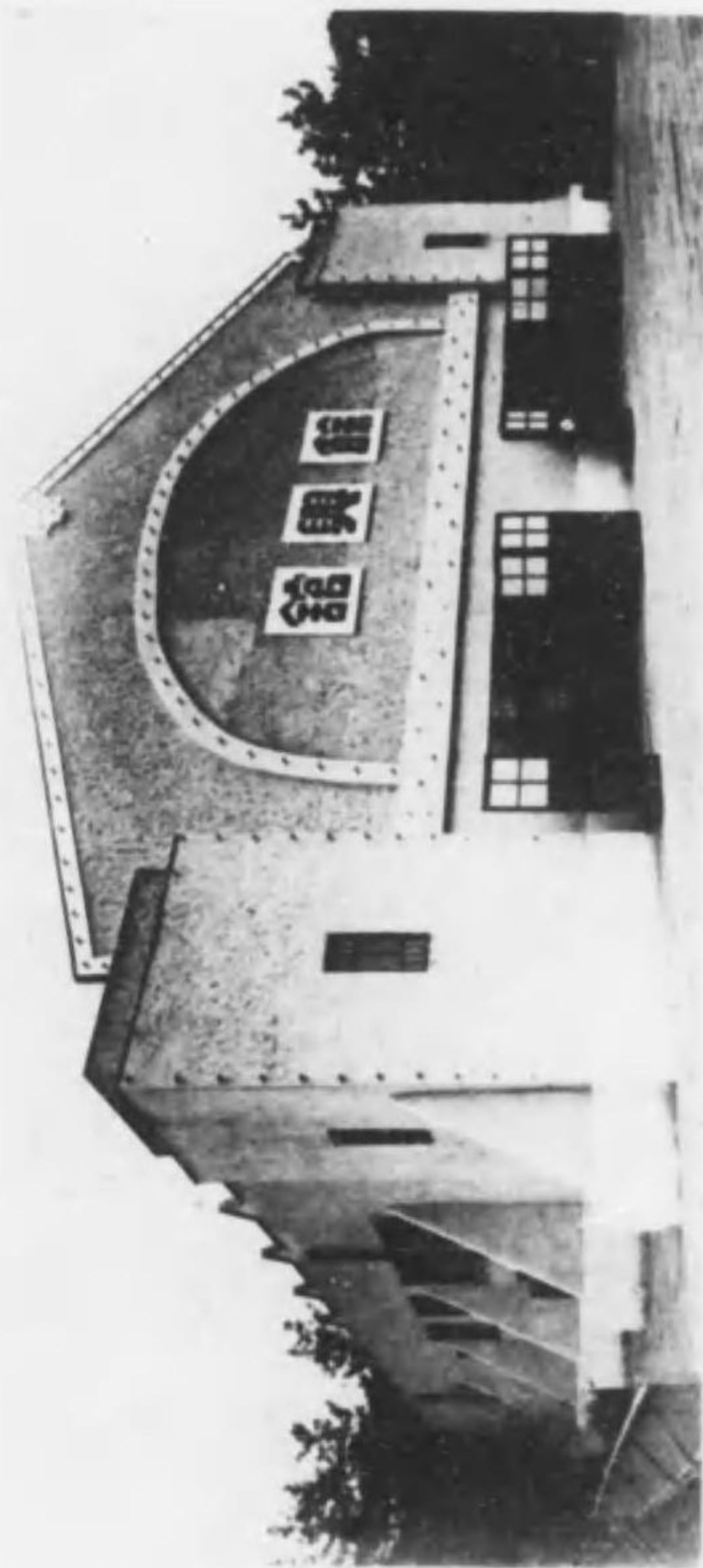
頭 音 祝 奉 典 大 御 踊 舞

美 術 館



其 一 部

餘 興 館



野 外 劇 場

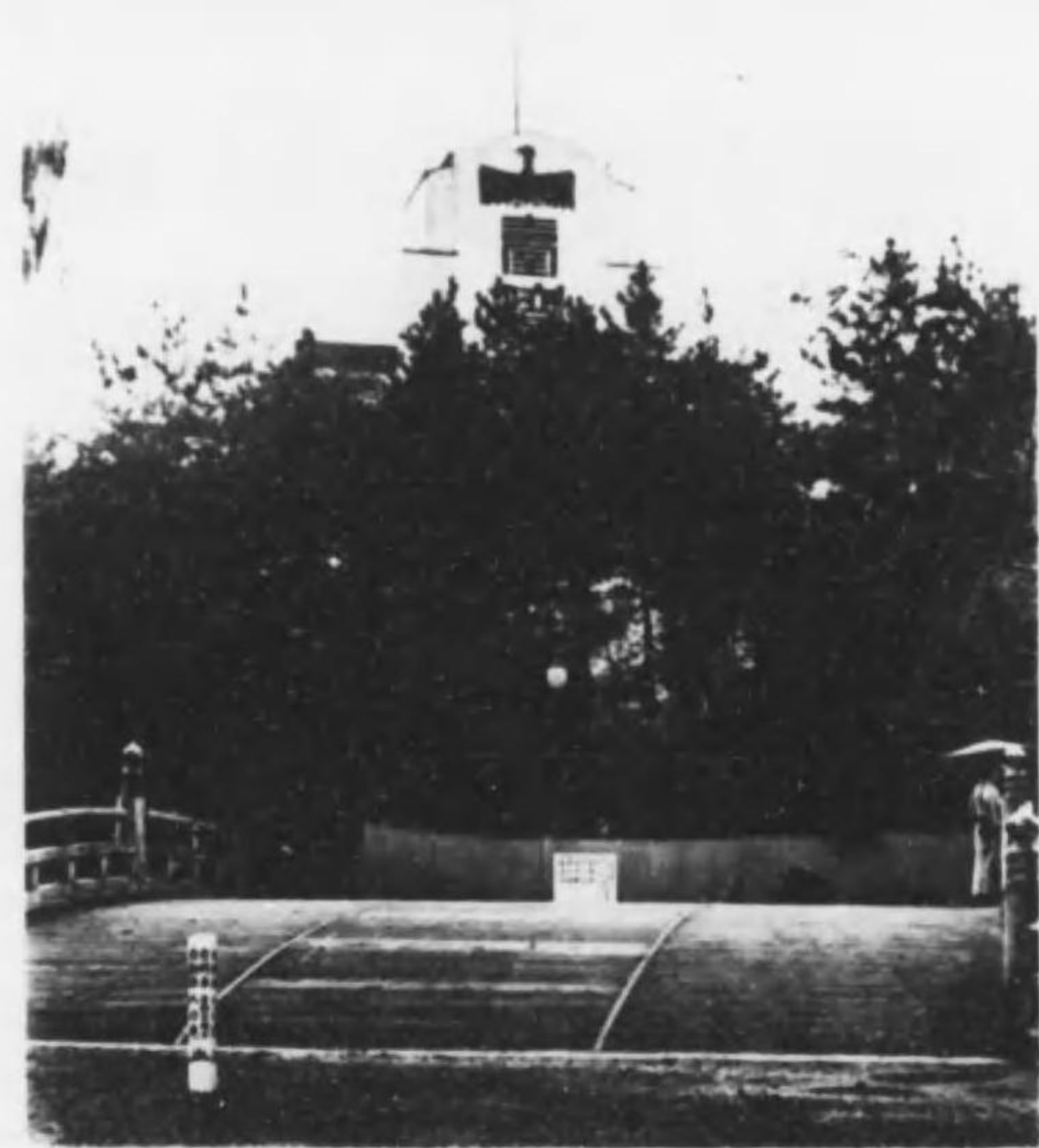
滿蒙參考館



朝鮮館

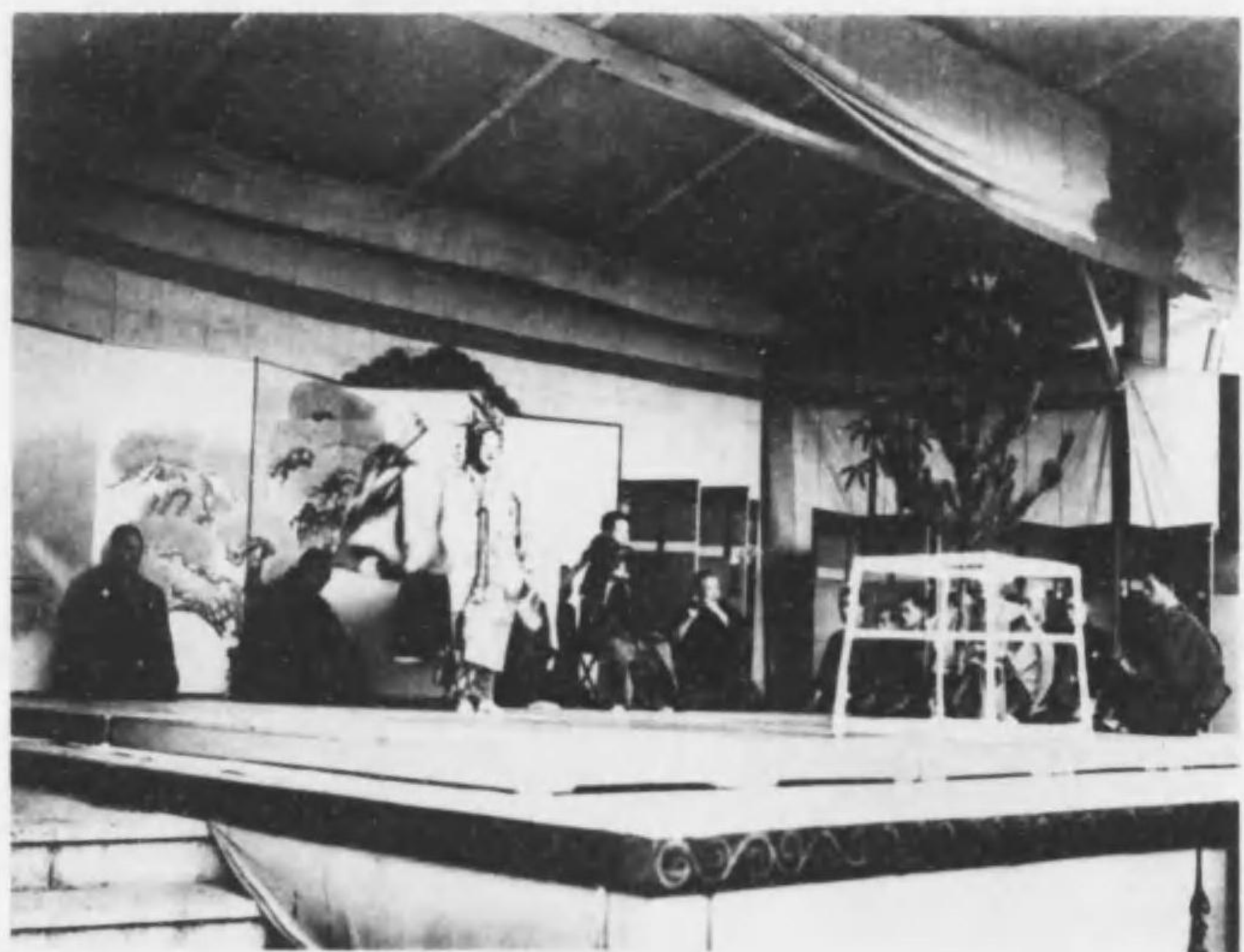


北海道館



臺灣館

(之喜世觀) 衣 羽 能



樂 歲 萬 樂 舞

舞 踊 伊 勢 物 語



鏡 對 合 睦 同

同サークルン



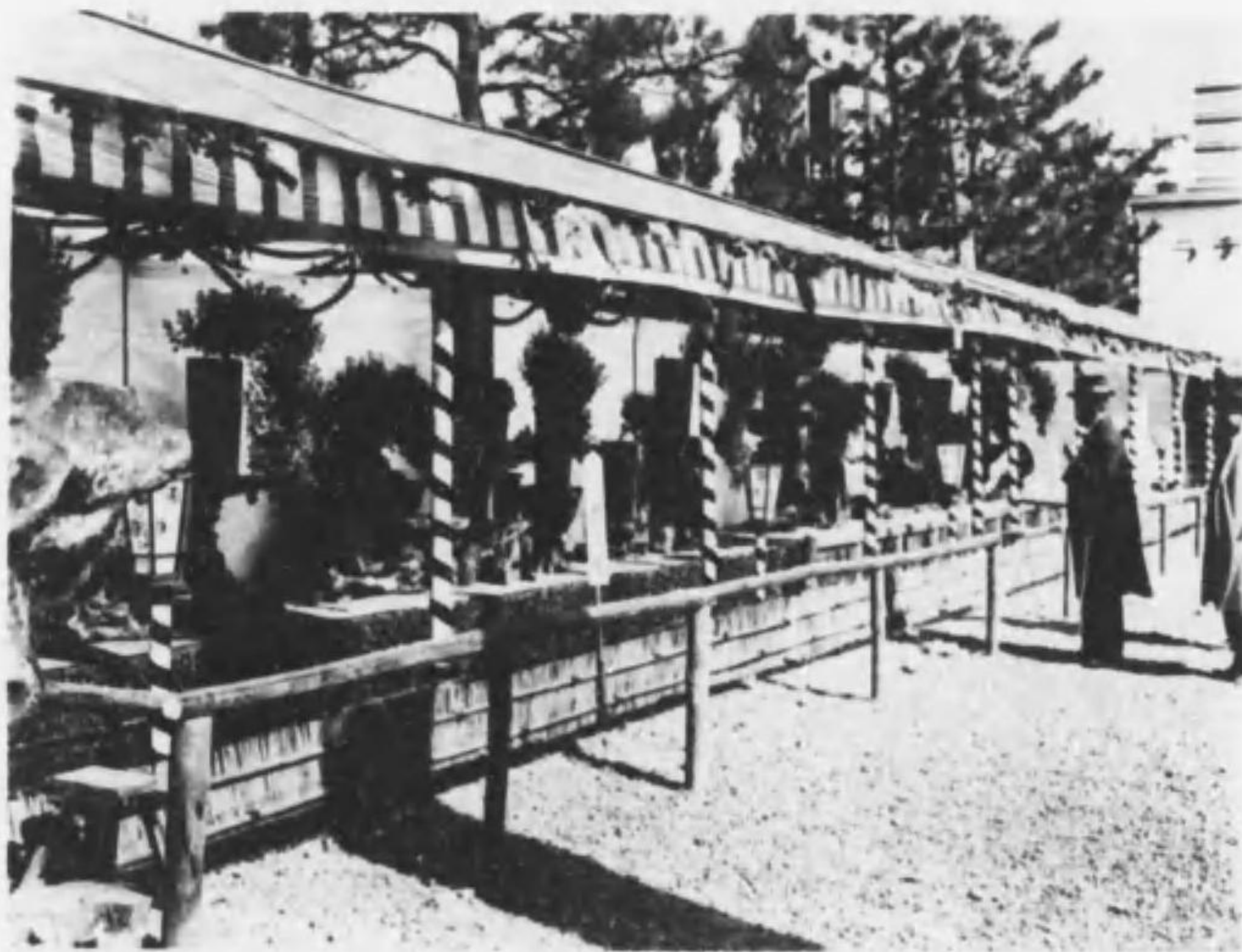
同子供の汽車

子供國の入口



同廻轉臺と飛行塔

協賛會福引

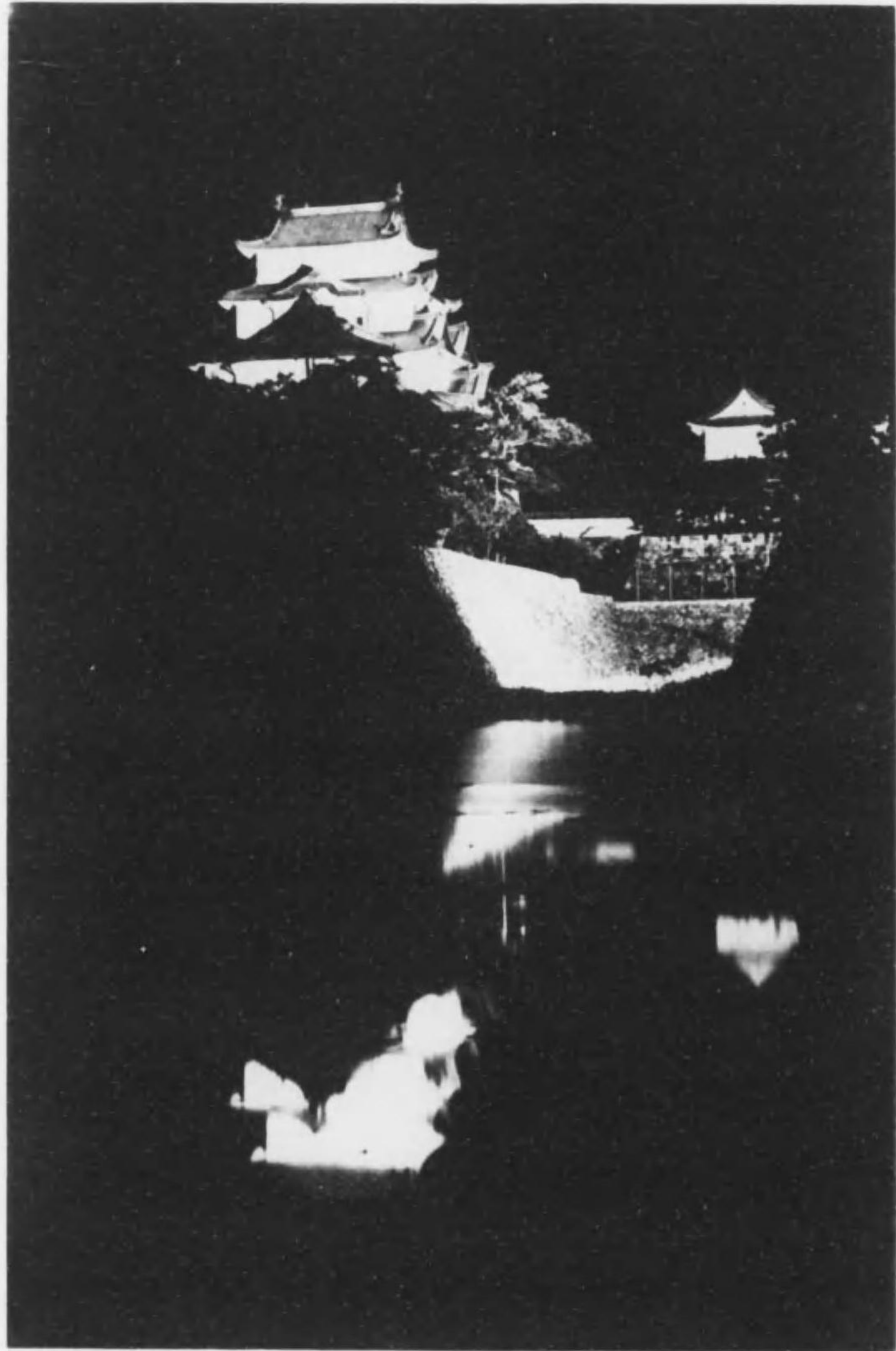


名古屋園藝會菊花競技會

四日市工商會議所大名行列



名古屋尚武會武者行列



明照の城屋古名

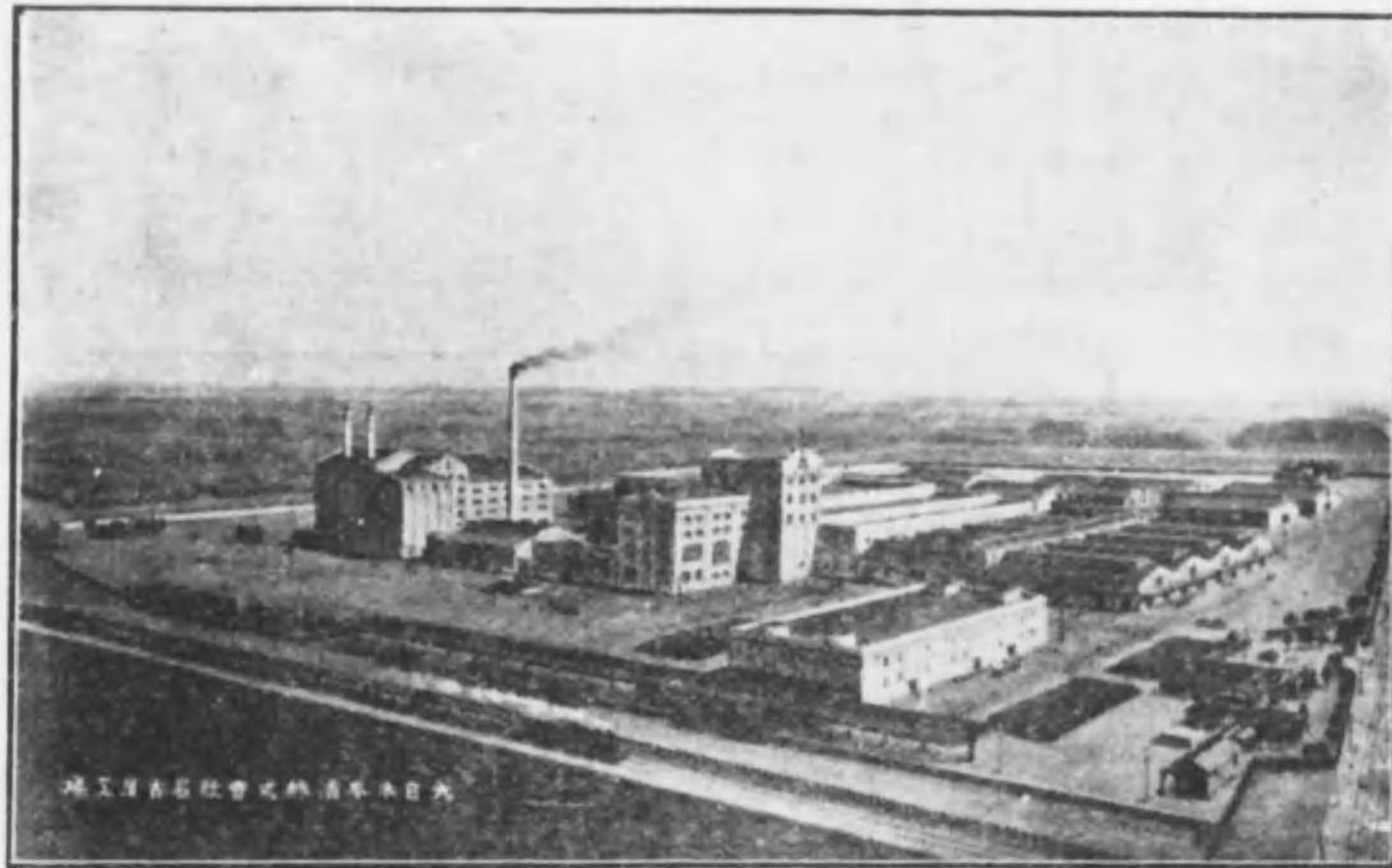
園公舞鶴驛假



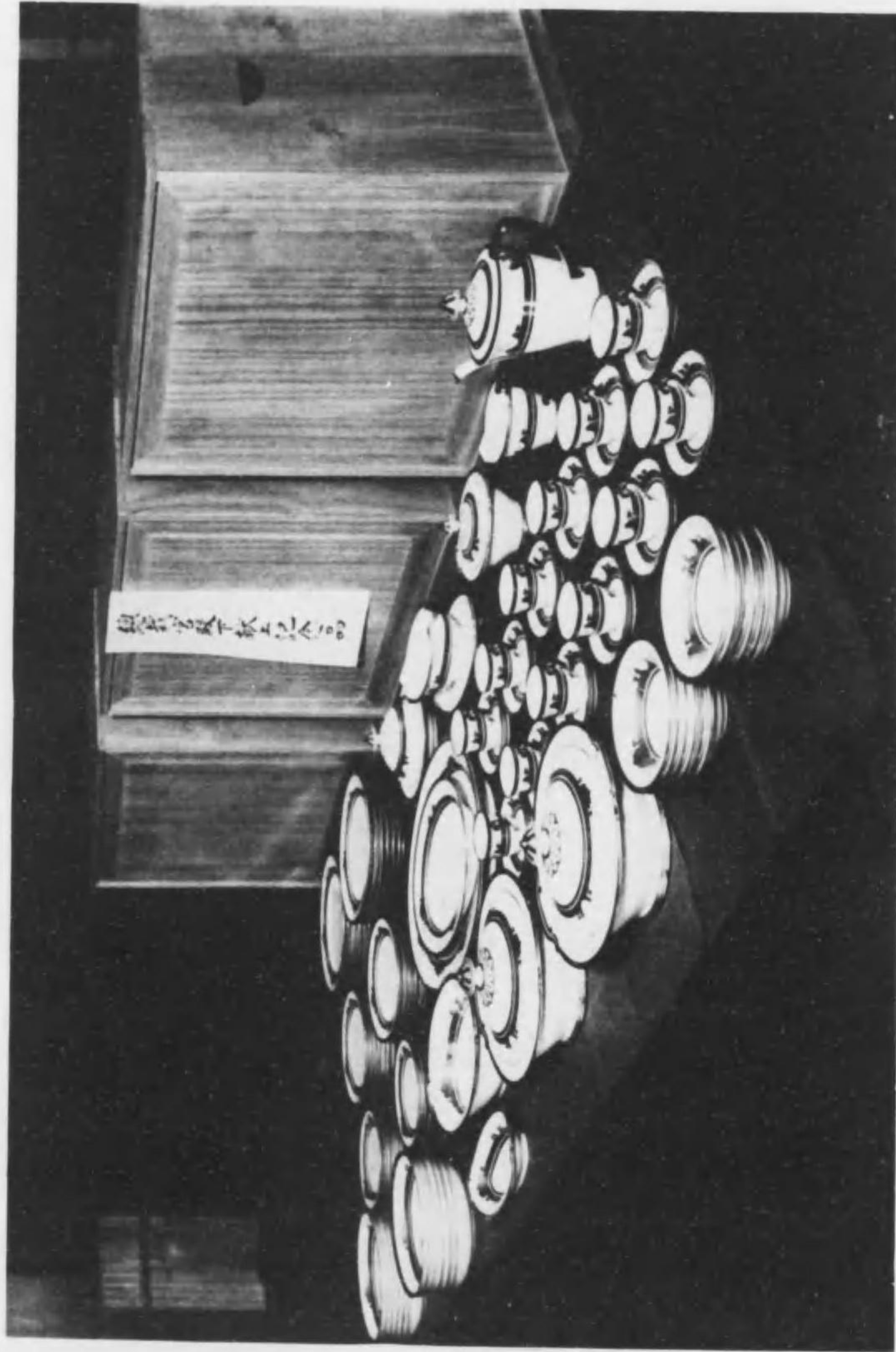
着到車列り上同



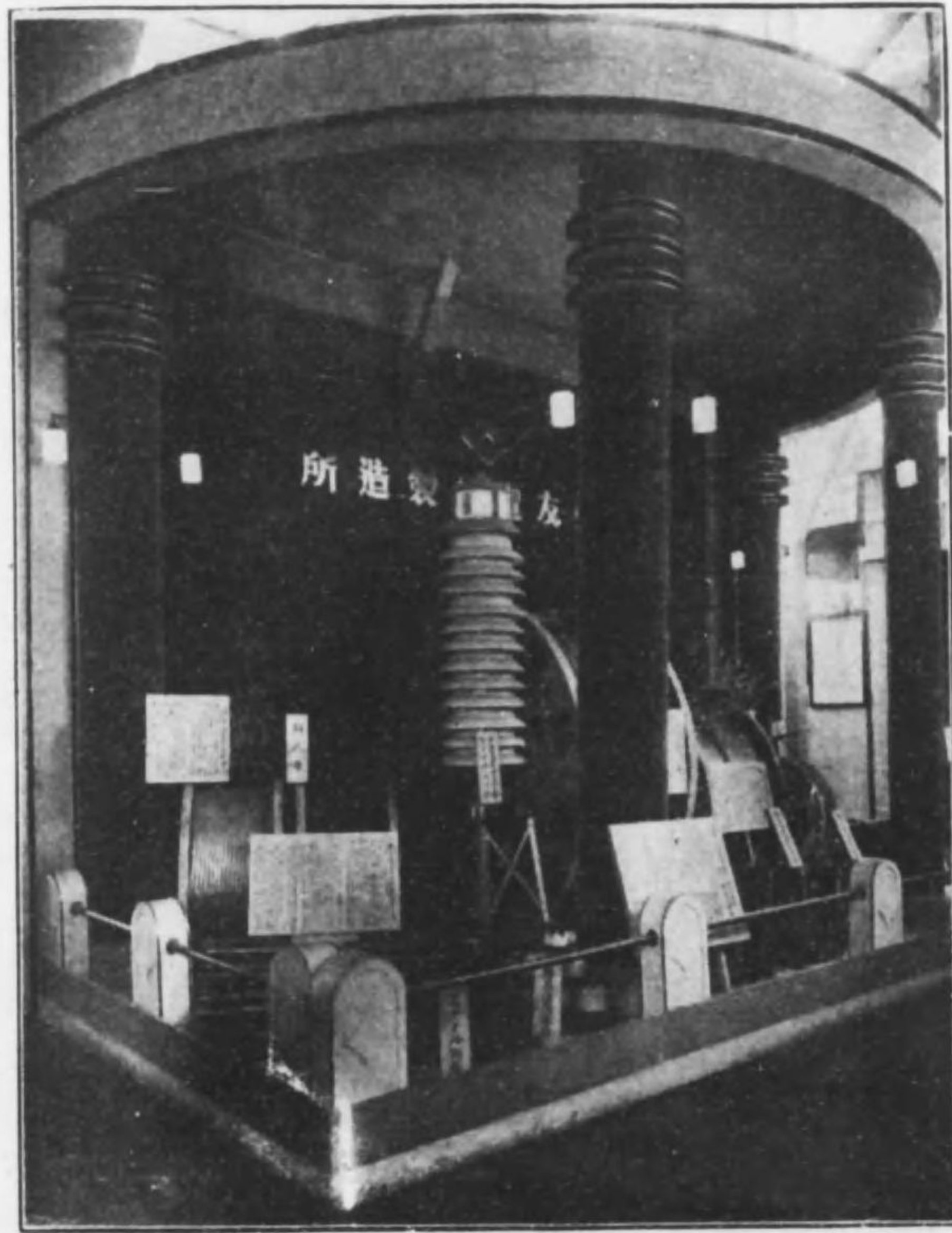
品 出 會 覽 博



社 會 式 株 ー ビ 本 日 大



品 念 紀 上 獻 下 殿 宮 裁 總



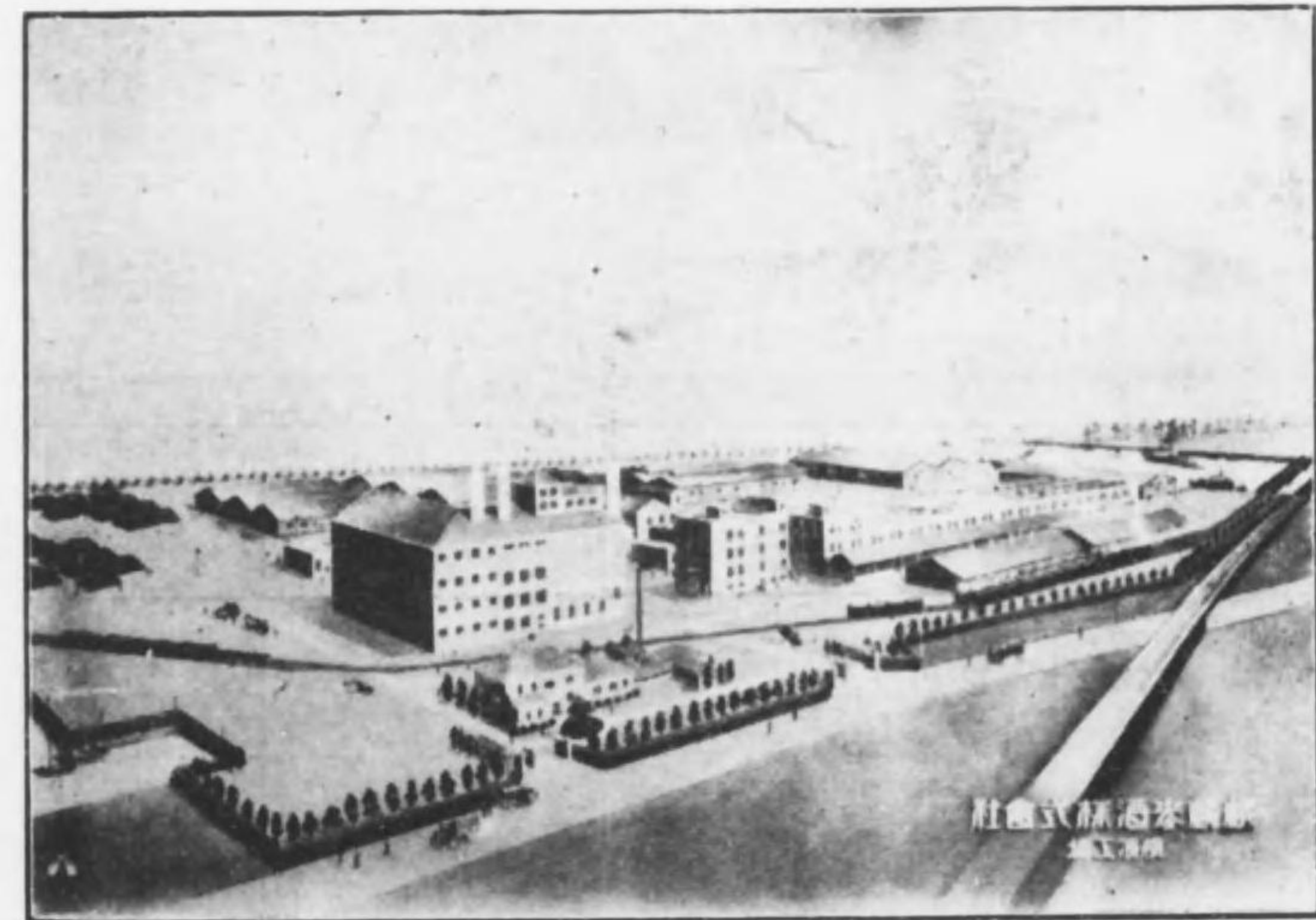
會覽博屋古名祝奉典大御於
賞受牌賞大譽名

品屬附其及類纜電 線電= 目要業營

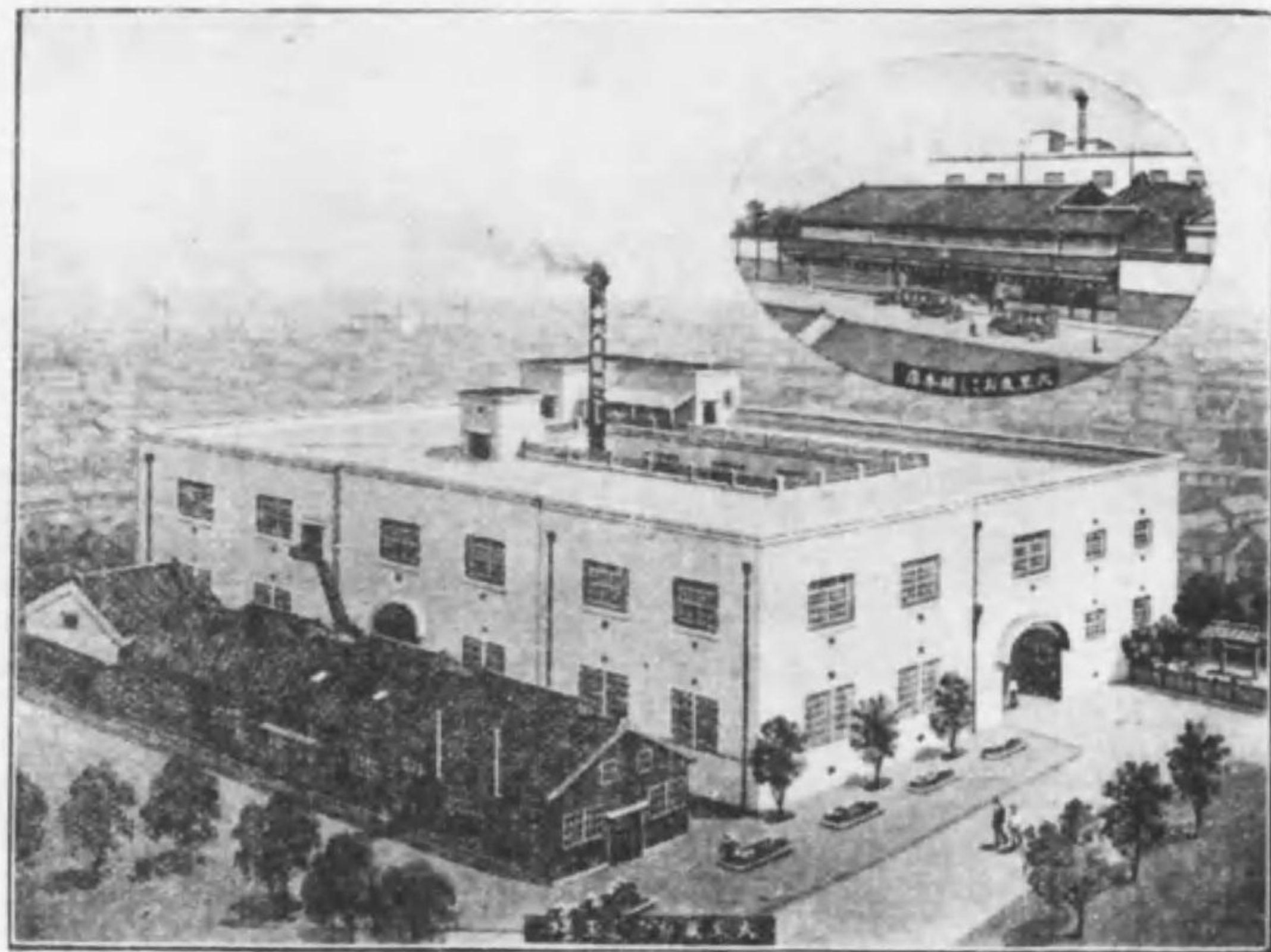
所造製線電友住會株式

地番拾六町之南島貴思區花此市阪大

ルービンリキ



社會式株酒麥麟麒



大黒業おこし工場



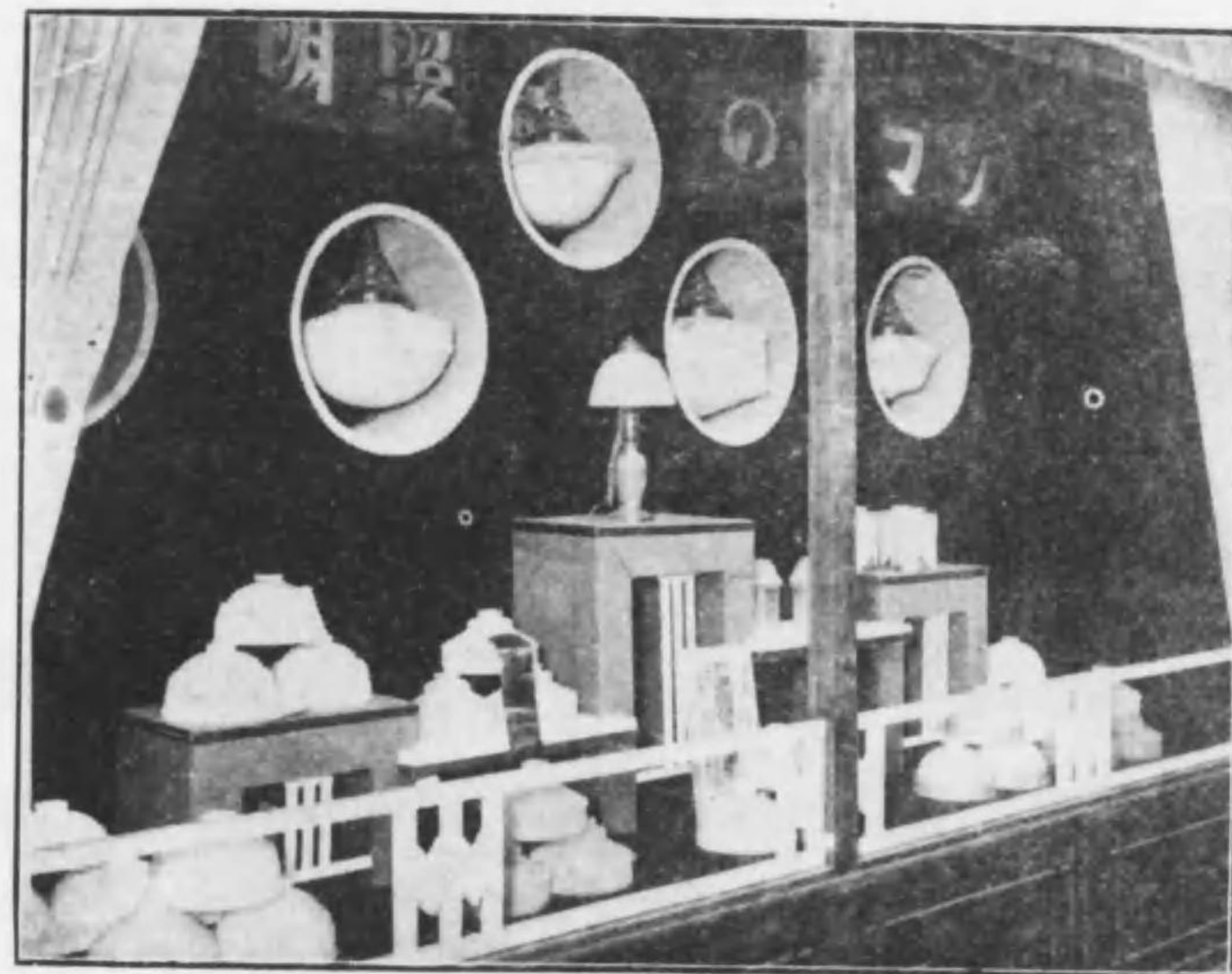
大阪代表名物
栗おこし
福おこし

大阪何みだ池
 總本店

店主 小林林之助

電話新町特表
 一八〇五〇
 二一〇〇五
 三三〇〇六
 四三〇〇五
 振替大阪

生產品目
 電燈照明用硝子
 食卓用硝子器
 建築用明取硝子
 高壓グーシ硝子
 其他硝子一式



株式會社島田硝子製造所

本店及工場

大阪市淀川區老江下三丁目電話土柱場五五五・五五六番

市內販賣店

大阪市東區南本町二丁目電話船場二九四八番

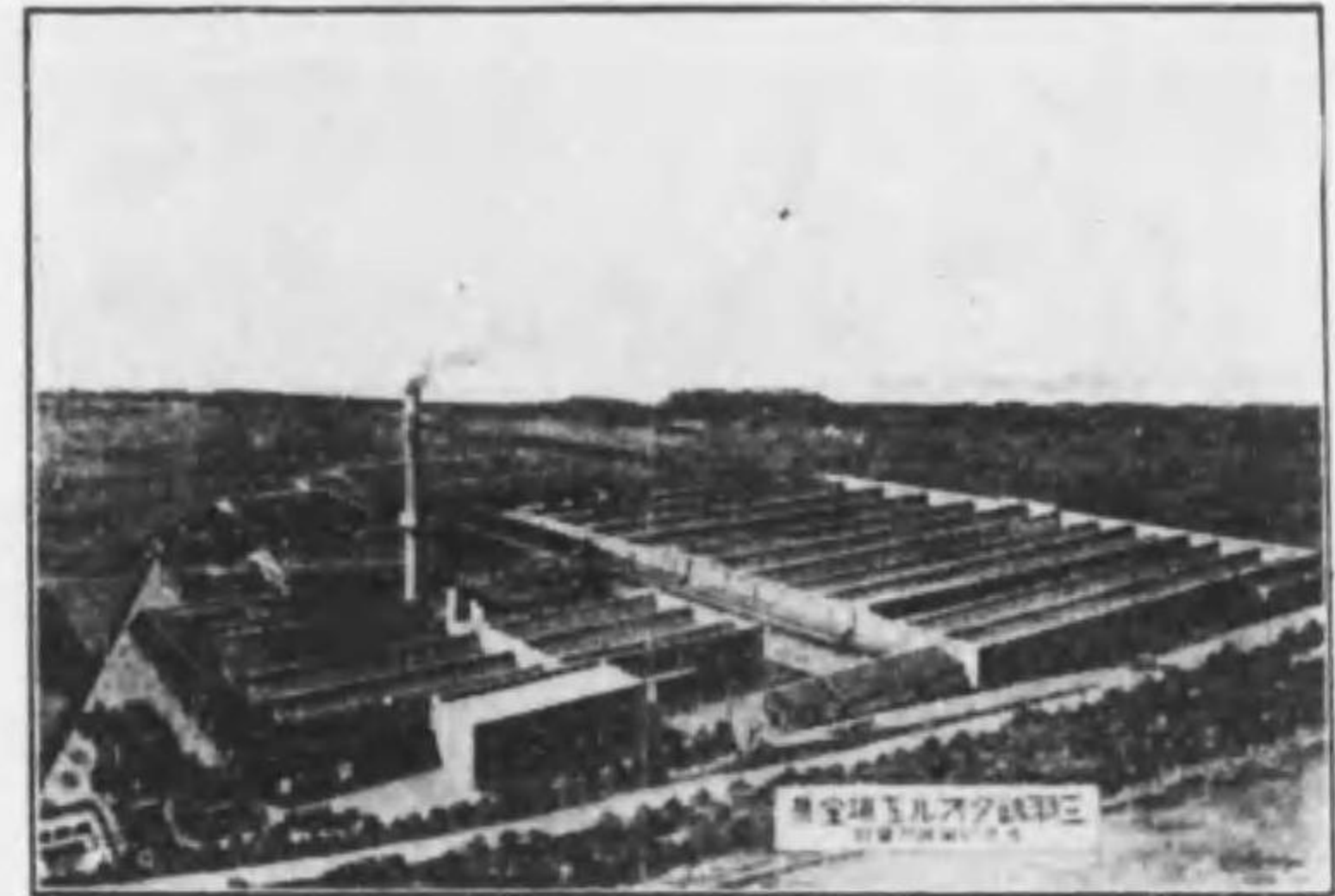
東京支店

東京市橋區銀座二丁目四十電話橋(56)三八五・三七七番

名古屋販賣所

名古屋市東區朝日町二丁目三十電話東④四七五九番

昭和參年十一月 御大典奉祝名古屋博覽會ニ於テ 名譽大賞牌受賞
 其他内外各博覽會ニ於テ受賞四拾餘回



三羽鶴タオル工場全景

創業已來二十年間の苦心と經驗に依り殊に最も優良なる原糸を用ひて製出する本品は數あるタオルの中で優良無比のものとして名聲高く今や確實にタオル界の標準品として壓倒的の歡迎を受け一ケ年の産額百萬打を越ゆるの盛況を呈して居ります



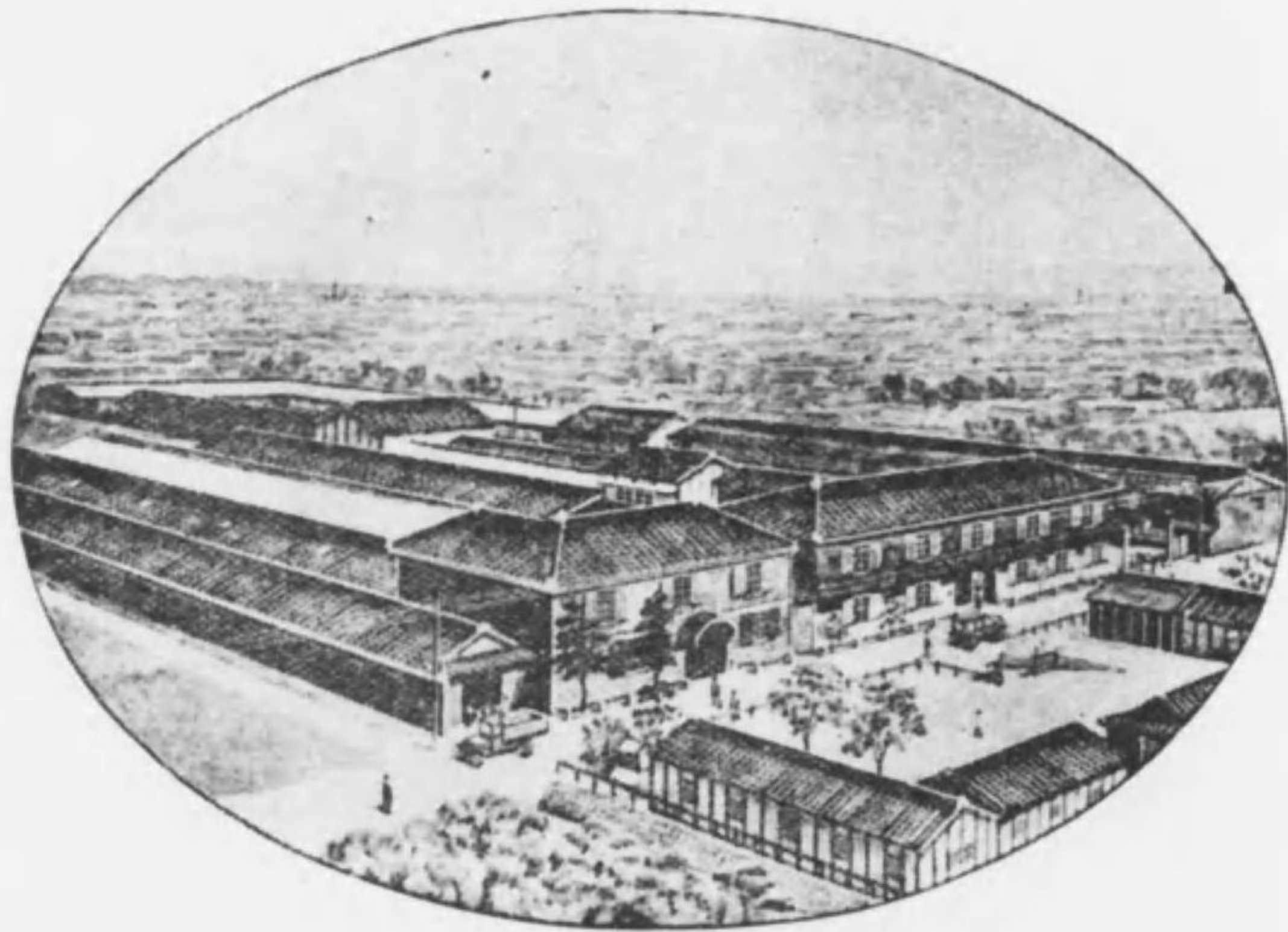
群馬桐生市大字安樂土

桐生輸出織物

朝鮮移出、臺灣移出、支那向織物、
 印度向織物、スバンクープ、廣巾縮緬
 紋ジョーゼット、ドレスポーター類

桐生内地織物

お召、銘仙、帯地各種
 縮緬類、絹織、肩裏地
 其他内地向織物一式



陶磁器雜貨貿易商

株式會社

本店 田代商店

振替口座東京一九六〇八番

名古屋市中區七曲町三丁目

電話東④ 特三五五〇番
三五五一一番
四〇七二番

振替口座東京一九六〇八番

工場

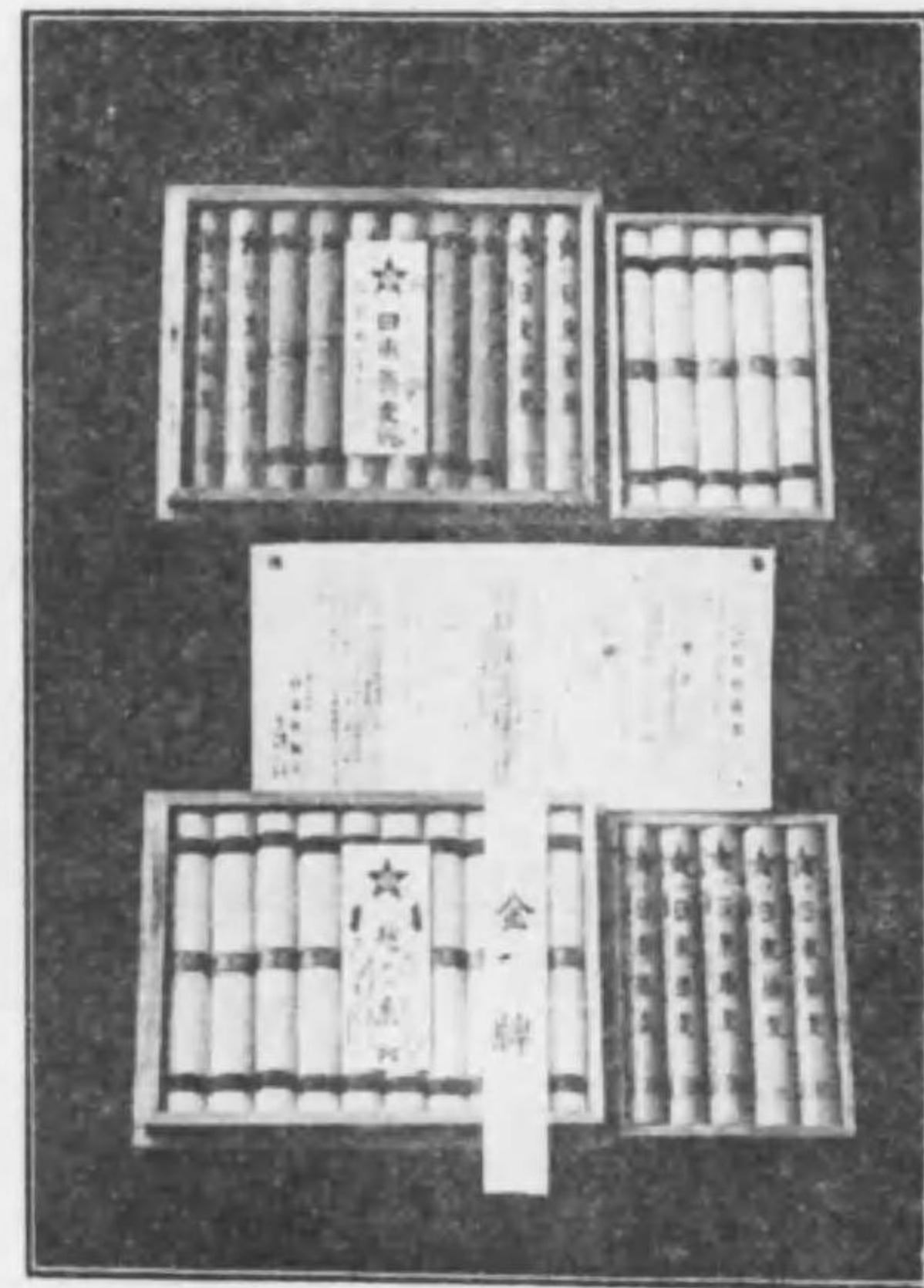
名古屋市東區千種町
電話東局④二一一番

支店

神戸市加納町四丁目
電話葺合二五七〇番

横濱

横濱市辨天通二丁目
電話本局三八〇番



各大博覽會共進會名譽賞牌金銀賞牌多數受領

製品種目

越乃糸 (極細素麵)

糸櫻 (細素麵)

日の出錦 (改良素麵)

日東蕎麥

外製麵各種

星印味甚粉

日東黃粉

外製粉各種

新 日 東 製 麵 所

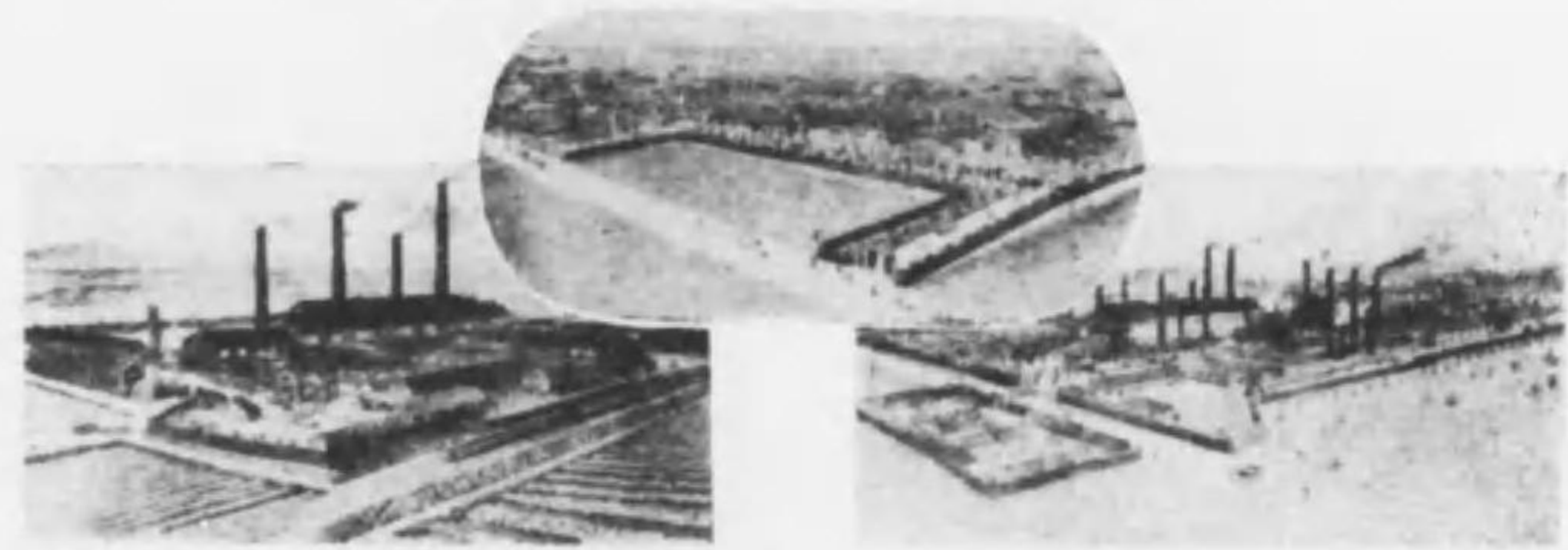
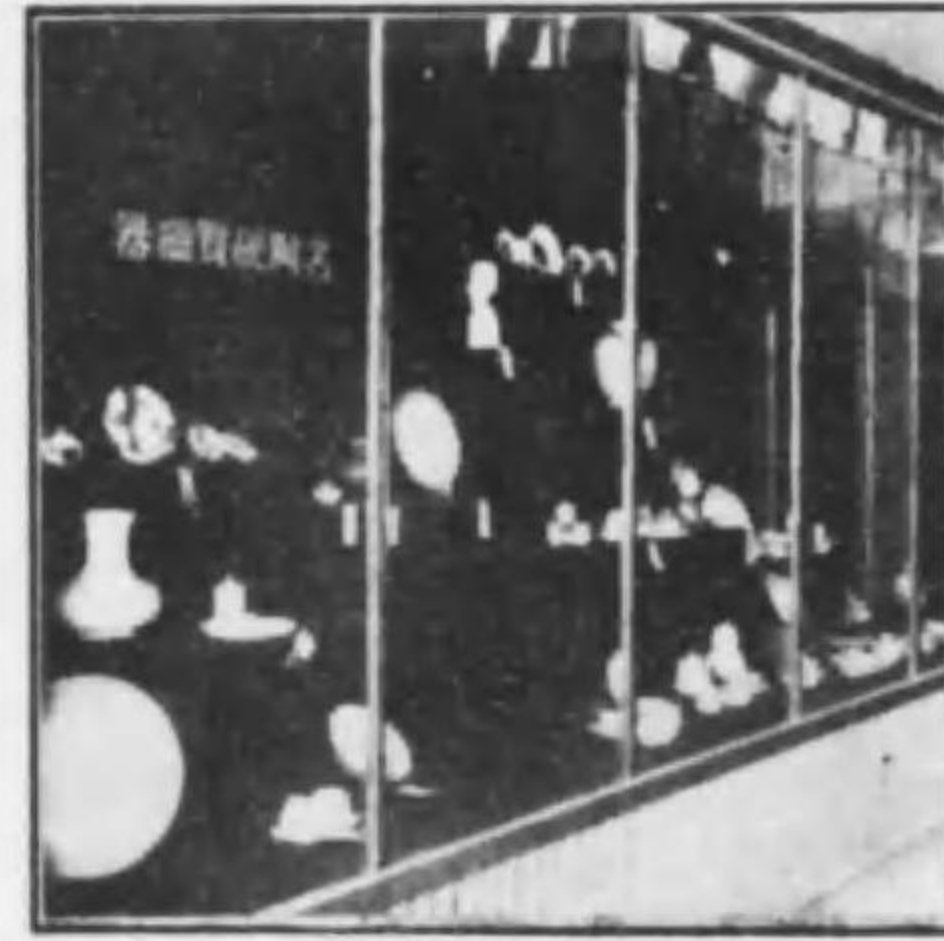
新 潟 縣 相 崎 町
電話三六六番・六一六番



新 田 式

各 種 工 業 用 諸 革
 種 別 業 用 諸 革
 工 業 用 諸 革
 各 種 工 業 用 諸 革

名古屋市中區島三丁目
 新田帶革製造所出張店
 新田ベニヤ製造所出張店
 電話西〇八〇八・九〇八番



THE NAGOYA SEITOSHO LTD.,
 (Nagoya porcelain Manufacturing co.)
 DINNER WARE & FANCY CHINA, SANITARY WARE, TILE
 7 & 8 Higashi Yoshino-cho,
 Nagoya, Japan.

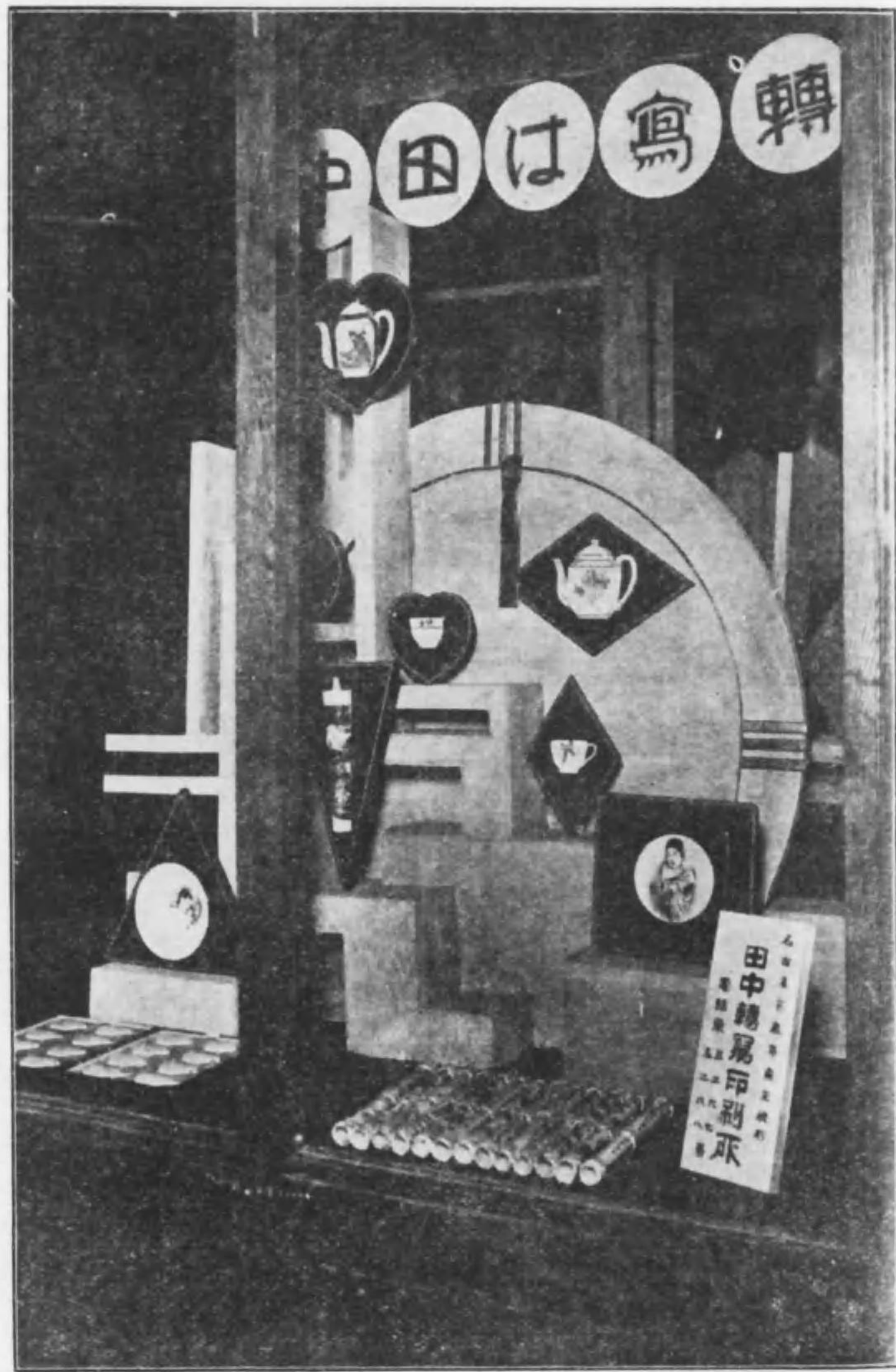
營業種目

衛生陶器
 西洋食器
 擬石タイル

株式會社 名古屋製陶所

米國支店 紐約市第五街二〇〇番
 大阪出張所 大阪市西區新町南通三丁目
 東京出張所 東京市芝區源助町
 弦月工場 名古屋市東區千種町弦月
 山田工場 名古屋市東區山田町

田中轉寫印刷所



中田は寫轉

電話東 { 5 2 6 7 番
5 2 6 8 番



町武則區西市屋古名
社會式株器陶本日

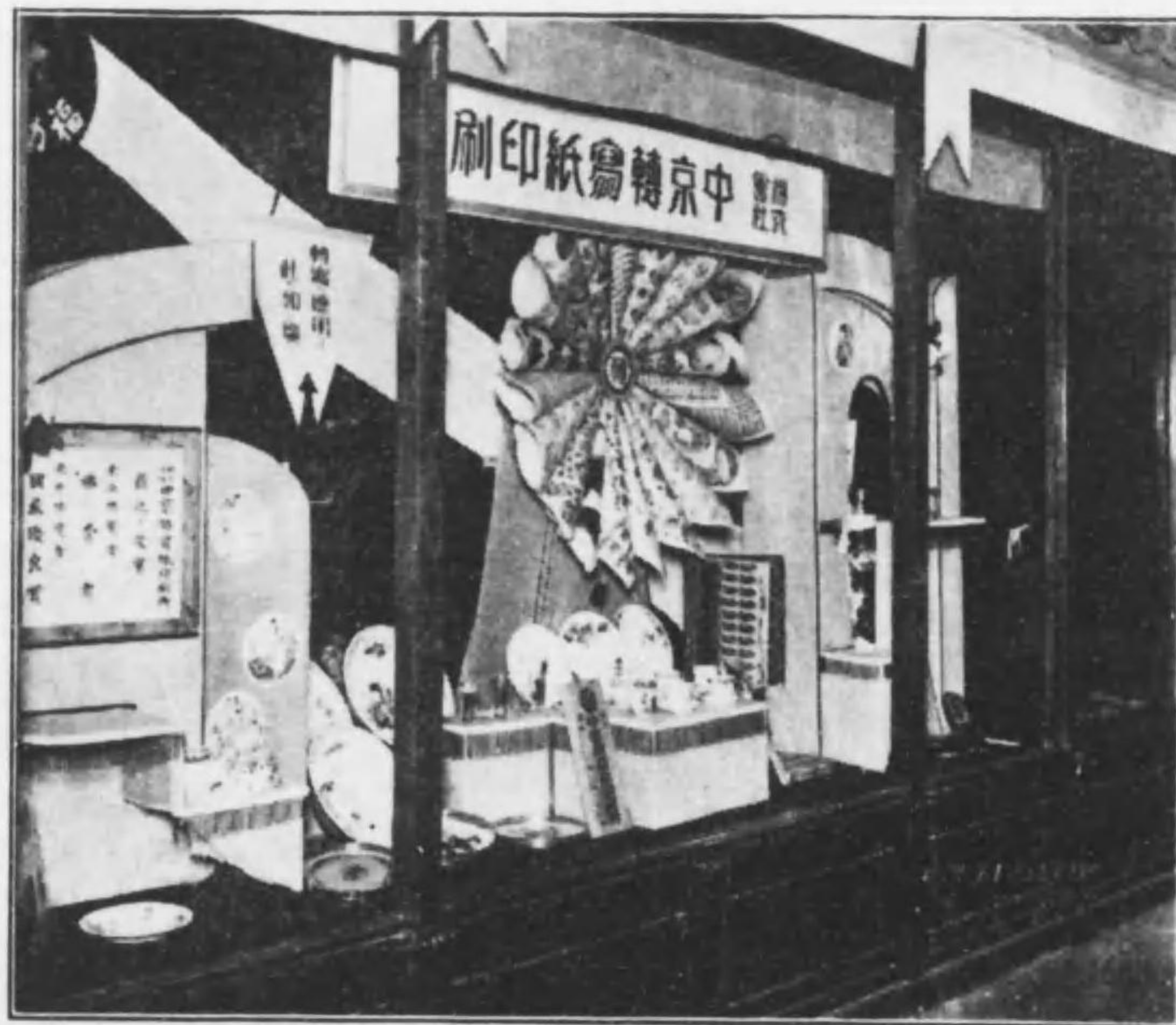
吾國に於ては毎年約四萬戸と云ふ夥しい建物が焼失して居ります豫測の出来ない火災襲來前に御研究下さいませ

寶庫に對する詳細な參考資料は御請求次第進呈致します



石原商店寶庫部

名古屋市西區東柳町八三
專用電話西局一〇一五番



祖元 中京の轉寫

斯界の權威

轉寫萬能

中京轉寫紙印刷所 株式會社

電話東京〇八六八番
振替名古屋一四八二番



製飴界の王

於御大典奉祝名古屋博覽會
金牌受領

名古屋製飴株式會社

名古屋市南區熱田東町字丸山二番地

長電話南⑥ 一一〇〇二三番
電話「アメ」又ハ「ア」



名譽賞牌受領

美術七寶燒
徽章メタル 製造販賣

安藤七寶店

本店 名古屋市中區矢場町五切
電話中局③七五番
支店 東京市京橋區
元數寄屋町四丁目
電話銀座八八八番
三三九一番

名古屋屋名物

シキマシパ

敷島製シキマ社

名古屋東區長堤町
八三八四・八四〇一 } ① 東電
五六七七 }



シキマシパ特設販賣店前景



商店ノシノ合名会社

大阪 名古屋

〔カタログ送呈ス〕

賜侍從御差遣之榮光

優等味淋

九重櫻

全國酒類品評會名譽賞連續受領



御大典奉祝名古屋博覽會名譽賞受領

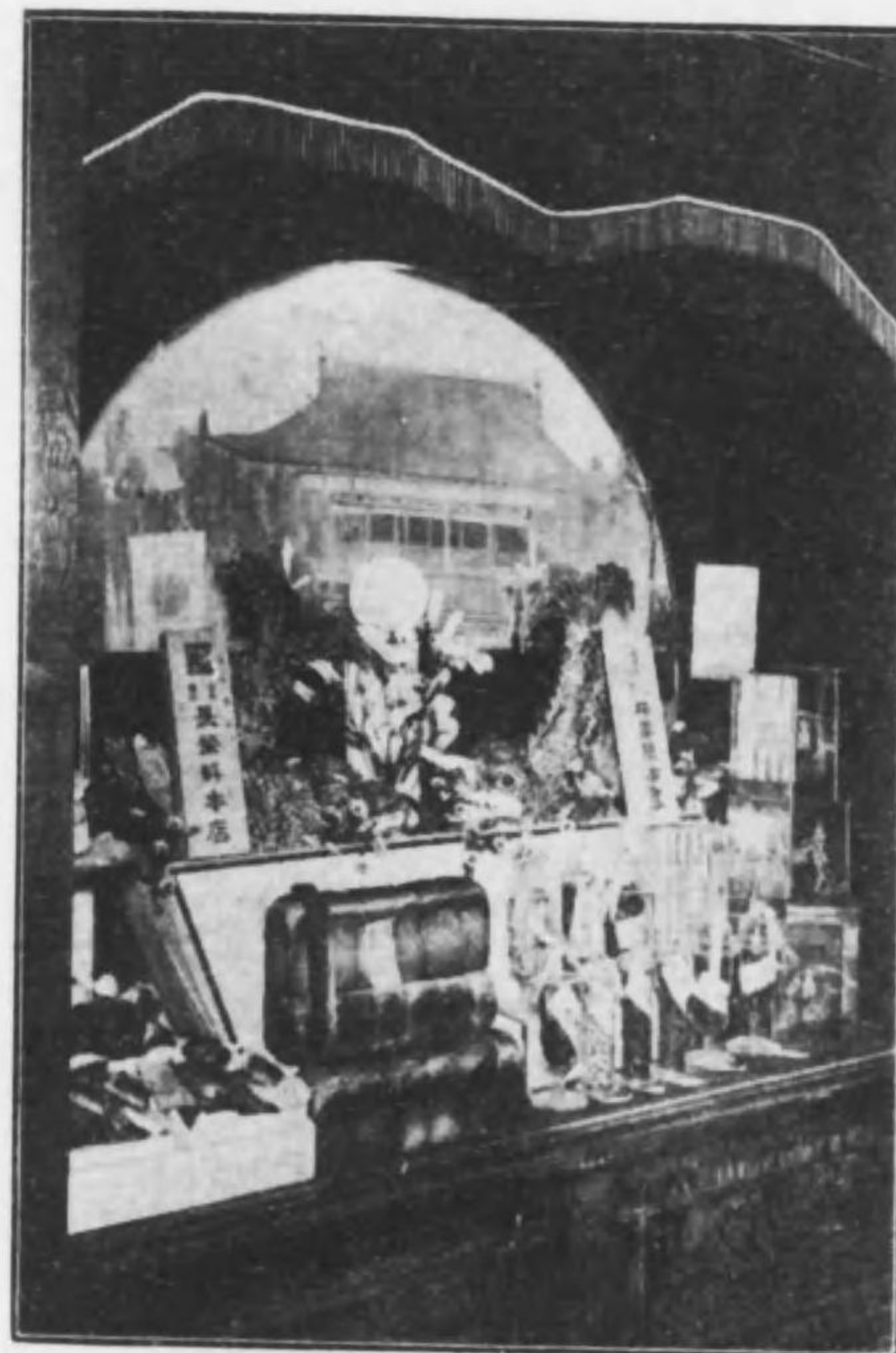
釀造元

愛知縣大濱町

石川八郎治

電話八番

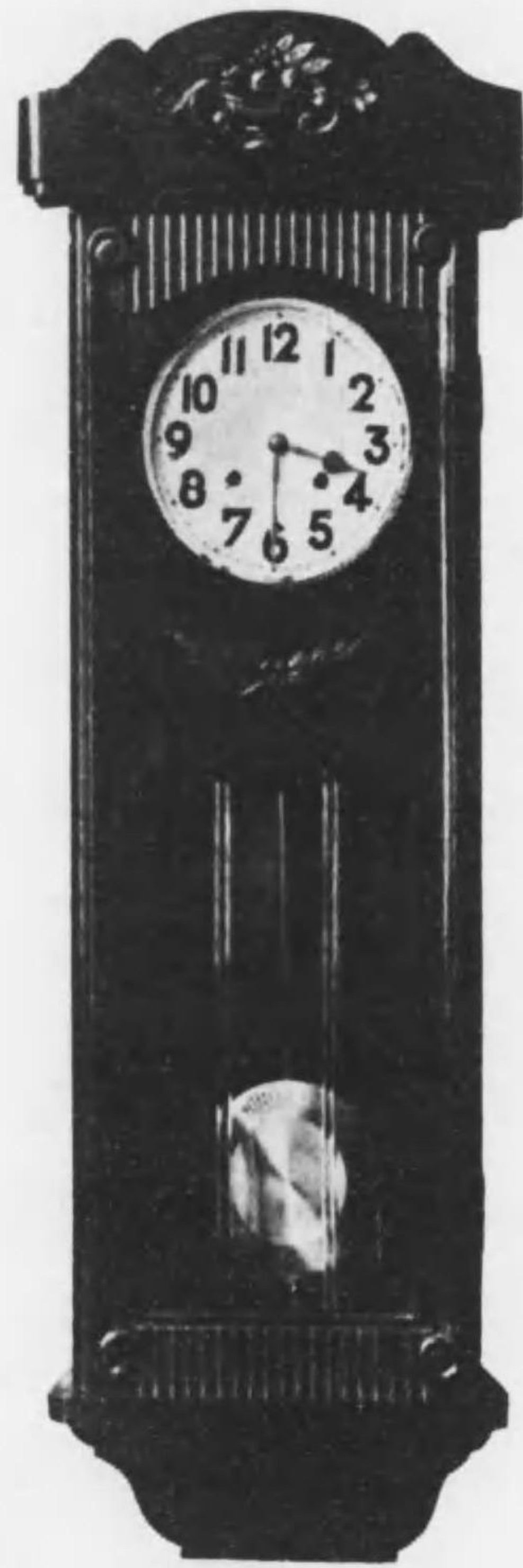
振替貯金 東京四三二九番
名古屋一六八番



パンプ長榮軒

名古屋市中區新柳町

銀牌受領



名古屋市中區三田町七十五、六番地
 高野時計製造所
 高野金屬品製作所

電話南 ⑥ 八六五番
 三一三番
 三八四番
 三九四番
 神戶出張所 (神戸市海岸通り四丁目四三番) 電話三ノ宮六一二番

登錄商標



本社置時計ハ畏クモ
 天皇陛下ノ御買上ノ光榮ヲ賜フ
 堅牢無比指時正確
 掛置時計蠅獲器製造元
 名古屋市東區葵町

尾張時計株式會社

電話東④二二四八番
 振替貯金名古屋六番

專賣特許
 第二三三三號
 第一四七二號
 蠅獲器

家庭用發明品展覽會ニ出品シタル蠅獲器宮内省ヨリ御買上ノ榮ヲ賜フ

蠅ハ病毒微菌ノ媒介者ニシテ衛生上頗ル危險ナルモノナリ
 一ハイトリツクハ自動回轉作用ニテ蠅ヲ獲ル至極體裁良キ器械ナリ
 一ハイトリツクハ蠅ヲ多ク獲ルコトハ驚ク可キ程ニシテ從來在リ來リノ品ノ如ク不潔ナルコトナク一察アレバ永久用ヒ得ルモノナリ
 一近來模造品アリ地球馬ノ商標ニ御注意アリタシ



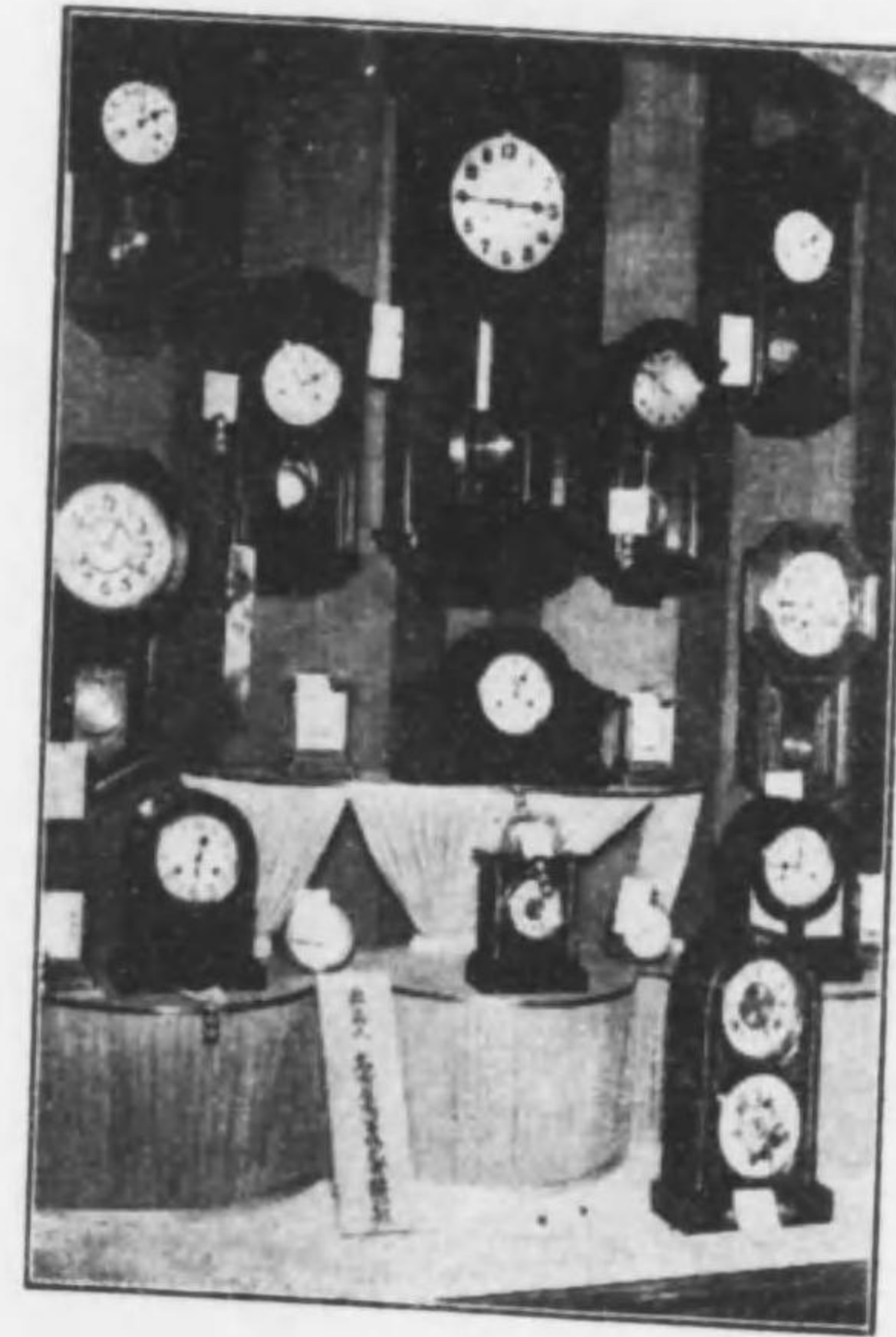
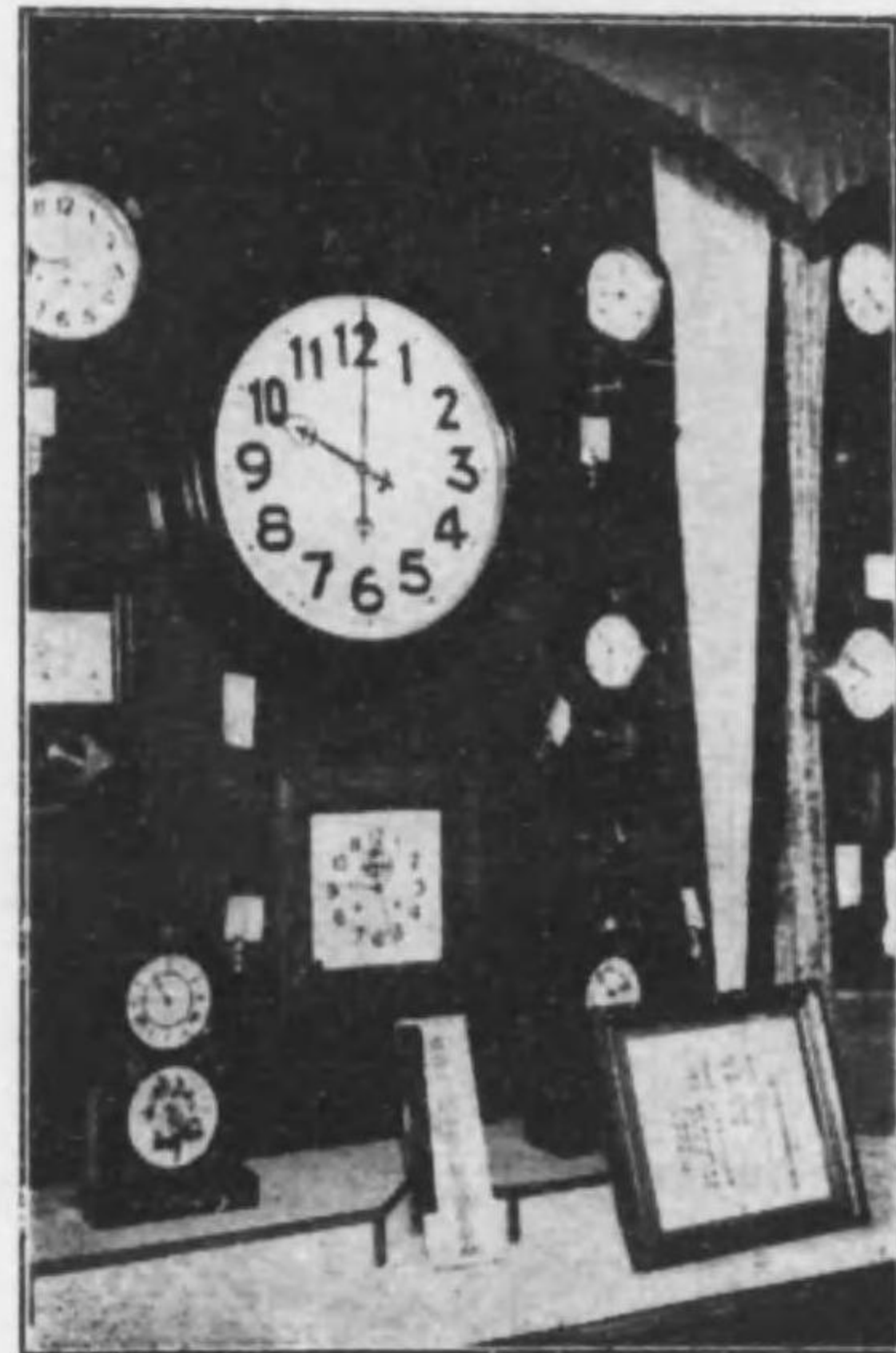
蠅 金 掛
 捕 屬 置
 器 時 時
 計 計

賣 販 造 製



地番七町山松區東市屋古名
部計時社會式株事商屋古名

番二六一東電長
 番七八六一一屋古名座口替振



創 立 明治二十八年十月
 年產額 七 拾 五 萬 圓

登 錄 商 標



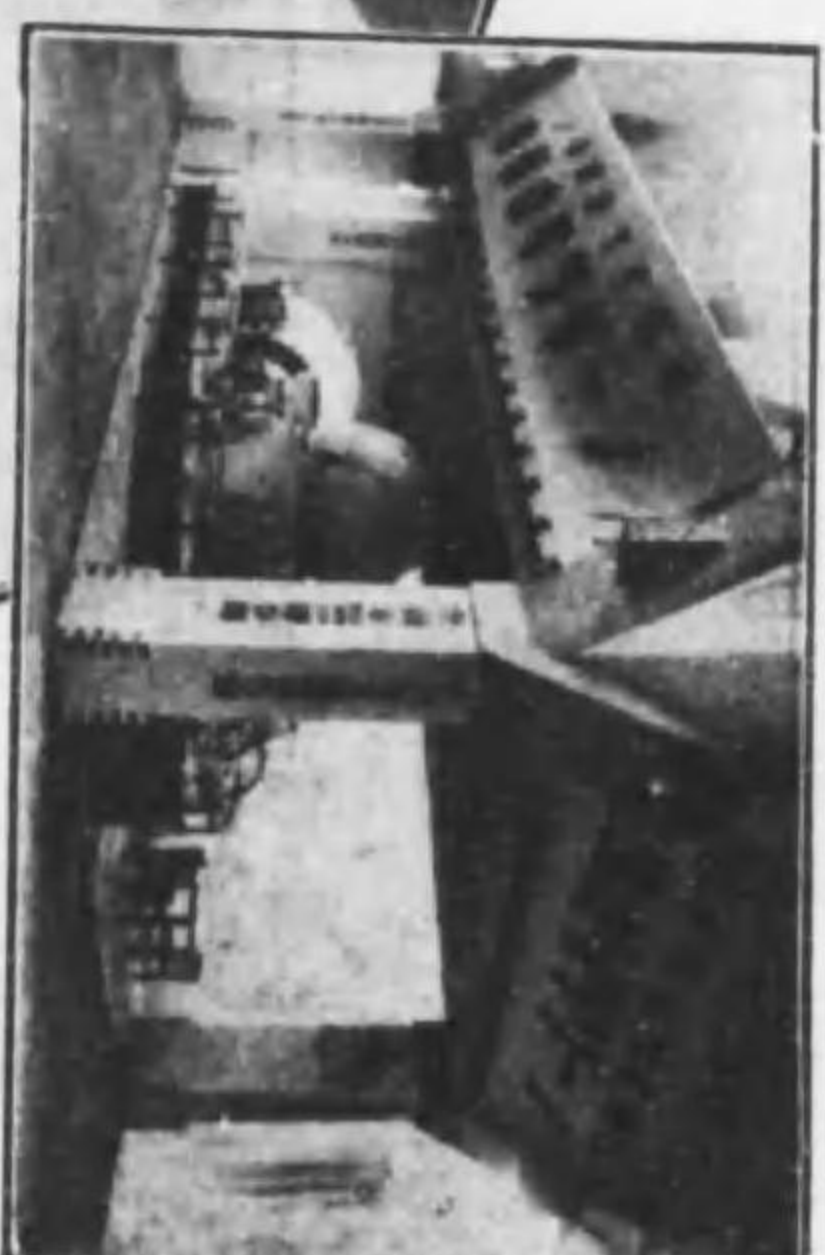
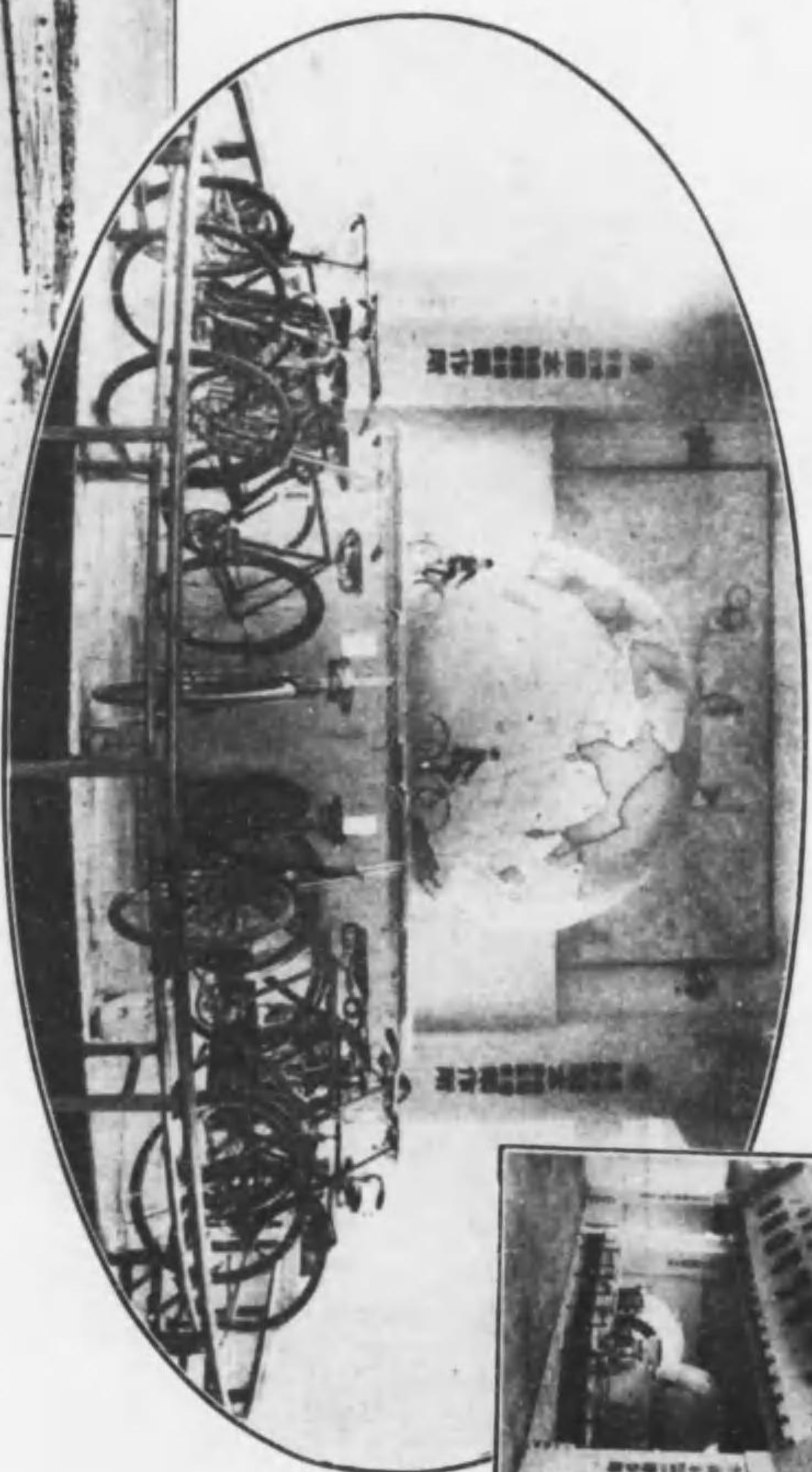
名古屋市中區東陽町二丁目九番地

明治時計製造合資會社

國電話中局四二六番
 振替名古屋五八七番

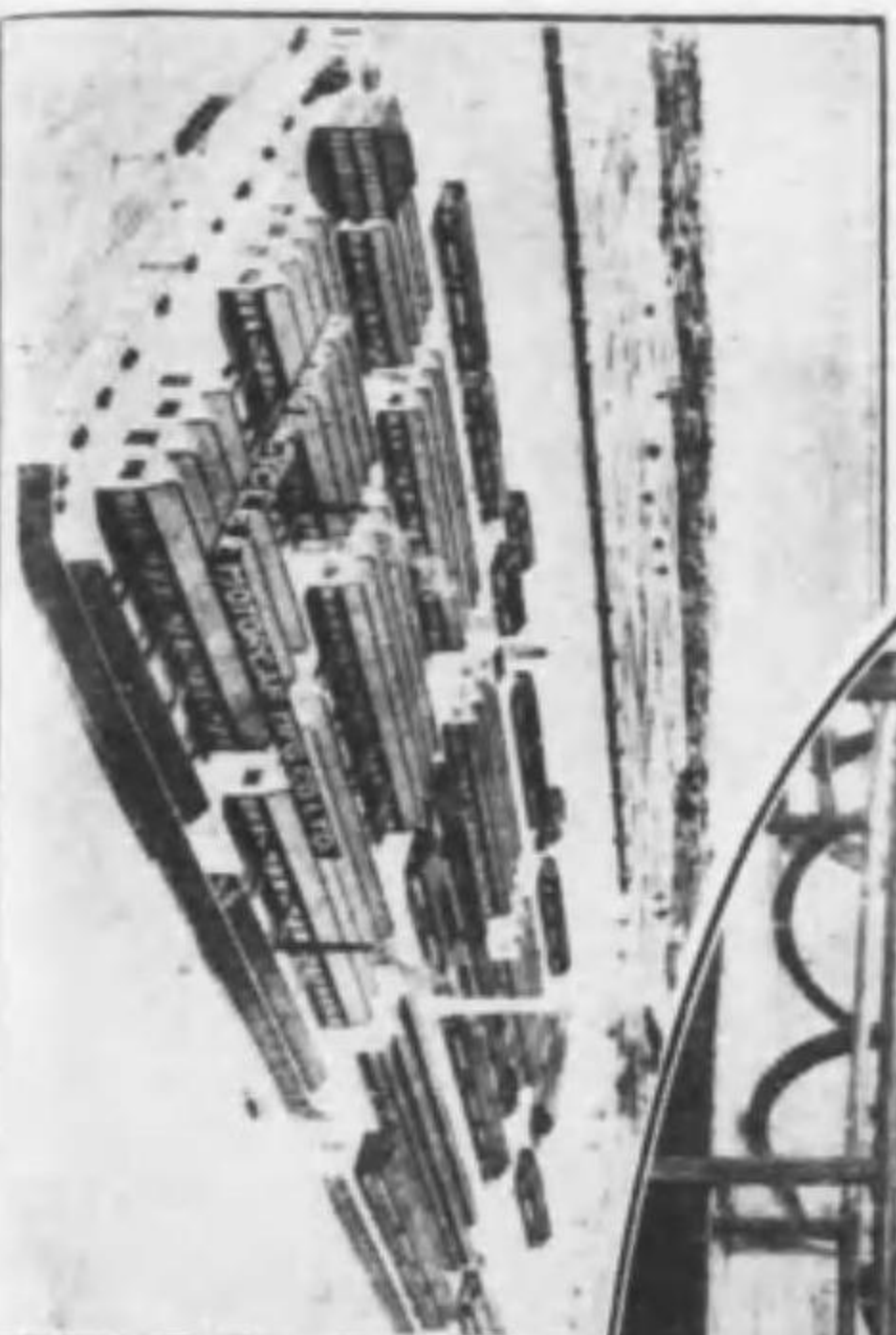
領受牌賞譽名

輕くて丈夫な
ノースリツ號自轉車



陸海軍省
陸軍省
陸軍省
指定工場

年三十二治明業創
軍動自本岡社會式株
所作製
町所器御區中市屋古名



賜 山階宮殿下 御用命

賀陽宮殿下
愛知醫科大學附屬病院御用品

浴精 家庭溫泉 醫藥に優る

發賣元

武藤鉦合名會社
藥品部

電話本局②
一五〇五番 一五〇八番
一五〇六番 一五〇九番
一五〇七番
振替名古屋二六一〇番

専賣特許
登録商標

六〇バスハツプ

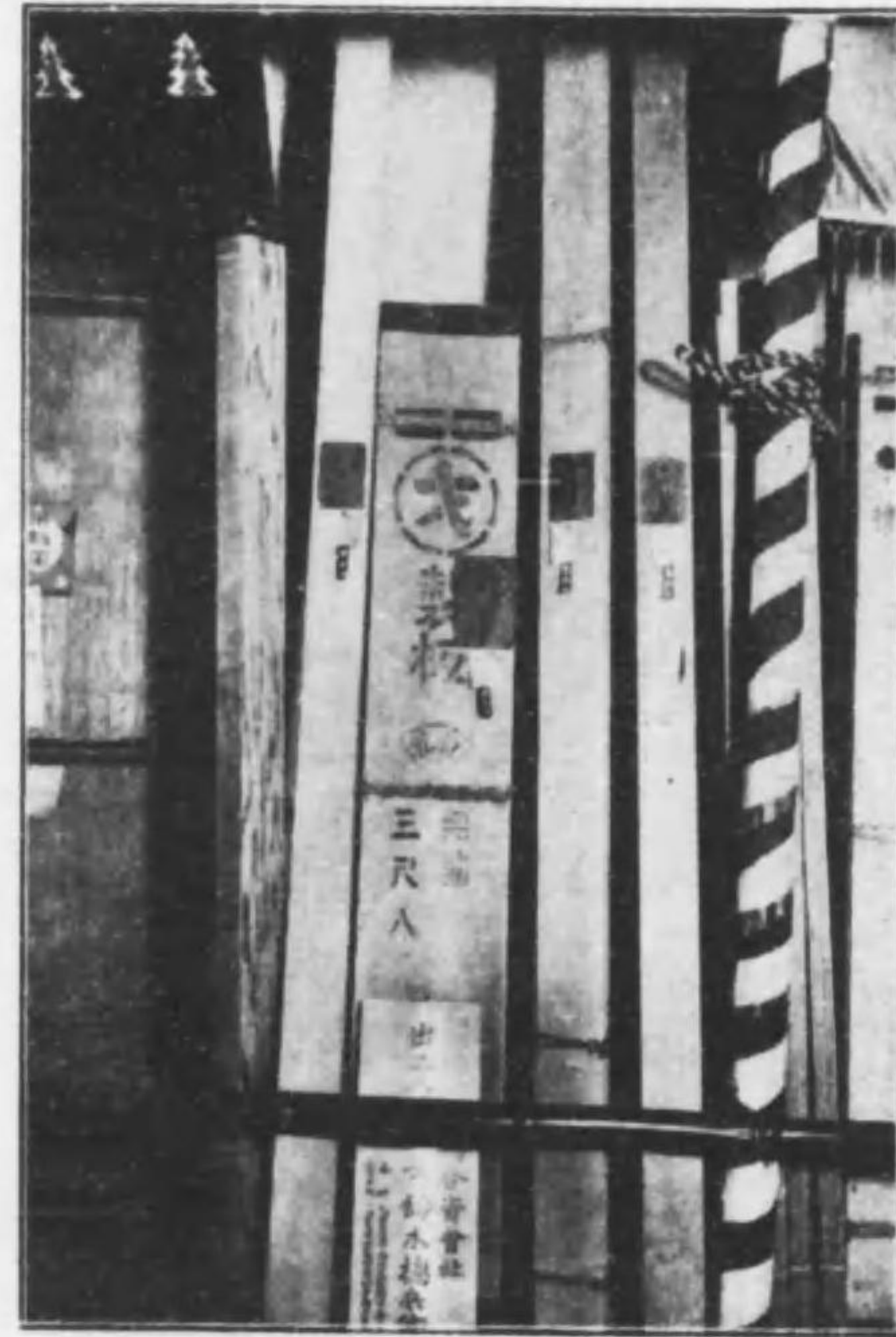




尾西織物同業組合

年 産 額

| | |
|------|------------|
| 毛織物 | 58,000,000 |
| 綿織物 | 7,000,000 |
| 交織其他 | 9,000,000 |
| 合計 | 74,000,000 |



弊社出品紅松挽材ニ對シ本博覽會ニ於テ名譽賞牌ヲ受賞セシハ弊社ノ最モ榮譽トスル所ナリ茲ニ紅松材ニ關シ左記數項ヲ略記シ顧客諸賢ノ御參考ニ資セントス乞フ倍舊ノ御愛顧ヲ賜ハラムコトヲ

一、將來米材及北洋材ヲ風靡シ木材界ニ覇ヲ稱フルモノハ材資優良ニシテ建築、建具用材ニ適シ價格又低廉ニシテ一般向ナル紅松ヲ措キテ他ニ適材ナカルベシ

一、弊社茲ニ見ル所アリ貯木場ニ大量貯材ス

一、製材ニハ特ニ細心ノ注意ヲ拂ヒ各用途ニ應シ特有ノ木理ヲ表現スルニ努ム

一、最新機械ト熟練職工トニヨリ短時日ニ大量製材ス



於御大典奉祝名古屋博覽會
名譽賞牌

理想的の清水式無砂精米機！

合資會社 清水商會

東京市神田區五軒町

於御大典奉祝名古屋博覽會
名譽賞牌受賞

伊藤メリヤス株式會社

三重縣四日市市外寶山



於御大典奉祝名古屋博覽會
金牌受領

愛知縣常滑町

(常滑局私書函第八號)

營業種目

陶管類各種
化粧煉瓦
火鉢植木鉢
美術陶器
瓶類各種



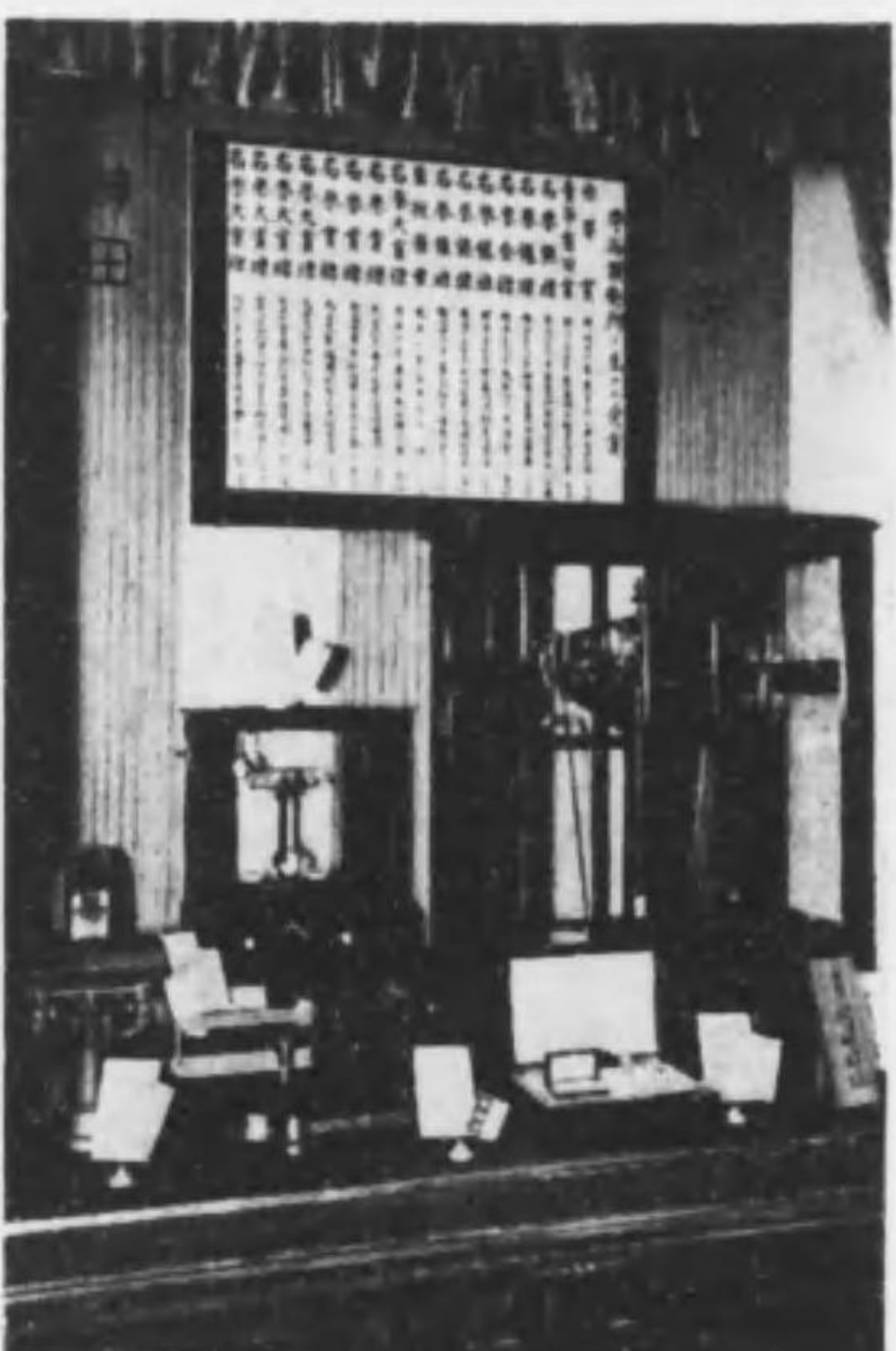
陶榮株式會社

電話七八番 營業部
電話七四番 工場部
電信略號(〇)ナ九
振替口座東京八六一四番
名古屋一七四番

最高

名譽大賞牌受領

御大典奉祝名古屋博覽會ニ於テ



東京市神田區富山町二番地
度量衡器製作
諸機械製造
鐵鑄造業
守谷定吉

會覽博屋古名祝奉典大御
牌賞譽名



機械網の魁
漁網輸出の先驅



三重製網合資會社

綿糸、麻ラミー、絹
各種網地製造販賣

三重縣四日市港

三重の漁網

三重製網合資會社

同社は日本に於ける編網機發明實施の先驅者であり同時に亦斯業界の指導者である。同社が二十五年間刻苦研究に勵みたる該機械の改良進歩は眞に歐米の編網機を壓して好能率を擧げつゝあり而して其製網は内外に信用厚く海外の需用年々共に増進し今や好個の模範工場となれり社長は西口利平氏なり

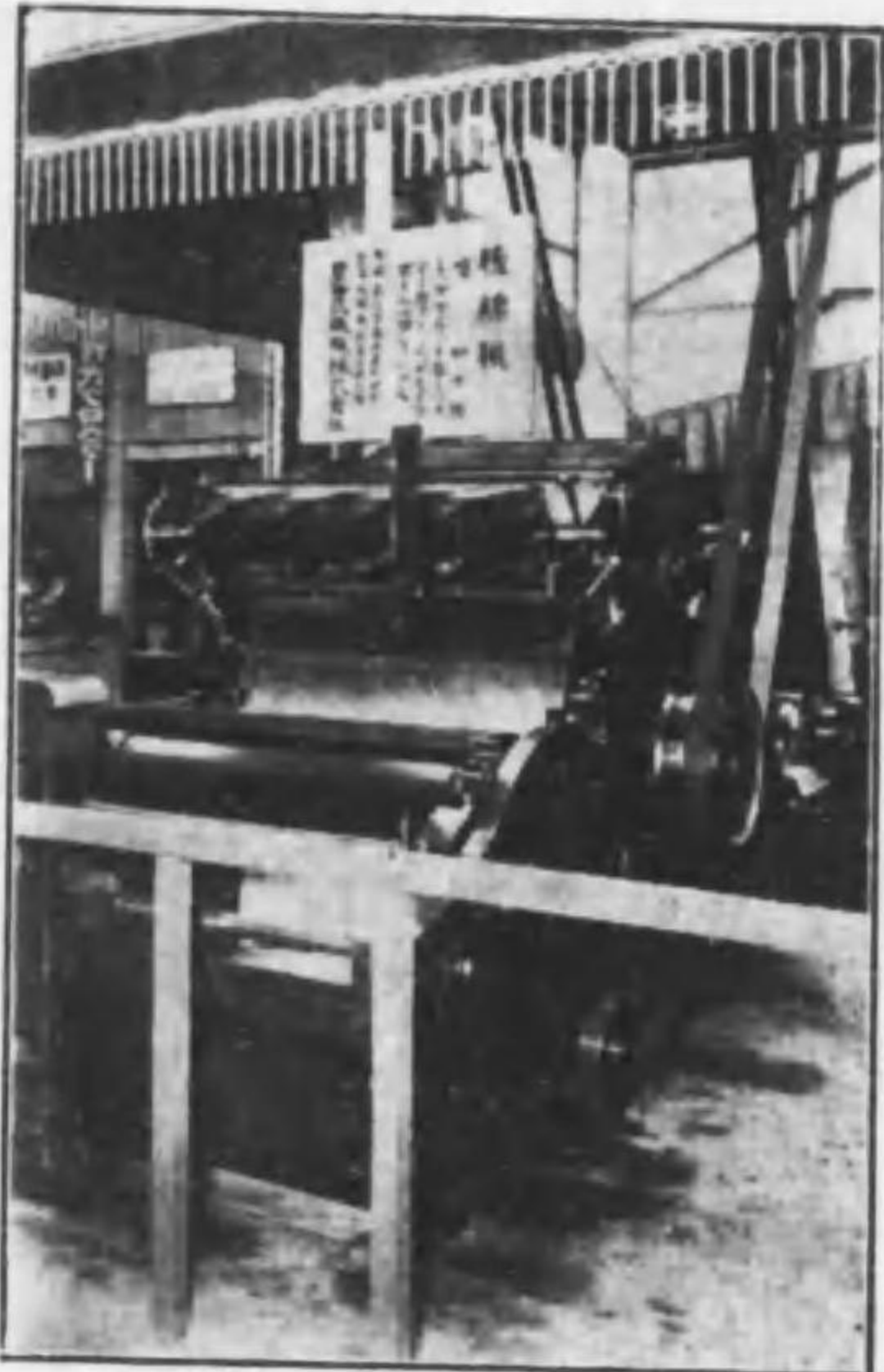


沿革

明治三十年六月資本金六萬圓ノ合資會社トシテ設立セラレ創立當時ハ釜數百六十二釜生絲年産額二百餘捆ニ過キサリシガ漸次設備ヲ擴張スルト共ニ大正十二年五月組織ヲ變更シテ株式會社トセリ

創立年月 明治三十年六月
資本金 二百萬圓(全額拂込済)
敷地坪數 四萬六千坪
建物坪數 一萬五千坪
運轉釜數 千六百釜
生絲製造高 年額七千五百捆(六萬七千五百貫)

三河國 株式會社 三龍社



於御大典奉祝名古屋博覽會
名譽大賞牌受賞

豐田式織機株式會社

本社 名古屋市西區嶋崎町
支店 大阪市港區北泉尾町

於御大典奉祝名古屋博覽會
名譽大賞牌受賞

大日本人造肥料株式會社



會覽博屋古名祝奉典大御於

賞受牌金



社會式株業陶本日

町滑常郡多知縣知愛



門衛右吉 捧



次吉 捧

當店ノ光榮

受賞

平和記念東京博覽會 金牌受賞領
 全國産業博覽會 名譽金賞牌受領
 東亞勳業博覽會 國產優良賞受領
 御大典記念國產振興東京博覽會 國產優良賞受領
 御大典奉祝名古屋博覽會 名譽賞牌受領
 大禮記念京都大博覽會 優異國產金牌受領
 御大典記念國產振興阪神大博覽會 國產優良賞牌受領
 全博覽會 名譽賞牌受領
 外數十回

販路輸出先

支那 印度 シヤム シンガポール マニラ シヤハ 南米
 西比利亞 亞弗利加 內地

新潟縣燕町

捧 吉右衛門

電話 三番

出張所 東京市神田區松住町二番地

斯業界最高の榮冠を頂ける

丸八洋服店出品の

燕尾服

店 名古屋市廣小路本町西

電話東四二四九番



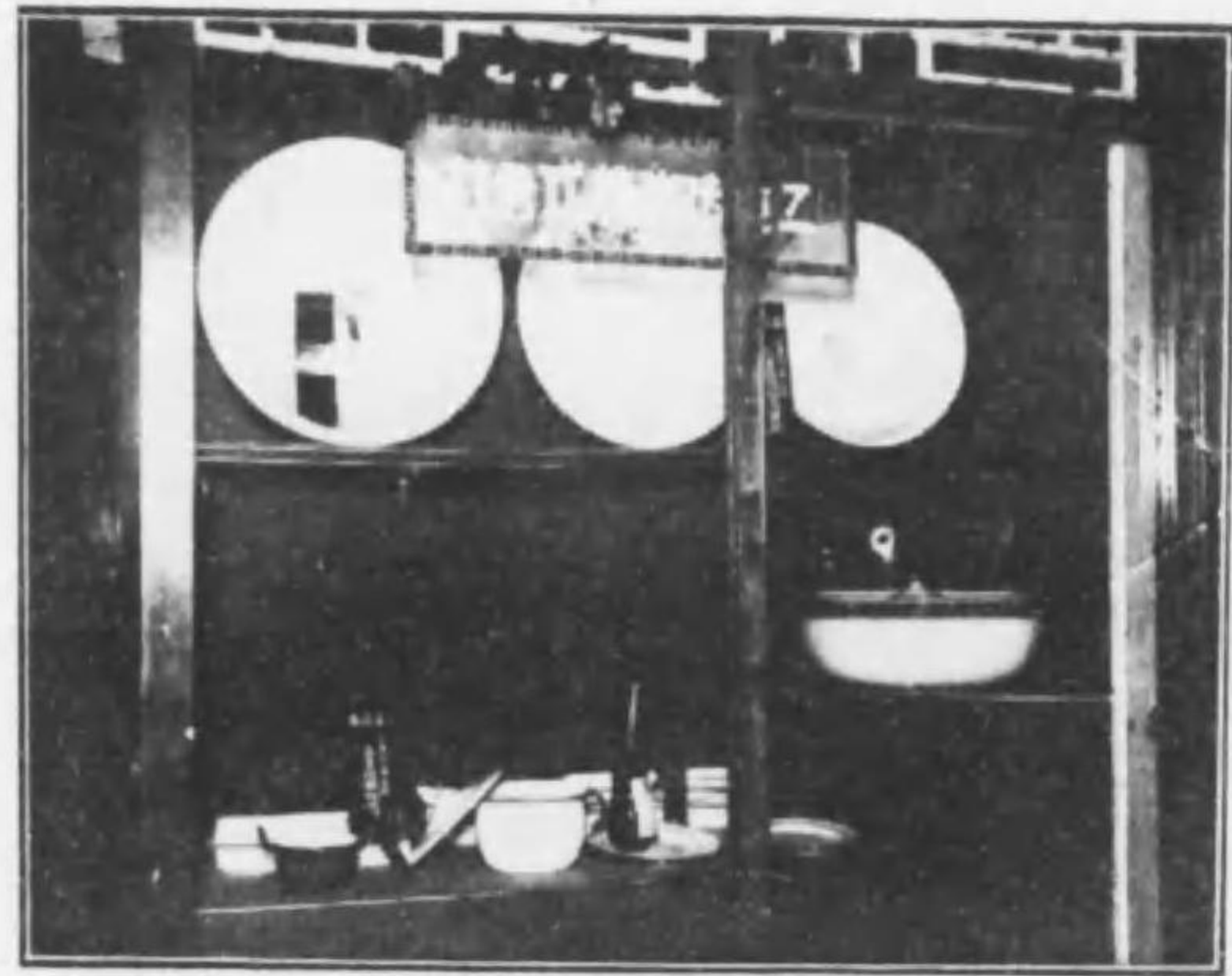
御大典奉祝

名古屋博覽會

於鶴舞公園

自昭和三年九月十五日起至十二月廿三日

事務局 名古屋市役所内



三重瑛瑯株式會社
三重縣桑名町

販路
內地、朝鮮、臺灣、支那、印度、暹羅、新嘉坡、佛領印度、馬尼刺、南洋諸島、東亞、弗利加



着心地のよい
理想的な背廣服

洋服店 加藤作治
岐阜縣岐阜市美園町二丁目



優待觀覽券



無料觀覽券

御注意

- 一 總テ、四回改鉄致シマスカラ御入場ノ際守衛ニ御示シ下サイ
- 一 四階ノ中改鉄シナイ部分ハ尚有効デス
- 一 此券ハ美術館及演舞場ノ御入場ニハ通用致シマセン
- 一 此券ハ御一人一回限リデス

製券所印三 東京

御注意

- 一 總テ、四回改鉄致シマスカラ御入場ノ際守衛ニ御示シ下サイ
- 一 四階ノ中改鉄シナイ部分ハ尚有効デス
- 一 此券ハ美術館及演舞場ノ御入場ニハ通用致シマセン
- 一 此券ハ御一人一回限リデス

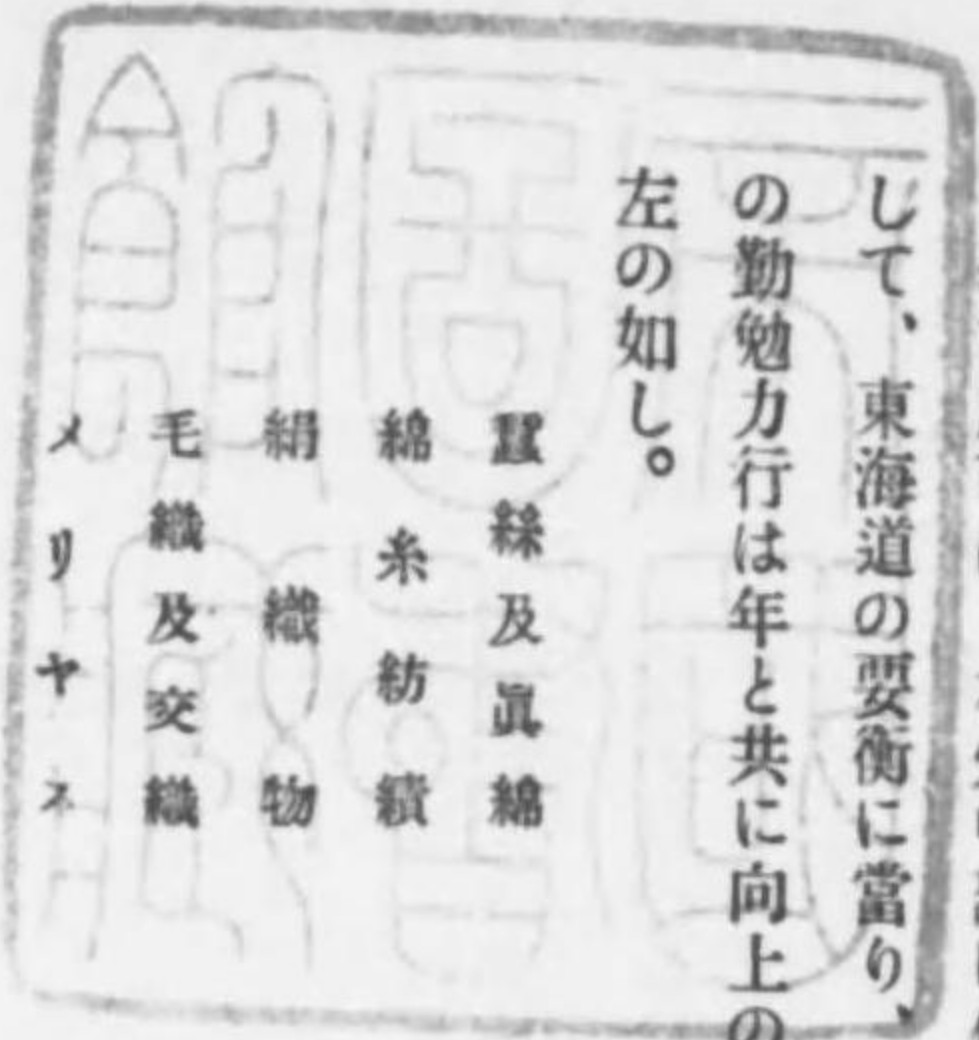
製券所印三 東京

第一編 博覽會

第一章 總論

第一節 名古屋市の商工業

名古屋市は、本州中部に位し、廣茅十万里、人口九十五萬を擁し、東京大阪に亞ぐ大都市たり、本市は徳川義直開府の地にして、東海道の要衝に當り、古來繁榮を重ねしが、明治大正を経て今日に至り、交通は四通し、文化は發達し、加ふるに市民の勤勉力行は年と共に向上の一路を辿り、殊に産業方面に於て其の發展著しきものあり、今本市の主要なる生産物を擧ぐれば左の如し。



| | |
|-------|------------|
| 蠶絲及眞綿 | 五、〇七七、四六二円 |
| 綿糸紡績 | 五五、〇一七、五九五 |
| 絹織物 | 八一、二九二、一四四 |
| 毛織及交織 | 一四、八一〇、九三四 |
| メリヤス | 七、〇九六、〇三四 |
| ビール | 七、一七七、二七八 |
| 菓子 | 六、七五〇、〇〇〇 |
| 小麦粉 | 一五、〇一四、八七三 |
| 磁器 | 二一、五九五、三五六 |
| 箱 | 六、〇四三、一七〇 |

第一章 總論

第一節 名古屋市の商工業

其他五百萬圓以下のもの三十七種、生産額總計三億四千五百四十一萬七千餘圓を算し、我國大都市中の第三位にあり即左の如し。

| | |
|-------|--------------|
| 大 阪 | 九〇七、六一六、〇〇〇円 |
| 東 京 | 四三八、二一〇、六一八 |
| 名 古 屋 | 三四五、四一七、八〇二 |
| 神 戸 | 二八四、七一七、六九五 |
| 京 都 | 一六三、二六三、九三七 |
| 横 濱 | 一二九、二二六、四五六 |

然れども、本市が此の如き巨大なる生産を示すと雖、其の内容を仔細に點檢すれば、猶發展の餘地甚だ大なるものあるを見る可し、試に生産の基礎をなす、工場及職工數を比較すれば左の如し。

| | | | | |
|-------|-------|------|--------|---------|
| 大 阪 | 五人未滿 | 五人以上 | 計 | 職 工 數 |
| 東 京 | 二一〇一九 | 四六〇〇 | 二五、六一九 | 一九九、五五九 |
| 名 古 屋 | 八六五五 | 三二九四 | 一一、九四九 | 八七、七九六 |
| 神 戸 | 九六九一 | 一七六〇 | 一一、四五一 | 八二、四三一 |
| 京 都 | 三七四八 | 七三九 | 四、四八七 | 五四、六八一 |
| 横 濱 | 不明 | 一一一八 | 一、一一八 | 二九、四四六 |
| 計 | 四九一五 | 六三六 | 五、五五一 | 二四、八一八 |

更に之を各種工業別にすれば左の如し。

| | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----|-------------|-----|-------------|-----|-------------|-----|-------------|-----|------------|-------|-------------|
| 染織工業 | 東 京 | 一七、三三、八六一 | 京 都 | 八四、五四、九三三 | 大 阪 | 二四三、六九五、〇〇〇 | 神 戸 | 一八、一七九、九〇七 | 横 濱 | 三、〇九九、五三五 | 名 古 屋 | 一八八、七〇七、五五六 |
| 機械工業 | 東 京 | 一五九、一〇七、七六〇 | 京 都 | 一三、六六四、六六六 | 大 阪 | 二七三、三三三、〇〇〇 | 神 戸 | 一〇七、八六四、九五四 | 横 濱 | 三〇、六三八、六三四 | 名 古 屋 | 二二、七七〇、八〇〇 |
| 化學工業 | 東 京 | 四三、三〇六、九九五 | 京 都 | 五、三三七、三〇五 | 大 阪 | 一九三、一五〇、〇〇〇 | 神 戸 | 六五、六四八、五五五 | 横 濱 | 一〇、九六〇、〇八四 | 名 古 屋 | 四六、三五二、四一九 |
| 飲食品工業 | 東 京 | 一〇七、六五九、三三五 | 京 都 | 四八、六五五、六五四 | 大 阪 | 八三、八四七、〇〇〇 | 神 戸 | 六五、四〇六、〇五七 | 横 濱 | 五、三三四、三五 | 名 古 屋 | 四五、一四五、七九九 |
| 雜工業 | 東 京 | 一〇、八七九、三七〇 | 京 都 | 二、一三〇、四八七 | 大 阪 | 一四〇、五二一、〇〇〇 | 神 戸 | 三三、四〇五、六八八 | 横 濱 | 三、五〇〇、六三九 | 名 古 屋 | 三六、二七〇、〇四五 |
| 特別工業 | 東 京 | 二八、八九四、三〇七 | 京 都 | 不明 | 大 阪 | 五四、〇九一、〇〇〇 | 神 戸 | 五、二二二、五五三 | 横 濱 | 一、七二三、三五九 | 名 古 屋 | 五、一七一、一〇三 |
| 計 | 東 京 | 四三八、三〇、六八八 | 京 都 | 一六三、二六三、九三七 | 大 阪 | 九〇七、六二六、〇〇〇 | 神 戸 | 二八四、七七、六九五 | 横 濱 | 二九、二六、四五六 | 名 古 屋 | 三四五、四一七、八〇二 |

即本市に於ける生産の大は一に染織工業の然らしむる所にして總額の二分の一以上を算し、其他の工業に至りては他の都市に比し猶發展の餘地あるを窺ふに足る。

之を工業會社數及其の拂込資本に就て見るに

| | | | |
|-------|-------|------|--------------|
| 大 阪 | 一、六五三 | 拂込資本 | 六三三、四一八、〇〇〇円 |
| 東 京 | 一、一三八 | | 一九二、六八六、二五六 |
| 名 古 屋 | 四三一 | | 九五、九二九、四四〇 |
| 神 戸 | 三七九 | | 一九九、九五四、二五八 |
| 京 都 | 二八一 | | 七六、七五七、〇〇〇 |
| 横 濱 | 二一八 | | 三六、六八一、二四四 |

にして本市の工業が其の内容に於て規模の小なるを想見するに足る可し。

更に之を商業方面に就て見るも其の取引は他都市に比し遙に及ばざるものあり。
先づ銀行の預金及貸出を比較するに

預金

| | |
|-------|----------------|
| 大 阪 | 一、五三九、六七九、〇〇〇円 |
| 東 京 | 二、三四八、一六七、九〇八 |
| 名 古 屋 | 三〇三、四三六、八二一 |
| 神 戸 | 三八九、一〇三、〇〇四 |
| 京 都 | 三九八、四八〇、〇二五 |
| 横 濱 | 一四三、七二五、八九八 |

貸出

| | |
|-------|---------------|
| 大 阪 | 一、六六八、六八四、〇〇〇 |
| 東 京 | 三、四六五、九五〇、一一六 |
| 名 古 屋 | 二八五、四五八、六八四 |
| 神 戸 | 四四七、八一四、七二七 |
| 京 都 | 一五五、〇九六、四八四 |
| 横 濱 | 一五三、四〇四、〇四一 |

銀行の預金及貸出の大小は必しも商取引の大小を表はすものに非るも其の一斑を窺ふに足る可く更に手形交換所に於ける手形交換高を比較すれば如實に其の大小を比較歸納することを得可し。

手形交換高

| | |
|-----|-----------------|
| 大 阪 | 二八、八三六、七五〇、〇〇〇円 |
|-----|-----------------|

之を商業會社と其の資本に就て見るに

| | |
|-------|--------------------------|
| 東 京 | 三七、三二〇、三五五、八三三 |
| 名 古 屋 | 三、四三六、三六四、七三四 |
| 神 戸 | 九、八六一、五六四、五一三 |
| 京 都 | 二、〇六二、〇〇二、八七〇 |
| 横 濱 | 一、九七二、九六九、九三五 |
| 大 阪 | 二、三六〇 拂込資本 一、〇二〇、七五九、〇〇〇 |
| 東 京 | 二、三一〇 一、九三六、四七九、三五八 |
| 名 古 屋 | 八九九 八二、一五三、一六五 |
| 神 戸 | 六九二 一二四、七三七、三二三 |
| 京 都 | 四八〇 四〇、九七六、〇〇〇 |
| 横 濱 | 七三三 二七五、〇五〇、八〇五 |

にして本市が他の都市に比し不振の状態にありといふを得可し。
更に輪移出額を比較すれば

| | |
|--------|------------------|
| 大 阪 | 出 三、三二四、〇五七、〇〇〇円 |
| 神 戸 | 入 二、七六五、一二七、〇〇〇 |
| 神 戸 | 出 六八〇、六八二、〇五二 |
| 京 都 | 入 一、〇五二、四一八、一五四 |
| 京 都 | 出 二九、六七九、〇〇〇 |
| (外國貿易) | 入 三五、二八三、〇〇〇 |

| | | |
|--------|---|-------------|
| 横濱 | 出 | 七六〇、三五九、〇〇〇 |
| (外國貿易) | 入 | 六三八、六三九、〇〇〇 |
| 名古屋 | 出 | 八四、四七七、二一一 |
| | 入 | 二〇八、三一九、〇六九 |

にして此れ亦前記の商業機關の不振に伴ふ必然の結果といふを得可し。

之を要するに本市は人口の増大と面積の廣大を擁すと雖其の内容に於ては猶近世的商工業組織完備の域に達せず舊套を墨守して近世文化の需要に應ずるが如き状態にあるを以て、之を指導し、之を開發し、取引方法、商工業機關、生産工業の規模を新にし世界的需要に對應するの準備は緊要欠く可からざることなりとす。

第二節 博覽會開催の趣意

我が名古屋市が中京と稱し其の面積の大、人口の密、商工業の殷盛を言ふと雖而も其の内容に於て發展の餘地甚だ大なるものあるに對し、縣市商工會議所を初め各種團體に於て、比年各般の施設をなしつゝあり、偶昭和二年の秋、聖上陛下兵を尾三の野に閱させ給ふや軍務御繁多にも拘はらせ給はず、畏くも産業振興に御軫念あらせ給ひ、鳳輦親しく工場に臨ませられ作業御巡覽の榮を賜ふ、市民の感激惜く所を知らず、誓つて産業の振興に努力し、聖恩の萬分の一に報ひ奉らんと期す、名古屋勸業協會茲に鑑みる所あり、昭和三年秋一大博覽會を開催し謹みて、聖上陛下御登極の大禮を慶賀し奉り併て産業振興の實を擧げ以て聖旨の萬一に報ひ奉らんと昭和三年一月、賀陽宮恒憲王殿下を總裁と仰ぎ奉り、副總裁に小幡愛知縣知事、伊藤商工會議所會頭を推し、本會々長大岩名古屋市長、博覽會長として同年二月左の如き趣意を以て全國に賛同を求めたり。

趣意書

伏シテ惟ミルニ

今上陛下淑聖文武ノ英資ヲ以テ大統領ヲ繼ガセ給ヒ是歲秋冬ノ交登極ノ大禮ヲ京都ニ行ハセ給フ八千萬ノ赤子誰レカ此ノ一世ノ大典ヲ奉祝シ無比ノ聖儀ヲ謳歌セザルモノアラシヤ。況ンヤ、鳳輦京都ニ向ハセ給フ途次我が名古屋市ニ御駐泊アラセ給フアルオヤ市民ノ光榮感激眞ニ能ク言辭ノ盡ス所ニアラズ。

今上陛下夙ニ國產ノ振興ニ御軫念アラセ給ヒ昨秋兵ヲ尾三ノ野ニ閱サセ給フヤ軍務御繁多ニモ拘ハラセラレズ。畏クモ玉車屢々製作工場ニ御親臨アラセ給ヒ又御使ヲ差遣アラセ給フコト四十個所ノ多キニ及ビ産業御獎勵ノ聖旨洵ニ煌燿臣子ノ恐懼措ク能ハザル所ナリ。

今ヤ國富ノ増進ハ産業ノ振興ニ賴ル所極メテ多ク産業ノ振興ハ之ヲ研鑽ノ効果ニ待ツモノ甚ダ大ナリ。我が名古屋市ハ帝國ノ中部ニ位シ廣袤十萬方里人口九十萬ヲ算シ天恵ノ地利ヲ占メ交通ノ要衝ニ當リ市勢殷々乎トシテ今ヤ帝國第三位ノ大都市タルニ至レリ。名古屋勸業協會茲ニ鑑ミル所アリ此ノ佳節ヲトシ幸ニモ

賀陽宮恒憲王殿下ヲ本會總裁ニ奉戴スルノ光榮ヲ荷ヒ各位ノ熱誠ナル御讚助ヲ得テ本市鶴舞公園ニ御大典奉祝名古屋博覽會ヲ開催シ實業ノ精ヲ集メ生産ノ粹ヲ陳ネ謹テ御大禮ヲ慶賀シ奉リ併セテ我國産業ノ進展ニ資シ國運ノ隆昌ニ貢獻シ以テ海嶽窮リナキ

聖恩ノ萬一ニ報ヒ奉ランコトヲ期ス。

希クハ各位本會微衷ノ存スル所ヲ諒トセラレ多大ノ御後援ヲ賜ハラランコトヲ

昭和三年三月

御大典奉祝名古屋博覽會長

名古屋勸業協會長
名古屋市長

大 岩 勇 夫

第二章 開設

第一節 役員

總裁

賀陽宮恒憲王殿下

| | | |
|-----|-------------|---------|
| 副總裁 | 愛知縣知事 | 小幡 豊治 |
| 副總裁 | 名古屋商工會議所會頭 | 伊藤次郎左衛門 |
| 會長 | 名古屋勸業協會會長 | 大岩 勇夫 |
| 副會長 | 名古屋市助役 | 三澤 寛一 |
| 同 | 名古屋勸業協會副會長 | 青木 嗣夫 |
| 同 | 名古屋商工會議所副會長 | 瀧 定助 |
| 同 | 名古屋勸業協會副會長 | 岡谷 惣助 |
| 同 | 名古屋商工會議所副會長 | 鈴木 政吉 |

顧問

| | |
|---------|-----------|
| 第三師團長 | 安 滿 欽 一 |
| 留守第三師團長 | 曾 田 孝 一 |
| 貴族院議員 | 磯 貝 浩 |
| 貴族院議員 | 下 出 民 義 |
| 衆議院議員 | 田 中 善 立 |
| 衆議院議員 | 小 山 松 壽 |
| 同 | 加 藤 隼 郎 |
| 同 | 鬼 丸 義 齋 |
| 同 | 椎 尾 辨 匡 |
| 同 | 久 野 尊 資 |
| 同 | 西 脇 晉 |
| 同 | 丹 下 茂 十 郎 |
| 同 | 瀧 正 雄 |
| 同 | 加 藤 綱 一 |
| 同 | 三 輪 市 太 郎 |
| 同 | 武 富 九 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|---------|-----------|--------|---------|-----------|-----------|------------|--------------|--------------|----------|---------|--------|
| 一宮市長 | 豐橋商工會議所會頭 | 岡崎商工會議所會頭 | 一宮商工會議所會頭 | 知多商工會議所會頭 | 愛知出品協會副會長 | 名古屋新聞社長 | 新愛知新聞社長 | 名古屋毎日新聞社長 | 愛知新聞社長 | 名古屋日報社長 | 名古屋日々新聞社長 | 名古屋夕刊新聞社長 | 報知新聞名古屋支局長 | 大阪毎日新聞名古屋支局長 | 大阪朝日新聞名古屋支局長 | 日本電報通信社長 | 名古屋通信社長 | 共同通信社長 |
| 日野常太郎 | 福谷元次 | 深田三太夫 | 小島太左衛門 | 中埜良吉 | 舞田壽三郎 | 小島松壽郎 | 大島宇吉 | 木下不二太郎 | 續木籌三郎 | 田中實辨郎 | 瀬川嘉助 | 春日井豐助 | 齋藤紫郎 | 木下不二太郎 | 寺澤鎮郎 | 山口普英 | 後藤助藏 | 松原繁吉 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|------------|------------|-------------|------------|--------------|--------------|------------|----------------|-----------|--------|---------|---------|-----|-----|------|------|-------|---|
| 中央通信社長 | 愛知通信社長 | 東邦電力株式會社社長 | 東邦瓦斯株式會社社長 | 名古屋鐵道株式會社社長 | 愛知電鐵株式會社社長 | 瀧戶電氣鐵道株式會社社長 | 尾張電氣鐵道株式會社社長 | 樂地軌道株式會社社長 | 下ノ一色電車軌道株式會社社長 | 名古屋放送局理事長 | 愛知銀行頭取 | 村瀨銀行頭取 | 名古屋市會議員 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 水野日出夫 | 小田莊二 | 松永安左衛門 | 岡本櫻 | 富田重助 | 藍川清成 | 加藤左衛門 | 江口賢一 | 青山鐵四郎 | 鈴野金之助 | 神邊義郎 | 渡邊義郎 | 村瀨九郎右衛門 | 加藤清作 | 林繁成 | 菅武時 | 後藤太助 | 加藤一夫 | 高木駒太郎 | |

員

一六

| | |
|-------------|--------|
| 名古屋商工會議所議員 | 高田勸三 |
| 同 | 八木富三 |
| 同 | 水谷林 |
| 同 | 榎並庄兵衛 |
| 同 | 柳橋金左衛門 |
| 同 | 大野善三郎 |
| 同 | 後藤新三郎 |
| 同 | 岩田金三郎 |
| 同 | 水野榮三郎 |
| 同 | 今井藤三郎 |
| 同 | 淺井豐一 |
| 愛知縣會議員 | 北河丈吉 |
| 同 | 青山安五郎 |
| 同 | 伊藤重次郎 |
| 同 | 近藤壽市郎 |
| 同 | 加藤正市郎 |
| 名古屋勸業協會顧問 | 大喜多寅之助 |
| 同 | 田阪千助 |
| 名古屋乘合自動車專務 | 竹内芳太郎 |
| 鳳來寺鐵道株式會社社長 | 大橋正太郎 |
| 三河鐵道株式會社社長 | 神谷傳兵衛 |

員

一五

| | |
|------------|-------|
| 名古屋商工會議所議員 | 正田義助 |
| 同 | 宮崎平四郎 |
| 同 | 後藤安太郎 |
| 同 | 下藤兼次郎 |
| 同 | 武藤勝太郎 |
| 同 | 加藤勝太郎 |
| 同 | 豐田利三郎 |
| 同 | 服部治三郎 |
| 同 | 石塚岩三郎 |
| 同 | 加藤梅太郎 |
| 同 | 青木鎌太郎 |
| 同 | 服部小太郎 |
| 同 | 武藤鉦八郎 |
| 同 | 加藤林三郎 |
| 同 | 猪村幸三郎 |
| 同 | 後藤藤三郎 |
| 同 | 宮田辰次郎 |
| 同 | 江口彌一郎 |
| 同 | 近藤德治郎 |
| 名古屋商工會議所議員 | 同 |

| | | | |
|---------|-----------------|-----------------|-------|
| 熱田驛長 | 伊藤彦作 | 同 | 小橋亮作 |
| 大曾根驛長 | 波邊彌六 | 名古屋毎日新聞記者 | 横井太郎 |
| 所得稅調查委員 | 葦澤陳平 | 同 | 岩田中軍治 |
| 同 | 加藤鐵丸 | 大阪朝日新聞記者 | 田中軍治 |
| 同 | 渡邊福三郎 | 大阪毎日新聞記者 | 岩井肇 |
| 同 | 山田八十吉 | 報知新聞記者 | 北岸佑吉 |
| 同 | 安達吉三郎 | 愛知新聞記者 | 山田政郎 |
| 同 | 梅澤辰藏 | 日本電報通信社記者 | 赤尾英治 |
| 同 | 木村彌作 | 名古屋通信社記者 | 野々部逸治 |
| 同 | 荒川豐藏 | 中京通信社記者 | 梅田正一 |
| 同 | 栗本又次郎 | 共同通信社記者 | 野本鐵吾 |
| 同 | 手塚辰次郎 | 豐橋商工會議所理事 | 鈴木澄衛 |
| 同 | 大須賀源次郎 | 岡崎商工會議所理事 | 稻葉恒助 |
| 同 | 三木一衛 | 一宮商工會議所理事 | 森尾繁春 |
| 同 | 同 | 知多商工會議所理事 | 岡本繁一 |
| 參事 | 尾三勢濃鑄物鍋釜農具同業組合長 | 尾三勢濃鑄物鍋釜農具同業組合長 | 中尾十郎 |
| 新愛知新聞記者 | 名古屋材木商工組合長 | 名古屋材木商工組合長 | 鈴木惣兵衛 |
| 同 | 愛知縣眞田帽子同業組合長 | 愛知縣眞田帽子同業組合長 | 橋本榮次郎 |
| 名古屋新聞記者 | 愛知燐寸同業組合長 | 愛知燐寸同業組合長 | 伊藤松次郎 |

| | | | |
|-----------------|--------|--------------|-------|
| 名古屋織物卸賣同業組合長 | 祖父江重兵衛 | 名古屋印刷同業組合長 | 英比貞造 |
| 名古屋酒類商同業組合長 | 山村德治 | 名古屋洋服商工同業組合長 | 岩田金三郎 |
| 名古屋紙函製造同業組合長 | 中村常次郎 | 名古屋漬物製造同業組合長 | 中村謙吉 |
| 名古屋米穀商同業組合長 | 間宮重兵衛 | 三河中央織物同業組合長 | 鶴田督亮 |
| 名古屋砂糖商同業組合長 | 柳橋金左衛門 | 尾西織物同業組合長 | 兒玉柳吉 |
| 名古屋金屬小間物製造同業組合長 | 伊藤孝經 | 尾州絹織物同業組合長 | 丹羽忠兵衛 |
| 名古屋紙商同業組合長 | 伊藤常七 | 丹葉織物同業組合長 | 水野高三郎 |
| 名古屋染物同業組合長 | 小川元三郎 | 知多白木綿同業組合長 | 山田佐一 |
| 名古屋足袋問屋同業組合長 | 野津重助 | 碧海織物同業組合長 | 杉浦市太郎 |
| 愛知縣織物同業組合會長 | 舞田壽三郎 | 三河幡豆織物同業組合長 | 鈴木伊三郎 |
| 愛知縣時計製造同業組合長 | 岡田彦兵衛 | 三河織物同業組合長 | 舞田壽三郎 |
| 名古屋織物同業組合長 | 瀨川嘉助 | 有松絞商工同業組合長 | 竹田嘉兵衛 |
| 名古屋味噌醬油製造同業組合長 | 磯貝浩 | 愛知縣一宮惣糸同業組合長 | 森清次 |
| 名古屋賣藥同業組合長 | 今堀辰三郎 | 三河紡績同業組合長 | 大野惣五郎 |
| 名古屋陶磁器貿易商工同業組合長 | 井元爲三郎 | 瀬戸陶磁器同業組合長 | 加藤助五郎 |
| 愛知鑄造同業組合長 | 田村觀助 | 常滑陶器同業組合長 | 鯉江親雄 |
| 名古屋硝子同業組合長 | 石塚岩三郎 | 三河陶管同業組合長 | 神谷太一郎 |
| 愛知縣莫大小同業組合長 | 猪村鎌吉 | 西三瓦製造同業組合長 | 淺岡仙松 |
| | | 知多郡味噌醬油同業組合長 | 小栗福藏 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|----------------|--------------|-------------|-----------|----------------|-----------------|----------------|---------------|--------------|-------------|----------------|----------------|-------------|------------|---------------|--------------|----------------|---------------|
| 東三醬油同業組合長 | 尾張知多郡大根切干同業組合長 | 三河大根切干同業組合長 | 三河乾海苔同業組合長 | 豐橋賣藥同業組合長 | 東西春日井郡菓製品同業組合長 | 愛知縣西春日井郡蠶業同業組合長 | 愛知縣南設樂郡蠶業同業組合長 | 愛知縣渥美郡養蠶同業組合長 | 愛知縣東三蠶種同業組合長 | 三遠玉糸製造同業組合長 | 愛知縣東三生糸製造同業組合長 | 愛知縣西三生糸製造同業組合長 | 寶飯郡養蠶同業組合長 | 東加茂蠶種同業組合長 | 碧海郡蠶種同業組合長 | 愛知縣中京蠶種同業組合長 | 愛知縣尾張生糸製造同業組合長 | 愛知縣東金城蠶種同業組合長 |
| 服部 彌八 | 花井 一造 | 大野 九八郎 | 青木 九八郎 | 伊藤 莊一 | 横井 音吉 | 松澤 清次郎 | 山内 五壽雄 | 芳賀 保治 | 小林 幸平 | 金子 文作 | 白井 勝治 | 株式會社 三龍社 | 山口 祐藏 | 吉橋 寅吉 | 稻垣 和一 | 河田 悅治郎 | 原 製糸場 | 川村 吉六 |
| 愛知縣西金城蠶種同業組合長 | 愛知縣幡豆郡蠶種同業組合長 | 愛知縣岡崎蠶種同業組合長 | 尾張大根切干同業組合長 | 熱田 魚組 合長 | 名古屋瓦商組合長 | 名古屋文房具商工組合長 | 名古屋蔬菜果實商組合長 | 名古屋種菓子製造業組合長 | 名古屋肥料雜穀問屋組合長 | 名古屋菓子製造組合長 | 名古屋疊製造業組合長 | 名古屋和服裁縫業組合長 | 名古屋絹布染色業組合長 | 名古屋洋雜貨商組合長 | 中央齒科材料製造販賣組合長 | 名古屋米穀問屋組合長 | 名古屋靴商工組合長 | 名古屋製本業組合長 |
| 川井 由廣 | 岡田 貞次郎 | 伊藤 重次郎 | 櫻井 淺一郎 | 村瀬 德兵衛 | 内藤 菊五郎 | 安藤 清兵衛 | 杉本 常太郎 | 宮田 金之助 | 野尻 理右衛門 | 酒井 可壽吉 | 太田 松藏 | 水野 市郎 | 野田 圓太郎 | 織田 善七 | 社本 兼太郎 | 西田 淺次郎 | 大橋 長太郎 | 神谷 五一 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|------------|-------------|-----------------|------------|----------|--------------|----------|-------------|------------|-----------------|-------------|------------|-------------|--------------|-----------|-------------|-----------------|-------------|
| 名古屋麵類業組合長 | 名古屋筆筒商工組合長 | 名古屋乾物卸賣業組合長 | 名古屋洗染クリーニング業組合長 | 名古屋眼鏡商工組合長 | 名古屋電業組合長 | 名古屋味噌味噌油商組合長 | 名古屋油業組合長 | 名古屋鼻緒製造業組合長 | 名古屋葬祭具業組合長 | 愛知縣味噌醬油釀造組合聯合會長 | 愛知縣酒造組合聯合會長 | 名古屋菓子業組合長 | 名古屋吳服太物商組合長 | 名古屋貴金屬品製造組合長 | 名古屋桶類業組合長 | 名古屋銅鐵金物商組合長 | 名古屋絹具染料工業藥品商組合長 | 名古屋酒造組合長 |
| 富田 庄太郎 | 森 米吉 | 森川 彌兵衛 | 梶田 浦太郎 | 牧野 市左衛門 | 月野 正五郎 | 小川 幸一 | 肥田 伊代藏 | 小塚 晃 | 原田 藤一 | 服部 彌八 | 太田 彌太郎 | 後藤 利兵衛 | 伊藤 次郎左衛門 | 池田 正信 | 鈴木 安次郎 | 宮部 鈴三郎 | 大澤 重右衛門 | 廣瀬 惣兵衛 |
| 名古屋セメント瓦製造販賣組合長 | 東春織物同業組合長 | 愛泉酒造組合長 | 尾北酒造組合長 | 海部郡酒造組合長 | 西三酒造組合長 | 東三酒造組合長 | 中三酒造組合長 | 北設樂郡酒造組合長 | 名古屋石匠組合長 | 名古屋蠟燭業組合長 | 名古屋帽子製造組合長 | 名古屋履物卸商組合長 | 名古屋折箱組合長 | 名古屋繙帶材料製造組合長 | 名古屋製綿業組合長 | 熱田蒲鉾製造組合長 | 名古屋乾物商組合長 | 名古屋乾海苔問屋組合長 |
| 杉本 榮七 | 塚原 嘉一 | 村瀬 小右衛門 | 今枝 久兵衛 | 佐藤 孫七 | 石川 八郎治 | 中村 平吉 | 深田 定治 | 關谷 守男 | 加藤 榮次郎 | 山口 眞次郎 | 橋本 榮次郎 | 高木 鉄次郎 | 天野 兼次郎 | 松村 清輔 | 河野 重助 | 矢代 菊藏 | 加藤 久四郎 | 森川 竹三郎 |

| | | | |
|--------------|-------|---------------|--------|
| 名古屋金物卸商組合長 | 田中清吉 | 名古屋組糸商組合長 | 青山庄兵衛 |
| 名古屋菓子問屋組合長 | 松岡數太郎 | 名古屋玩具商組合長 | 岩田芳之助 |
| 名古屋蚊帳寢具組合長 | 鬼頭理助 | 名古屋屏風業組合長 | 淺井理八 |
| 名古屋瓦商組合長 | 大矢伴三郎 | 名古屋表裝業組合長 | 柴田喜三郎 |
| 愛知縣乳母車業組合長 | 増田新藏 | 臺灣產青果名古屋荷受組合長 | 堀部市左衛門 |
| 名古屋藥業組合長 | 中北伊助 | 名古屋小間物卸商組合長 | 森本三郎 |
| 名古屋雞卵商組合長 | 河野政之助 | 名古屋羅紗商協會長 | 西脇由兵衛 |
| 名古屋化粧品卸商組合長 | 村瀬谷三郎 | 名古屋洋服製品卸商組合長 | 武村文助 |
| 名古屋袋物卸商組合長 | 馬淵源六 | 名古屋笹島宿屋組合長 | 白木周次郎 |
| 名古屋佛具卸商組合長 | 増田庄六 | 名古屋宿屋組合長 | 都築鈴次郎 |
| 名古屋佛壇卸商組合長 | 山田鉞次郎 | 名古屋門前宿屋組合長 | 青山米太郎 |
| 名古屋提灯卸業組合長 | 坪内德次郎 | 名古屋鍋屋宿屋組合長 | 松山貞助 |
| 名古屋提灯卸業組合長 | 中村善兵衛 | 名古屋江川宿屋組合長 | 河竹活道 |
| 名古屋荒物雜貨卸商組合長 | 佐藤太助 | 名古屋商絨會會長 | 岩田金三郎 |
| 名古屋香油商組合長 | 森庄助 | 名古屋縫工組合長 | 高木圓藏 |
| 名古屋漆器商組合長 | 黒田茂助 | 名古屋桐下駄製造組合長 | 伊藤慶之助 |
| 名古屋輪出扇子組合長 | 太田鐵次郎 | 名古屋製飴業組合長 | 小島常次郎 |
| 名古屋石鹼製造組合長 | 石塚元雄 | 愛知縣知多酒釀組合長 | 田中清八 |
| 名古屋打及物業組合長 | 高田菊次郎 | 中京製飴業組合長 | 池山銀次郎 |

| | | | |
|------------------|-------|------------|-------|
| 名古屋製鉛業組合長 | 今枝庄一郎 | 名古屋勸業協會評議員 | 石黒鐘次郎 |
| 名古屋水産業組合長 | 犬飼正 | | 岩田清 |
| 名古屋桐材業組合長 | 小川啓次郎 | | 井川清兵衛 |
| 名古屋自轉車卸業組合長 | 奥田明喜 | | 伊藤庄八 |
| 名古屋輪業組合長 | 河合良 | | 池田錠次郎 |
| 常滑陶器工業組合理事長 | 伊奈伍助 | | 飯田萬次郎 |
| 名古屋輪出莫大小工業組合理事長 | 伊藤傳七 | | 稻守謙之助 |
| 名古屋輪出綿布工業組合理事長 | 三輪常次郎 | | 岩田重次郎 |
| 名古屋自轉車工業組合理事長 | 岡本德松 | | 泉菊三郎 |
| 名古屋輪出樂器玩具工業組合理事長 | 池田喜一郎 | | 石原伊之助 |
| 名古屋鐵道局案内所主任 | 千葉豐 | | 長谷川與吉 |
| 名古屋鐵道株式會社營業課長 | 大津二郎 | | 坂富次郎 |
| 愛知電氣鐵道株式會社營業課長 | 野々上薰 | | 畑市右衛門 |
| 同 運輸課長 | 伊藤謙次 | | 西村淺次郎 |
| 瀨戶電氣鐵道株式會社營業課長 | 加藤義晴 | | 大島繁次郎 |
| 同 運輸課長 | 伊藤久美 | | 岡部元彦 |
| 尾張電氣鐵道株式會社營業課長 | 鷺尾重一 | | 渡邊鉦太郎 |
| 下ノ一色電氣鐵道株式會社運管主任 | 石垣直三郎 | | 渡邊與兵衛 |
| 築地電軌株式會社運管主任 | 田中豐吉 | | 加藤由太郎 |

名古屋勸業協會評議員

同 鎌田新兵衛
 同 神戶七郎
 同 河村治助
 同 吉川源七
 同 吉田太一郎
 同 吉田源次郎
 同 高野馬二郎
 同 高崎壽美吉
 同 武井泉三郎
 同 津田義右衛門
 同 津田庄三郎
 同 永井鶴五郎
 同 中村謙吉
 同 村瀬七三郎
 同 武藤半一
 同 宇佐美喜太郎
 同 黑田茂助
 同 熊澤徳潤

名古屋勸業協會評議員

同 八神幸助
 同 山田儀藏
 同 山田十造
 同 保浦宮太郎
 同 山内市太郎
 同 增田新藏
 同 增田新次郎
 同 增田新庄六
 同 舟橋長次郎
 同 幸村初太郎
 同 小塚半次郎
 同 小宮幸次郎
 同 小島常次郎
 同 江副孫右衛門
 同 英比貞造
 同 江黑誠一
 同 淺井藤七
 同 淺井理八
 同 淺井綱次郎

名古屋勸業協會評議員

同 淺野鍵太郎
 同 淺野儀助
 同 淺見嘉次郎
 同 青山市兵衛
 同 青山市太郎
 同 青島惣吉
 同 佐々木吉右衛門
 同 齋藤次兵衛
 同 木村嘉七
 同 水谷周平
 同 水野庄六
 同 三輪伊三郎
 同 柴田喜三郎
 同 平岩曉呼
 同 平野辰次郎
 同 平手鈴吉
 同 洲崎五郎右衛門
 同 鈴木安次郎

委員

小林商榮會長
 五樂會會長
 門前町吳服會會長
 古澤町發展會會長
 牧野町聯合發展會會長
 南大津町繁榮會會長
 聯商會會長
 門前町發展會會長
 愛實會會長
 古渡實業十日會會長
 牧野町愛昇會會長
 中央バザー組合會長
 大須公園商盛會會長
 日出發展會會長
 名古屋東五發展會會長
 東陽發展會會長
 鶴舞町發展會會長

中津瀨 深
 鷗 常
 倉橋 久七
 平野 豐
 横地清次郎
 杉野峰三郎
 田中茂吉
 伊藤鍊次郎
 西村善平
 種田佐太郎
 石原徳三郎
 安井豊三郎
 池田喜一郎
 長尾甚造
 岩本捨次郎
 淺野英雄
 河合專一

大池町榮部發展會長 花井義三郎
 榮町發展會長 長谷川彦鎮
 萬松會會長 青山書店
 公園線中部發展會長 鈴木菊松
 洲崎發展會長 寬井清太郎
 新柳町發展會長 橫井清次郎
 大須門前大商組合會長 早川德三郎
 常盤町發展會長 津坂六之助
 東部聯合吳服組合會長 伊藤銳治郎
 名古屋靴商工組合會長 近藤秀三郎
 杉榮會會長 加藤清一郎
 鍋屋町發展會長 川島庄三郎
 商和會會長 道木鑛一
 大會根商榮會會長 森鍵次郎
 エビス會會長 水野重兵衛
 盛榮會會長 佐藤榮助
 新道商榮會會長 榎橋利造
 商工會會長 犬塚庄次郎
 清水町發展會長 志賀傳十郎

國防館顧問

朝日發展會長 伊藤榮之助
 江川町發展會長 伊藤德次郎
 商進會會長 中島米次郎
 玉陽會會長 岩田芳之助
 共榮會會長 天野太三郎
 下長者町發展會長 後藤太助
 圓頓寺筋進商會長 後藤庄太郎
 實業發展會長 小林龍男
 呼積發展會長 川上泰助
 須賀の市發展會長 鈴木義雄
 南興會會長 小田信太
 海軍省軍事普及會海軍少佐 早川成治
 陸軍省副官陸軍步兵少佐 國分新七郎
 名古屋工廠庶務課長 本田義三郎
 第三師團軍醫部長 竹居芳藏

同 兵器部長 大内爲喜
 同 參謀 下重長四郎
 海軍機關大佐 林正男
 豫備海軍大佐 幸田銈太郎
 同 淺井謙只
 留守第三師團司令部陸軍步兵大尉 武邑有義

同評議員

同參事

高木久太郎

美術顧問

石河有隣
 渡邊秋溪
 岡田良右衛門
 野崎華年
 久保田金僊
 松田鹿三
 安藤篤
 森村宜稻

毛利教武
 鈴木不知
 藤島華僊
 石川英鳳
 石井九峰
 市ノ木慶治
 猪飼俊二
 池田正信
 原田隆諦
 波多野岳一
 西村千太郎
 穗積清逸
 東野孝一
 神內生一郎
 狩野梅齋

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|------|------|-----|------|------|-------|-------|------|------|------|------|-------|------|------|------|
| 土井久吉 | 市野長之助 | 一江芳秋 | 毛利梅支 | 人見彌 | 水野義正 | 菊地香三 | 鬼頭錫三郎 | 喜多村麥子 | 安藤邦衛 | 青木柄古 | 朝見香城 | 近藤英雄 | 久津石清一 | 小寺雲洞 | 織田旦齋 | 土屋卜庵 |
|------|-------|------|------|-----|------|------|-------|-------|------|------|------|------|-------|------|------|------|

同委員

教育館參事

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|-----|
| 高倉半次郎 | 森藤彌三郎 | 木村仁止 | 菅井春山 | 荒川靜淵 | 淺岡古道 | 五味秋篁 | 松田杏亭 | 熊澤五六 | 中西清方 | 橫山葩生 | 加納潔 | 和田翠晃 | 大岩聚星 | 奧村石亭 | 織田杏逸 | 林雲鳳 |
|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|-----|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|-------|------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|------|------|------|------|-------|------|------|------|-----|
| 杉浦安右衛門 | 大島鐵次郎 | 水野靜太郎 | 三浦健次 | 丹羽元三郎 | 和田敏次郎 | 伊與田幾次郎 | 櫻木安次郎 | 柳川石次郎 | 近藤德次郎 | 黑金泰信 | 島田昌福 | 木原元次 | 鐘江富次 | 民屋慶次郎 | 廣田七郎 | 脇田庫雄 | 佐藤知之 | 神長櫃 |
|--------|-------|-------|------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|------|------|------|------|-------|------|------|------|-----|

同委員

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|-------|------|-----|------|------|------|------|
| 夏目幸 | 下田サト | 宇古則一 | 阪谷俊作 | 下出義雄 | 淺野甚七 | 高松定一 | 市邨芳樹 | 伊藤萬太郎 | 國松豐 | 藤江乙次郎 | 深見久七 | 伊東武 | 鈴木孝英 | 中村豐吉 | 久野新松 | 織田圓城 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|-------|------|-----|------|------|------|------|

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|-------|--------|------|-------|-------|--------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|
| 加藤 茂 | 栗田 嘉平 | 清水 貞雄 | 櫻木 龜次郎 | 坂正 夫 | 矢野 正吉 | 片野 正吉 | 加賀谷 金作 | 大口 全三郎 | 森川 鉉二 | 樋口 千代松 | 富永 高義 | 石川 七五三 | 齋藤 政美 | 山崎 升太郎 | 伊藤 文四郎 | 八木 久子 |
|------|-------|-------|--------|------|-------|-------|--------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|

衛生館顧問

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|------|--------|--------|--------|---------|-------|
| 松波 寅吉 | 北澤 忠男 | 藤井 靜英 | 勝田 源次郎 | 中島 銳雄 | 鈴木 義彰 | 鳥井 義紀 | 古川 友次郎 | 三宅 守貞 | 服部 善之助 | 石黒 鐘次郎 | 伊藤 東太郎 | 水野 光次郎 | 塚崎 貢 | 岩本 捨次郎 | 榎並 庄兵衛 | 松波 菊次郎 | 森野 吉右衛門 | 武田 永吉 |
|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|------|--------|--------|--------|---------|-------|

演藝委員

| | | | | | | |
|----------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|
| 藝妓置屋同盟會長 | 浪越連組合長 | 中券番組合長 | 睦連組合長 | 盛榮連組合長 | 熱田連組合長 | |
| 淺野 泰弘 | 野田 寛治 | 河田 庄作 | 佐藤 保 | 吉田 菊治郎 | 中野 ひと | 小笠原 八象 |

| | | | | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|------|------|
| 林直 助 | 大庭 士郎 | 田村 春吉 | 勝沼 精藏 | 酒井 繁 | 小口 忠太 | 河本 禎助 | 柳澤 秀吉 | 楠太 吉 | 朝川 順 |
|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|------|------|

演藝係

| | | | | | |
|--------|--------|---------|--------|--------|--------|
| 淺遊連組合長 | 吾妻連組合長 | 美遊喜連組合長 | 八幡連組合長 | 美波連組合長 | 和合連組合長 |
|--------|--------|---------|--------|--------|--------|

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|--------|
| 多和田 誠吉 | 船橋 忠五郎 | 岩佐 末吉 | 水野 万太郎 | 山口 忠治郎 | 加賀谷 禮藏 | 西川 石松 | 西川 かね | 高田 秀雄 | 角田 伍一 | 高田 芳治 | 千村 謙治 | 戸松 あい | 黒田 長太郎 | 久世 芳治郎 | 鈴木 通平 | 伊藤 閑三郎 |
|--------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|--------|

第二章 開設

第一節 役員

員

三四

安井卯三郎
 小澤銀雄
 石原金一
 伊藤玉吉
 酒井善次郎
 加藤鍵次郎
 齋藤政秀
 玉越徳治郎

加藤政太郎
 横地兵一郎
 竹内藤吉
 小川長次郎
 伊藤銀次郎
 加藤清
 中川もと
 中川善一郎

事務總長

名古屋市助役

三澤寛一

審査總長

子爵工學博士

大河内正敏

專務理事

名古屋勸業協會囑託

小宮山昌雄

理事

總務部長
 總務部副部長

名古屋勸業協會副會長
 名古屋市助役
 名古屋市庶務部長

鈴木政吉
 青木嗣夫
 肥田竹次郎

出品部長
 同 副部長

同 文書課長
 名古屋勸業協會主事
 名古屋商工會議所貿易部長
 名古屋市產業部長心得
 名古屋勸業協會主事
 愛知縣商工課長
 同 商品陳列所長

愛知縣工業試驗所長

經理部長
 同 副部長

名古屋市教育部長
 名古屋勸業協會主事
 名古屋市收入役
 名古屋商工會議所理財部長
 名古屋勸業協會副會長
 名古屋市助役
 名古屋勸業協會主事
 名古屋市土木部長事務取扱

中原順平
 大島喜十郎
 加藤勝太郎
 近藤博通
 井上茂兵衛
 椎名悅三郎
 原文次郎
 宮部鈴三郎
 朝比奈晃十郎
 江口彌一郎
 石塚岩三郎
 後藤泰助
 黒金泰信
 加藤梅太郎
 木下薰
 竹内兼吉
 青木嗣夫
 青木録次郎
 三澤寛一

第二章 開設

第一節 役員

員

三五

工務部長
 同 副部長

名古屋市土木部長事務取扱

三澤寛一

員

| | | |
|----|---------------|-------|
| 同 | 道路課長 | 久保田實 |
| 同 | 建築課長 | 星野則保 |
| 同 | 名古屋市電氣局工務課長 | 工東三郎 |
| 同 | 水道部給水課長 | 近藤博 |
| 同 | 水道部下水課長 | 石下朝重 |
| 愛知 | 縣技師 | 中澤誠一郎 |
| 同 | 名古屋市勸業協會主事 | 井上茂兵衛 |
| 同 | 名古屋市保健部長 | 金原庄治郎 |
| 同 | 防疫課長 | 村山重敬 |
| 同 | 清掃課長 | 藤野七五三 |
| 同 | 愛知縣門前警察署長 | 松井幸隆 |
| 同 | 名古屋市勸業協會主事 | 鬼頭幸七 |
| 同 | 名古屋市電氣局長 | 工富准 |
| 同 | 名古屋市社會部長心得 | 久住榮一 |
| 同 | 名古屋市參事會員 | 田中喜助 |
| 同 | 同 | 松尾守隆 |
| 同 | 同 | 後藤太助 |
| 同 | 名古屋市商工會議所工業部長 | 青木謙太郎 |
| 同 | 名古屋市商工會議所理事 | 三浦太一郎 |

接待部長
同 副部長

員

| | | |
|---|---------------|-------|
| 同 | 名古屋市電氣局業務課長 | 上島信敏 |
| 同 | 東區長 | 鷺見公明 |
| 同 | 西區長 | 依田昌一 |
| 同 | 中區長 | 長島喜久雄 |
| 同 | 南區長 | 渡邊幹逸 |
| 同 | 名古屋市勸業協會主事 | 淺野甚七 |
| 同 | 名古屋市水道部長 | 池田篤三郎 |
| 同 | 名古屋市參事會員 | 伊藤光彦 |
| 同 | 同 | 荒川伸也 |
| 同 | 同 | 塚本三 |
| 同 | 名古屋市商工會議所交通部長 | 富田重助 |
| 同 | 名古屋市勸業協會主事 | 中井己治郎 |
| 同 | 名古屋市電氣局庶務課長 | 田中謙太郎 |
| 同 | 名古屋市土木部庶務課長 | 須藤林七郎 |
| 同 | 名古屋市會書記長 | 田中銳男 |
| 同 | 名古屋市電氣局會計課長 | 愛澤求馬 |
| 同 | 運河事務所長 | 三上昭 |
| 同 | 水道部庶務課長 | 堀新吾 |
| 同 | 市場課長 | 千葉藤一郎 |

第二章 開設 第一節 役員

餘興部長
同 副部長

名古屋勸業協會主事
名古屋市保健部長

三八

中井己治郎
金原庄治郎
澤田東作
井手蕉雨
花井孝一
水野字右衛門
石川榮耀

審査部長
同 副部長

愛知縣技師
愛知縣商品陳列所長
名古屋勸業協會主事
名古屋市教育部長
同 產業部長心得
同 工師會幹事

近藤博通
黑崎平四郎
宮崎平四郎
原文次郎
石川榮耀

審査長

名古屋衛生試驗所長
愛知縣工業試驗場長
名古屋市學事課長
名古屋市社會教育課長
名古屋市教務課長
名古屋高等工業學校長

江口彌一郎
吉木彌三郎
朝日奈晃十郎
民屋慶次郎
廣田七郎
神長
森彦三

第一部 農蠶林蠶業品 審査員

部長

第八高等學校教授
名古屋地方專賣局技師
鑑定課長
名古屋高等商業學校教授
愛知縣蠶糸課長
愛知縣農事試驗場技師
愛知縣農林技師
愛知縣林務課長
地方農林技師
同
同
愛知縣史蹟名勝天然紀念物
調查會委員
地方農林技師
名古屋動物園長
名古屋高等工業學校教授
愛知縣工業試驗場技師
地方商工技師
名古屋市立工藝學校校長
名古屋市立工藝學校教諭

河村信一
林靖三
小原龜太郎
秦野一太郎
上野操
高瀬伍助
内藤乾藏
岡本堯夫
山田島次郎
梅村甚太郎
片山省三郎
北王英一郎
伊藤萬太郎
朝日奈晃十郎
深見久七郎
香取五郎

第二章 開設 第一節 役員

員

三九

第二章 開設 第一節 役

員

四〇

第二部 染職工業品 部長

| | |
|--------------|--------|
| 地方農林技師 | 金井真澄 |
| 地方商工技師 | 野口清 |
| 岐阜高等農林學校講師 | 龜岡有 |
| 名古屋市立衛生試驗所技師 | 吉木彌三 |
| 名古屋市技師 | 柴田才一郎 |
| 日本織物協會理事 | 江口彌一郎 |
| 工政會東海支部幹事 | 齊藤吉廣 |
| 愛知縣工業學校校長 | 大島德左衛門 |
| 名古屋高等工業學校教授 | 木村德壽 |
| 愛知縣起工業學校校長 | 築源次郎 |
| 名古屋高等工業學校教授 | 吉光正義 |
| 愛知縣工業學校教諭 | 稻澤作之助 |
| 地方商工技師 | 平井房助 |
| 名古屋高等工業學校教授 | 高田覺 |
| 地方商工技師 | 小栗暹治 |
| 三河染織試驗場技師 | 加藤正雄 |
| 地方商工技師 | 富田千秋 |
| 愛知縣工業學校教諭 | |

第三部 機械工業品

部長

| | |
|-------------|-------|
| 地方商工技師 | 伊勢弘之 |
| 愛知縣工業試驗場技師 | 朝比奈晃十 |
| 地方商工技師 | 小原龜太郎 |
| 名古屋高等商業學校教授 | 水野誠 |
| 愛知縣工業學校教諭 | 村山秀雄 |
| 地方商工技師 | 藤井靜英 |
| 愛知醫科大學校長 | 石川重遠 |
| 元名古屋工廠技師 | 住山六郎 |
| 名古屋鐵道局工作課長 | 小丹井敬吉 |
| 名古屋鐵道局技師 | 伊藤萬太郎 |
| 名古屋高等工業學校教授 | 竹村誠也 |
| 地方技師 | 米田正太郎 |
| 名古屋通信局電氣課長 | 清水勤二 |
| 名古屋高等工業學校教授 | 貫名 |
| 愛知縣工業學校教諭 | 石引一朗 |
| 同 | 石引一朗 |
| 名古屋電氣局長 | 工富 |
| 名古屋電氣局工務課長 | 工東三郎 |
| 名古屋電氣局技師 | |

第二章 開設 第一節 役

員

四一

第二章 開設 第一節 役員

員

| | |
|-------------|-------|
| 日本織物協會理事長 | 柴田才一 |
| 名古屋高等工業學校教授 | 北澤忠男 |
| 愛知醫科大學藥局長 | 柳澤秀吉 |
| 愛知醫科大學教授 | 河本禎助 |
| 工政會東海支部幹事 | 江口彌一 |
| 名古屋高等工業學校教授 | 築源次郎 |
| 地方商工技師 | 野口清郎 |
| 名古屋工業技師 | 竹本秀夫 |
| 愛知縣工業試驗場技師 | 朝比奈晃十 |
| 名古屋高等商業學校教授 | 北澤忠男 |
| 愛知醫科大學藥局長 | 柳澤秀吉 |
| 愛知縣窯業學校長 | 黑田正策 |
| 名古屋高等工業學校教授 | 青木繼治 |
| 地方商工技師 | 春日忠次 |
| 愛知縣常滑陶器學校長 | 永塚樂治 |
| 地方商工技師 | 古川友次郎 |
| 同 | 近藤憲一 |

四二

第四部 化學工業品 部長

第五部 製作工業品 部長

第二章 開設 第一節 役員

員

| | |
|---------------|-------|
| 元有田工業學校校長 | 小泉角五郎 |
| 岐阜縣陶磁器試驗場技師 | 井深捨吉 |
| 愛知縣商品陳列所技師 | 原文次郎 |
| 地方商工技師 | 森原良男 |
| 名古屋高等商業學校教授 | 近藤彌三郎 |
| 名古屋衛生試驗所技師 | 吉木彌三郎 |
| 名古屋工業技師 | 三木彌三郎 |
| 名古屋高等工業學校教授 | 土屋純一郎 |
| 愛知醫科大學教授 | 河本禎助 |
| 名古屋市立工藝學校長 | 深見久八郎 |
| 名古屋市立工藝學校教授 | 藤江乙次郎 |
| 同 | 香取五郎 |
| 地方商工技師 | 森野誠雅郎 |
| 愛知縣工業學校教諭 | 水野誠雅郎 |
| 地方商工技師 | 村山秀雄 |
| 地方商工技師 | 增井信一郎 |
| 體育指導主事 學校衛生技師 | 加藤英吉 |
| 愛知醫科大學校長 | 藤井靜英 |
| 名古屋高等工業學校教授 | 伊藤萬太郎 |

四三

第二章 開設

第一節 役員

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北 | 岩 | 上 | 澤 | 前 | 大 | 塚 | 安 | 鬼 | 原 | 恒 | 長 | 兼 | 伊 | 加 | 小 | 山 | 矢 | 竹 |
| 王 | 井 | 村 | 田 | 田 | 倉 | 本 | 井 | 島 | 田 | 川 | 屋 | 井 | 藤 | 藤 | 澤 | 田 | 野 | 村 |
| 英 | 篤 | 和 | 惣 | 小 | 蔓 | 房 | 一 | 比 | 鎗 | 兼 | 多 | 元 | 久 | 三 | 象 | 宜 | 弘 | |
| 一 | 郎 | 作 | 一 | 郎 | 衛 | 郎 | 馨 | 古 | 三 | 藏 | 門 | 郎 | 彦 | 巖 | 郎 | 雄 | 吉 | 良 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 永 | 松 | 塚 | 水 | 江 | 加 | 屋 | 青 | 山 | 原 | 内 | 佐 | 岡 | 喜 | 伊 | 柴 | 栗 | 中 | 横 |
| 田 | 野 | 本 | 野 | 森 | 藤 | 代 | 山 | 村 | 田 | 田 | 伯 | 松 | 多 | 藤 | 田 | 田 | 元 | 井 |
| 民 | 秀 | 秀 | 三 | 綱 | 好 | | | | | 鹿 | 一 | 修 | 親 | 勘 | 善 | 盛 | 市 | 時 |
| 弘 | 藏 | 郎 | 郎 | 雄 | 國 | 勝 | 稔 | 清 | 修 | 郎 | 郎 | 彌 | 之 | 藏 | 信 | 吉 | 郎 | 綱 |

第二章 開設

第一節 役員

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 佐 | 城 | 山 | 片 | 三 | 竹 | 大 | 北 | 酒 | 丹 | 酒 | 長 | 鈴 | 富 | 百 | 林 | 所 | 中 | 桑 |
| 々 | 際 | 山 | 山 | 堀 | 本 | 川 | 川 | 井 | 羽 | 向 | 谷 | 木 | 永 | 瀨 | | 島 | 原 | |
| 木 | 喜 | 六 | 六 | 三 | 秀 | 錠 | 次 | 喜 | 德 | 太 | 川 | 佐 | 貞 | 亮 | 尚 | 助 | 藤 | |
| 半 | 久 | 之 | 之 | 郎 | 夫 | 次 | 郎 | 三 | 右 | 與 | 太 | 一 | 英 | 治 | 治 | 六 | 太 | |
| 七 | 雄 | 雄 | 助 | 郎 | 夫 | 郎 | 郎 | 治 | 衛 | 作 | 平 | 英 | 治 | 治 | 六 | 郎 | 郎 | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 小 | 坂 | 平 | 山 | 長 | 大 | 西 | 加 | 細 | 小 | 平 | 大 | 中 | 森 | 大 | 大 | 鷺 | 芳 | 後 |
| 山 | 野 | 山 | 方 | 崎 | 矢 | 澤 | 藤 | 野 | 栗 | 手 | 川 | 島 | 本 | 澤 | 角 | 尾 | 賀 | 藤 |
| 武 | 楠 | 京 | 喜 | 謙 | 鎗 | 堯 | 榮 | 隆 | 彌 | 福 | 成 | 靜 | 逸 | 久 | 繁 | 成 | 成 | 庄 |
| 義 | 助 | 郎 | 郎 | 治 | 郎 | 壽 | 藏 | 一 | 郎 | 郎 | 雄 | 昇 | 竦 | 策 | 俊 | 藏 | 己 | 助 |

第二章 開設

第一節 役員

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 木 | 津 | 織 | 田 | 塚 | 杉 | 山 | 平 | 杉 | 馬 | 山 | 二 | 淺 | 箕 | 齋 | 坂 | 小 | 津 | 鈴 |
| 子 | 田 | 戶 | 中 | 田 | 山 | 田 | 尾 | 原 | 淵 | 口 | 之 | 井 | 浦 | 藤 | 林 | 田 | 木 | |
| 政 | 外 | 政 | 一 | 信 | 年 | 賢 | 正 | 忠 | 利 | 孫 | 宮 | 善 | 功 | 正 | 密 | 松 | 新 | |
| 助 | 記 | 雄 | 己 | 一 | 彦 | 三 | 藏 | 雄 | 貞 | 郎 | 雄 | 吉 | 茂 | 次 | 義 | 治 | 郎 | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 山 | 副 | 能 | 淺 | 六 | 酒 | 森 | 加 | 牧 | 吉 | 椎 | 神 | 小 | 木 | 竹 | 萩 | 橋 | 川 | 熊 |
| 川 | 田 | 勢 | 野 | 人 | 向 | 田 | 藤 | 野 | 川 | 名 | 谷 | 島 | 村 | 內 | 幸 | 本 | 口 | 澤 |
| 初 | 厚 | 信 | 長 | 俊 | 賢 | 嘉 | 治 | 太 | 久 | 壯 | 安 | 榮 | 靜 | 真 | 政 | 比 | 五 | |
| 助 | 一 | 之 | 恭 | 次 | 一 | 十 | 郎 | 郎 | 吉 | 藏 | 三 | 逸 | 夫 | 治 | 一 | 衛 | 古 | 六 |

第二章 開設

第一節 役員

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大 | 吉 | 柴 | 箕 | 福 | 猪 | 森 | 土 | 北 | 藤 | 松 | 加 | 松 | 古 | 中 | 高 | 杉 | 鷓 | 村 |
| 塚 | 田 | 田 | 形 | 田 | 飼 | 田 | 田 | 尾 | 井 | 山 | 藤 | 山 | 屋 | 村 | 橋 | 戸 | 飼 | 岡 |
| 正 | 太 | 三 | 太 | 善 | 太 | 勝 | 三 | 太 | 信 | 寅 | 三 | 基 | 昇 | 三 | 助 | 金 | 鈴 | |
| 利 | 郎 | 郎 | 郎 | 一 | 郎 | 喜 | 郎 | 郎 | 武 | 雄 | 郎 | 軌 | 平 | 郎 | 一 | 清 | 一 | 彦 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 菅 | 高 | 坂 | 小 | 久 | 倉 | 秋 | 伊 | 岡 | 伊 | 竹 | 永 | 飯 | 小 | 宮 | 石 | 伊 | 林 | 加 |
| 井 | 井 | 口 | 南 | 野 | 地 | 田 | 藤 | 田 | 藤 | 之 | 山 | 野 | 長 | 崎 | 原 | 藤 | 金 | 和 |
| 武 | 宮 | 太 | 庄 | 敬 | 鹽 | 八 | 仲 | 俊 | 次 | 內 | 宗 | 野 | 谷 | 辰 | 憲 | 五 | 五 | 夫 |
| 亮 | 內 | 郎 | 吉 | 豐 | 章 | 一 | 八 | 次 | 一 | 郎 | 郎 | 亮 | 助 | 郎 | 郎 | 郎 | 郎 | 夫 |

川口春太郎
後藤清好
安藤銀次郎
黒宮庸
北村京一
武川文三
森川薫
吉田幾次郎
加藤正義
越野鍊一
服部貞三
名倉喜代三
橋本信
宮崎定重
染谷目三
官田錠太郎
横地信三
長谷部英治
正村清藤

山田良次郎
吉田足穂
吉田辰雄
森川音三郎
久保田稔
鬼頭勝太郎
伊藤太太郎
柘植鉦太郎
岩田直一郎
森田五六
近藤幸三
永井誠吾
堀内博平
笹岡徳次
松岡徳次
中井雄一
小池竹市
鶴飼半二
加藤半助

事務員

島藤榮二
加藤圓五郎
岡田泰次郎
杉谷次郎
野村信次
村田重省
尾關嘉雄
犬飼三太郎
大野正夫
濱島安次郎
三村政彦

酒井美夫
太田平吉
川本勝弘
三森幸多郎
加藤宗十郎
犬飼倫比古

大島武雄
青木一夫
加藤久治
鈴藤康
竹越喜次郎
加藤末松
松浦源次郎
山田逸次郎
古海敏一
可兒一
久野一
早川悦
早藤三郎
加藤義夫
山内喜一
坂野文逸
神納照美
松井仁一
下山正治

| |
|-------|
| 木村治郎七 |
| 林勇 |
| 藤田榮一 |
| 三浦鈴一 |
| 鬼頭榮二 |
| 倉田藤一郎 |

| |
|-------|
| 鈴木亮一 |
| 高木國雄 |
| 山本孝禧 |
| 丹羽末三 |
| 久保田坂松 |
| 加藤一男 |

第二節 諸規程

御大典奉祝名古屋博覽會規則

第一章 總則

- 第一條 本博覽會ハ謹テ 今上陛下御即位ノ大典ヲ奉祝シ併テ産業ノ振興文化ノ發達ニ資スルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ御大典奉祝名古屋博覽會ト稱シ名古屋勸業協會之ヲ主催ス
- 第三條 本會ハ昭和三年九月十五日ヨリ同年十一月二十三日迄七十日間名古屋市鶴舞公園ニ於テ開催ス
- 第四條 本會ノ事務局ハ名古屋市役所内ニ置ク
- 第五條 本會ノ出品地域ハ帝國領土、委任統治地域及租借地トス但シ參考品ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第二章 役員職員及職務權限
- 第六條 本會ハ總裁ニ皇族ヲ奉戴ス

本會ハ副總裁二名ヲ推戴ス

本會ニ顧問、評議員、參事及委員各若干名ヲ置キ會長之ヲ推薦ス

第七條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク

| | | | |
|------|-----|------|-----|
| 會長 | 一名 | 副會長 | 若干名 |
| 事務總長 | 一名 | 專務理事 | 一名 |
| 理事 | 若干名 | 幹事 | 若干名 |
| 事務局員 | 若干名 | | |

第八條 會長ハ名古屋勸業協會會長(名古屋市長)之ニ當リ副會長ハ勸業協會主事會ニ於テ之ヲ選舉シ事務總長、專務理事、理事及幹事ハ會長之ヲ囑托シ事務局員ハ會長之ヲ任免ス

第九條 會長ハ會務ヲ統轄シ本會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第十條 顧問ハ重要ナル會務ニ付會長ノ諮問ニ應ズ

評議員、參事及委員ハ重要ナル會務ニ參與ス

第十一條 事務總長ハ會長ノ命ヲ承ケ事務ヲ總理シ專務理事ハ事務總長ノ下ニ各部ノ連絡ニ任ジ事務總長差支アル時ハ之ヲ代理ス

理事ハ本會ニ關スル事務ヲ分掌シ重要ナル事項ヲ議決ス

幹事及事務局員ハ上司ノ指揮ニ從ヒ事務ニ從事ス

第三章 出品

第十二條 本會ノ出品ハ即賣品、賣約品、非賣品及參考品ノ四種トシ左ノ九部ニ分ツ但シ細目ハ別ニ定ム

- 第一部 農 蠶 林 礦 業 品
- 第二部 染 織 工 業 品
- 第三部 機 械 工 業 品
- 第四部 化 學 工 業 品
- 第五部 製 作 工 業 品
- 第六部 水 産、食 料 品
- 第七部 意 匠、圖 案、特 許 品
- 第八部 美 術 工 藝 品
- 第九部 各 種 參 考 品

第十三條 本會ノ出品ハ別ニ定ムル出品規程ニ據ル

左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ出品スルコトヲ得ズ

- 一、衛生、風俗又ハ公安ヲ害シ若シクハ公衆ニ嫌忌ノ感ヲ與フル虞アルモノ
- 二、他ニ損害ヲ及シ又ハ發火其他ノ虞アリト認ムルモノ
- 三、其他陳列ニ適セズト認ムルモノ

第十四條 出品物ニシテ其ノ出品後前條ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ取換、若シクハ陳列場所ノ變更ヲナサシメ又ハ出品申込ノ承認ヲ取消スコトアル可シ

第十五條 出品者ハ本會ニ於テ配當シタル陳列場所ニ對シ異議ヲ述ブルコトヲ得ズ

第十六條 出品物ノ荷造、運搬及陳列、裝飾並ニ動力ニ要スル費用ハ出品者ノ負擔トス但シ本會ニ於テ特別ノ事由アリト認メタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第十七條 本會ノ承認ヲ受ケタル場合ノ外館内ニ於テ出品ニ關スル製作作業ヲ爲シ又ハ貼紙、撒紙、票札、音樂等ノ方法ヲ以テ廣告宣傳ヲナスコトヲ得ズ

第十八條 本會ハ一般出品物ニ對シ相當ノ保護ヲナスト雖天災、地變、火災、盜難其他之ニ類スル事由ニヨリテ生ジタル損害

ニ對シテハ其ノ責ニ任セズ

第四章 審 查

第十九條 本會ノ出品物ヲ審査スル爲左ノ職員ヲ置ク

- 審 查 總 長 一 名
- 審 查 長 一 名
- 審 查 部 長 若 干 名
- 審 查 員 若 干 名

第二十條 前條ノ職員ハ商工省、農林省又ハ其他ノ官公署學校等ヨリ派遣ヲ乞ヒ會長之ヲ囑託ス

第二十一條 審査總長ハ出品ノ審査ヲ總理シ審査長ハ審査總長ヲ補佐シ審査總長事故アルトキハ之ヲ代理シ審査部長ハ審査總長ノ指揮ヲ承ケ其ノ部ノ審査ヲ分掌シ審査員ハ出品物ノ審査ニ從事ス

第二十二條 出品物ハ參考品ヲ除キ審査ノ請求アリタルモノニ限り之ヲ審査ス

第二十三條 出品者ハ審査ノ決定ニ對シ異議ノ申立ヲナシ又ハ受賞ヲ拒ムコトヲ得ズ

第二十四條 審査ノ爲必要アルトキハ更ニ出品物ト同一ノ物品ヲ提供セシムルコトアル可シ

第二十五條 審査ノ爲必要アルトキハ出品物ノ一部又ハ全部ヲ消費又ハ毀損スルコトアルモ出品者ハ其ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ズ

第二十六條 審査ノ結果優良ト認メタルモノニ對シテハ褒賞ヲ授與ス但シ同一出品者ニシテ數個ノ褒賞ヲ受ク可キトキハ賞牌ハ最高ノモノ一個ヲ授與ス

第二十七條 褒賞ハ左ノ六種トス

- 名 譽 大 賞 牌
- 名 譽 賞 牌

| | | |
|---|---|---|
| 金 | 賞 | 牌 |
| 銀 | 賞 | 牌 |
| 銅 | 賞 | 牌 |
| 褒 | 狀 | |

第五章 觀 覽

第二十八條 觀覽時間ハ毎日午前八時三十分ヨリ午後六時迄トシ夜間開場ノ場合ハ午後六時ヨリ同時迄トス但シ時宜ニヨリ之ヲ伸縮シ又ハ觀覽ヲ停止スルコトアル可シ

第二十九條 觀覽料ハ各會場動物園ヲ通ジ大人五十錢小人二十五錢トス

夜間開場觀覽料ハ大人二十錢小人十錢トス

五十人以上ノ團體及教員引率ノ學生、生徒ニ對シテハ觀覽料ヲ割引ス其ノ割引率ハ別ニ之ヲ定ム

第三十條 觀覽人ニシテ風紀又ハ秩序ヲ紊シ又ハ疾病其他他人ニ迷惑ヲ及ボシ若クハ出品物ニ危害ヲ加フルガ如キ虞アル場合ハ入場ヲ拒絕シ又ハ退場ヲ求ムルコトアル可シ

觀覽人ハ畜類ヲ牽キ自轉車又ハ大荷物ヲ携帶スルコトヲ得ズ

觀覽人ハ係員ノ承認ヲ得ルニ非レバ出品物ニ手ヲ觸ル、コトヲ得ズ

動物園ノ觀覽人ニ對シテハ名古屋市所定觀覽人心得ヲ適用ス

第六章 購 買

第三十一條 出品物ヲ購買セントスル者ハ看守人ニ申出可シ

第三十二條 出品物ヲ購買シタル者ハ即賣品及代金拾圓未滿ノ賣約品ニアリテハ其ノ代金ノ全額、拾圓以上ノ賣約品ニアリテハ代金ノ半額以上ノ手附金ヲ支拂ヒ其ノ領收證ヲ受ク可シ

現品ノ交付ハ即賣品ニアリテハ即時之ヲ行ヒ賣約品ニアリテハ會期終了後五日以内ニ領收證ト引換ニ之ヲ行フモノトス但シ手附金ノ場合ニアリテハ同時ニ其ノ殘金ヲ支拂フ可シ

前項ノ期間内ニ賣約品ノ引取ヲナサザルモノハ解約ト看做シ手附金ハ出品人ノ所得トス

即賣品ト雖審查其他特別ノ事由アルモノハ即時現品ノ交付ヲナサザルコトアル可シ

第三十三條 出品物ノ賣上代金ハ閉會後八十日以内ニ精算シ之ヲ出品者ニ交付スルモノトス

第七章 雜 則

第三十四條 出品物ハ本會ノ承認ヲ受クルニ非レバ撮影若クハ摸寫スルコトヲ得ズ

本會ニ於テ出品物ヲ撮影摸寫又ハ印行シ若シクハ前項ノ承認ヲ一定ノ人ニ與フルモ出品者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第三十五條 出品者、場内營業人及館外敷地使用者並ニ其ノ使用人其他本會ニ於テ必要ト認メタル者ニ對シテハ特別入場券、徽章又ハ門鑑ヲ交付シ之ニヨリ入場セシム

第三十六條 本會ノ許可ヲ受クルニ非レバ陳列館及其他ノ建設物内ニ於テ火氣ヲ用フルコトヲ得ズ

第三十七條 會場内ヨリ物品ヲ搬出スル者ハ本會所定ノ搬出票ヲ携帶ス可シ

第三十八條 會場内ニ於テ賣店、飲食店、觀覽物、遊戯物其他ノ營業ヲナサントスルモノハ別ニ定ムル規程ニヨリ本會ノ許可ヲ受ク可シ

第三十九條 本會ノ收支計算ハ之ヲ特別會計トス

第四十條 本會ノ處務規程、其他必要ナル細則ハ別ニ之ヲ定ム

以 上

出 品 規 程

第一條 出品ノ申込ハ縣市町村又ハ之ヲ地域トスル團體ニ於テ之ヲ取り纏ムルモノトス但シ特設館又ハ特別陳列及ビ本會ニ於テ必要ト認メタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 出品物ノ陳列ハ府縣別トシ特殊ノモノニ限り部類別ト爲スコトアルベシ

第三條 出品陳列場所及小間數ノ割宛ハ本會ニ於テ決定ス

第四條 出品ノ陳列場所使用料ハ左ノ通り定ム

| | | |
|-----------|----------------|----------------|
| 一、本館場所使用料 | | |
| 陳列棚使用料 | | |
| 一 小 間 | (間口六尺 奥行三尺) | 五 拾 圓 |
| 半 小 間 | (間口三尺 奥行三尺) | 貳 拾 五 圓 |
| 陳列臺使用料 | | |
| 一 小 間 | (間口六尺 奥行三尺) | 參 拾 五 圓 |
| 半 小 間 | (間口三尺 奥行三尺) | 拾 八 圓 |
| 土間使用料 | | |
| 一 坪 | | 一 特 等 九 拾 圓 以上 |

一、館外陳列土地使用料

| | |
|-----|---------------------------------|
| 半 坪 | 一 特 等 四 拾 五 圓 以上 |
| 一 坪 | 一 特 等 八 拾 圓 以上 二 特 等 六 拾 五 圓 |

九月十三日迄ニ出品ノ陳列及裝飾ヲ完了セルモノニ對シテハ特ニ前項料金ノ二割ヲ割引ス

特定ノ場所又ハ特殊ノ工作物使用料ニ付テハ其都度之ヲ定ム

第五條 前條ノ使用料ハ凡テ前納トシ其ノ出品ヲ取消シ又ハ減少シタル場合ト雖モ既納ノ料金ハ之ヲ返還セス

第六條 出品者ハ陳列場所ヲ他人ニ讓渡又ハ貸與スルコトヲ得ス

第七條 出品者ハ本會ニ其陣列裝飾ヲ委託スルコトヲ得(第四號様式)
前項ノ費用ハ出品者ノ負擔トス

第八條 館内ニ於ケル陳列棚裝飾ハ垂直四尺、平面ニ一尺内外トシ旗、幟、額等ハ通路又ハ他ノ妨害トナラサル様設備スヘシ

第九條 特設館ノ建設又ハ特別ノ陳列裝飾ヲナサントスル者ハ豫メ設計書ヲ提出シ本會ノ承認ヲ受クヘシ

第十條 出品者ハ本會ノ承認ヲ得ルニアラサレハ陳列戸棚又ハ陳列臺等ノ改造變更ヲナスコトヲ得ス

第十一條 出品者陳列場所使用中本會ノ營造物其他ノ設備ヲ破損シタルトキハ本會ノ指揮ヲ受ケ直ニ修理ノ上原形ニ復スヘシ

第十二條 出品者ハ會期中猥リニ陳列場所ヲ閉鎖シ又ハ出品物ヲ撤去スルコトヲ得ス

第十三條 本會ニ於テ必要ト認メタル出品ニ對シテハ第四條ノ料金ヲ免除スルコトアルヘシ

第十四條 會則第十二條ノ出品類別ヲ定ムルコト別表ノ如シ

第十五條 本會ニ出品セントスルモノハ出品申込書(第一號様式)ニ陳列場所使用料金を添ヘ昭和三年三月末日迄ニ本會事務局

へ申込みヘシ

前項ノ申込ニ對シ適當ト認メタルトキハ本會ハ直ニ其登錄ヲ爲シ通知書ヲ發スヘシ

第十六條 出品者前條ノ手續ヲ了シタルトキハ出品目録(第二號様式)審査請求品ニアリテハ出品目録ニ解説書(第三號様式)ヲ添ヘ昭和三年五月末日迄ニ本會ニ差出スヘシ

第十七條 出品物ハ昭和三年八月末日迄ニ會場ニ搬入シ同年九月十三日迄ニ陳列ヲ終了スルモノトス

第十八條 出品物ハ總テ本會ヨリ交付シタル附札ヲ附シ其部類、品名、數量、代價(買約品非賣品審)及出品人ノ住所、氏名ヲ記入スヘシ

第十九條 出品物ノ補充交換又ハ價格ノ變更ハ出品目録用紙ニヨリ其都度本會ノ承認ヲ受クヘシ

前項ノ手續ニ依ラサルモノハ其出品物ニ付本會ハ其責ニ任セス

第二十條 出品物ハ非賣品參考品ヲ除ク外之ヲ賣約又ハ即賣スルモノトス

即賣品ハ會期中常ニ補充陳列スヘシ

第二十一條 出品者ハ賣約並ニ即賣シタル出品物ニ付其ノ價額ノ百分ノ五ニ相當スル手数料ヲ本會ニ納付スルモノトス

第二十二條 出品物及自營ノ工作物ハ閉會後五日以内ニ撤去スヘシ

前項ノ期間内ニ撤去ヲ爲サ、ルトキハ本會ニ於テ代執行シ其費用ハ出品者ノ負擔トス

第二十三條 出品物ノ撤去搬出又ハ返送ヲ請ハントスルモノハ閉會前五日以内ニ其ノ旨本會ニ申出スヘシ

但シ其費用ハ出品者ノ負擔トス

第二十四條 特ニ優秀ナル陳列裝飾ヲ爲シタル者ニ對シテハ功勞賞ヲ贈呈ス

第二十五條 出品者ニ對シテハ總テ記念狀ヲ贈呈ス

第二十六條 出品者ニシテ本規則其他ノ規定ニ基ク義務ヲ怠リタルトキハ本會ニ於テ適當ノ處置ヲナシ其費用ハ出品者ノ負擔トス

トス

第一號様式 (用紙美濃列)

| | | | | | | | | |
|------|---|----|----|-----|----|------|----|----|
| 物品出 | | 住所 | | 種別 | 等級 | 所要面積 | 料金 | 摘要 |
| | | 職業 | 姓名 | | | | | |
| 陳列戸棚 | 等 | 間 | 間 | 陳列臺 | 等 | 坪 | 坪 | 坪 |
| 土間 | | | | | | | | |
| 館外土地 | | | | | | | | |

右費會諸規則ヲ遵守シ出品致度使用料相添此段申込候也
昭和三年 月 日
御大典奉祝名古屋博覽會御中

第二號様式 (用紙美濃列)

| | | | | | |
|-----------------|----|----|----|----|----|
| 御大典奉祝名古屋博覽會出品目録 | | 第部 | 第部 | 姓名 | 職業 |
| 番號 | 品名 | 數量 | 賣價 | 買價 | 摘要 |
| 一 | | | | | |
| 二 | | | | | |
| 三 | | | | | |
| 四 | | | | | |
| 五 | | | | | |
| 六 | | | | | |
| 七 | | | | | |
| 八 | | | | | |
| 九 | | | | | |

右出品候也
昭和三年 月 日
御大典奉祝名古屋博覽會御中

注意
一、本日録ハ二通調製シ差出サレタ
二、本日録用紙ハ本會調製ノモノ若ハ同一寸法様式ノモノニ限ル
三、即賣又ハ審査希望ノモノハ其旨摘要欄ニ記入セラレタシ

第二章 開設 第二節 諸規程
第三號樣式 (用紙美濃判)

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|--|-----|-----|-----|-----|-----------|----------------------------------|-------|---------------------------|-----------|-----|-----------|-------------------|
| 解 說 書 | | 住 所 | 職 業 | 氏 名 | 品 名 | 創 業 年 月 日 | 生 産 製 造 製 作 者 若 クハ 採 取 加 工 ノ 方 法 | 資 本 金 | 從 業 人 員 及 馬 力 ノ 種 類 及 馬 力 | 前 年 ノ 産 額 | 販 路 | 從 前 ノ 受 賞 | 審 査 上 必 要 ナ ル 事 項 |
| 右ノ通ニ候也 昭和三年 月 日 御大典奉祝名古屋博覽會御中 | | | | | | | | | | | | | |

第四章 開設 第二節 諸規程
第四號樣式 (用紙美濃判)

| | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-----|-----|-----|-----|-----------|----------------------------------|-------|---------------------------|-----------|-----|-----------|-------------------|
| 出品取扱委託證 | | 住 所 | 職 業 | 氏 名 | 品 名 | 創 業 年 月 日 | 生 産 製 造 製 作 者 若 クハ 採 取 加 工 ノ 方 法 | 資 本 金 | 從 業 人 員 及 馬 力 ノ 種 類 及 馬 力 | 前 年 ノ 産 額 | 販 路 | 從 前 ノ 受 賞 | 審 査 上 必 要 ナ ル 事 項 |
| 貴會ニ出品致候下名ノ出品物ニ付御所定ノ諸規則ヲ承認シ出品物ノ(陳列)(賣約)即賣ヲ委託候也 追而金 圓也 費トシテ相添申候也 昭和三年 月 日 御大典奉祝名古屋博覽會御中 | | | | | | | | | | | | | |

出品部類目錄

第一部 農蠶林鑛業品

- 第一類 米 類
- 第二類 麥 類
- 第三類 豆 類
- 第四類 雜 穀 類
- 第五類 麻 類

- 第六類 蘭 類
- 第七類 綿 類
- 第八類 香 辛 類
- 第九類 葉 煙 草
- 第十類 蒟蒻、葉藍、絲瓜、筍蜀黍、杞柳、黃蜀黍等
- 第十一類 油蠟原料類
- 第十二類 藥用植物、除虫菊、薄荷、黃連、人參等
- 第十三類 牧 草 類
- 第十四類 觀賞植物
- 一、花卉及球根
- 二、盆栽及盆石類
- 第十五類 蔬菜及其加工品
- 第十六類 果實類及其加工品
- 一、果 實
- 二、干葡萄、干柿等ノ乾燥
- 果實(菓子又ハ罐詰類ヲ除ク)柿澁其他
- 第十七類 種苗類、農業種子及果樹苗、其他種苗類
- 第十八類 農家副業品

第二章 開設 第二節 諸規程

- 一、木竹細工、齒朶蔓細工
- 二、菓工品、竹皮細工、棕櫚細工、蘭細工等
- 三、麥稈經木及其製作品
- 第十九類 農用器具機械、園藝用具
- 第二十類 農作物害虫ノ驅除豫防劑及標本等
- 第二十一類 肥 料
- 第二十二類 生糸、玉糸、綃糸、柞蠶糸其他
- 第二十三類 繭
- 第二十四類 眞 綿
- 第二十五類 蠶 種
- 第二十六類 桑 苗
- 第二十七類 蠶糸業用器具機械
- 第二十八類 木 竹 材
- 丸太材、角材、挽材、割材、竹材
- 第二十九類 加工木竹材
- 下駄材、挽物材、桶樽材、船具材、指物建具材、着色材、鋪道材、防腐材、ベニヤ材、マツチ料其他
- 第三十類 林産製品
- 一、木炭、炭團、煉木炭

- 二、木醋、木精、木タール、酸石灰、懷爐灰、松烟等
 - 第三十一類 山林種苗
 - 一、種 子
 - 二、樹 苗
 - 第三十二類 林業副産物
 - 一、樹皮、根莖、莖、其他
 - 二、製紙原料
 - 三、菌 茸 類
 - 四、蕨、藜、五倍子、干栗
 - 第三十三類 庭 園 樹
 - 第三十四類 林業用器具機械
 - 第三十五類 金 屬
 - 第三十六類 礦物、礦石及土石類
 - 第三十七類 加工石材
 - 砥石、石版石、其他
 - 第三十八類 石炭、骸炭、煉炭
 - 第三十九類 石油、土瀝青、及其副産物
 - 第四十類 地質及鑛床ノ圖面及模型
 - 第四十一類 鑛業用器具機械
-
- 第四十二類 綿、麻、絹、毛等の紡績糸、人造經糸、各種纖維
 - 第四十三類 カタン糸、編糸、縫糸、刺繡糸レース糸等
 - 第四十四類 絹 織 物
 - 第四十五類 綿 織 物
 - 第四十六類 白木綿、天竺、生金巾、綾金巾、雲齊織、寒冷紗等
 - 第四十七類 綿フランネル、綿縮子及綿イタリフランス、綿天鵞絨等
 - 第四十八類 絹綿交織物
 - 第四十九類 毛織物及其交織物
 - 第五十類 人造絹織物及其交織物
 - 第五十一類 麻織物及其交織物
 - 第五十二類 染 料
 - 第五十三類 染色物及加工布
 - 第五十四類 莫大小、組編物、燃物、真田類（麥稈真田、を除く）レース及紐類
 - 第五十五類 雜織物及其製品

第二部 染織工業品

第三部 機械工業品

- 一、タテル、浴布
 - 二、紙布、芭蕉布、葛布等
 - 三、テーパークロース、ナフキン（布製）糊帶、ガーゼ、風呂敷、旗、幕等
 - 第五十六類 被服及裁縫品並ニ附屬品
 - 一、和 服
 - 二、纏袴、股引、脚絆、腹掛、腹巻、厚司等
 - 三、洋服、婦人服、子供服
 - 四、シャツ（莫大小ヲ除ク）、カラ、カフスズボン吊、バン
 - 五、膝掛、肩掛、襟巻、頭巾等
 - 六、帶類、帶揚、半襟等
 - 七、蚊張、夜具、蒲團、クッション、敷布、座蒲團（蘭草製其他全部ヲ含ム）
 - 八、縫箔品、其他雜裁縫品
 - 第五十七類 足袋、地下足袋、靴下、手袋
 - 第五十八類 刺 繡
 - 第五十九類 染織工業ニ關スル器具機械及附屬品
-
- 第六十類 原動機並ニ附屬品
 - 一、汽鐘、蒸汽機關、蒸汽タービン等並ニ其附屬品
 - 二、石油瓦斯發動機並ニ其附屬品
 - 三、保 溫 劑
 - 第六十一類 工作機械及工具
 - 旋盤、平削機、其他諸工作機、木工機械及用具等
 - 第六十二類 一般機械器具及附屬品
 - 一、精密機械及器具、測定機、試驗機械、醫療機等
 - 二、一般機械、唧筒、揚水機、水壓機、起重機、送風機、乾燥機、氣體壓縮機、傳導機、制動機等
 - 三、内 燃 機
 - 四、車 輛
 - 五、潛 水 機
 - 六、飛行機及航空機
 - 七、航 舶
 - 八、軌 道
 - 九、銃砲軍用器具

十、一般機械附屬品

齒車、滑車、軸、減摩裝置、調帶、パッキング等

第六十三類 製造機械

製粉、製麵、製油、釀造、染織、製紙、窯業其他各種製造

用諸機械

第六十四類 印刷諸機械

第六十五類 雜種機械器具

第六十六類 發電、變電、電動、送電、配電用機械器具及其材料

第六十七類 電燈及照明明具類

白熱燈、弧光燈、其他電燈照明明具及其材料

第六十八類 電信、電話、電氣信號用機械器具及其材料並ニ

ラヂオ用具類及材料

第六十九類 一、電熱用裝置及家庭用電氣器具、二、電氣鐵道

第七十類 電池及其材料

第七十一類 磁氣電氣化學用裝置及材料及絕緣物

第七十二類 雜種電氣機械器具、扇風器、電氣測定器等

第四部 化學工業品

第七十三類 工業藥品及化學藥品(醫藥品ヲ除ク) 酸、アル

カリ、及塩類、アルコール、エーテル等

第七十四類 寫真用藥品及材料及醫藥

第七十五類 瓦斯副生物、及タール、蒸溜製品

第七十六類 樟腦、薄荷腦、龍腦、松根油、樟腦油其他ノ精

油類及防腐劑驅蟲劑

第七十七類 油脂類

第七十八類 石鹼、臘燭等

第七十九類 薰香、線香、香料香水及化粧品

第八十類 顏料、塗料、染料、水金

第八十一類 印肉、印刷インキ、靴墨等

第八十二類 護謄及護謄類似品

第八十三類 皮革、擬革、染革等

第八十四類 膠類

第八十五類 セルロイド、其他類似品

第八十六類 バルブ及紙類

第八十七類 燐寸、其他

第八十八類 硝子及硝子製品

第八十九類 陶磁器、土器、耐酸及耐アルカリ器

第九十類 煉瓦、土管、人造石、瓦及其代用品

第九十一類 セメント、石灰、綠礬、丹礬等

第九十二類 珽瑯鐵器

第九十三類 其他化學工業品

第九十四類 化學工業ニ關スル器具機械

(備考 第八十二類第八十三類第八十五類ノ製品ハ第五部)

第五部 製作工業品

第九十五類 漆器

第九十六類 七寶

第九十七類 金屬工藝品

花瓶、置物、金屬製火鉢、鐵瓶、燈籠、茶ノ湯釜、飲食器

卷簾入等

第九十八類 木竹製品

一、唐木細工、欄間、器局等

二、染色竹器、花筒等

第九十九類 樂器

琴、三味線、其他諸樂器

第一百類 屏風、衝立等

第一百類 武具及武裝用具

擊劍道具、刀劍、弓箭、仕込杖等

第一百二類 徽章、賞牌類

第一百三類 造花、押書、モール、フレンチ等

第一百四類 玩具類

人形、雜道具、壽草紙、羽子板、其他

第一百五類 珠玉其他

珠玉、石、木、竹、甲、介、角、牙等の美術加飾製品又は

簞製々品及各種釦等

第一百六類 祝典及葬祭具

神殿、佛壇、佛具、其他祝葬祭用具、神輿等

第一百七類 金屬製品及及物類

一、鍋、釜、金屬製風呂、ストーブ、鋸、金盞、鎖、バケ

ツ、金網及其製品、金庫、鐘等

二、ナイフ、庖丁、剃刀、鋏、鑷、鋸、シヨベル、鑿、錐等

第一百八類 紙製品

一、書筒用紙、紙袋、罌引紙、短冊、手帳帳簿、書畫帳、

寫真帳、ナフキン、水引壁紙、襖用紙其他紙器

二、扇子、團扇、提灯、雨傘、日傘等

第一百九類 文房具及繪畫用具

- 一、筆、ペン、ペン軸、鉛筆、石筆、石盤、硯、墨、筆筒、文鎮、印材、ゴム印、インキ壺、狀挾、其他
- 二、インキ(事務用インキ)、封蠟、糊等
- 三、繪具、畫用木炭、畫架、カンバス、繪畫用具、繪畫用紙其他

第一百十類 事務用具

- タイブライター、謄寫器、計算器、算盤、金錢登錄器、書類整理箱、各種荷造用紐等

第一百十一類 裝身具

- 一、指輪、腕輪、襟止、襟飾、帶留、羽織紐
- 二、櫛、笄、簪、鬘、鬘形、洋髮網、元結等

第一百十二類 携帶品及旅行用具

- 一、紙入、名刺入、信玄袋、煙草入(携帶用)卷煙草入、其他袋物
- 二、手鏡、香水吹、揚枝、石鹼箱等
- 三、洋傘、洋傘柄、杖
- 四、トランク、鞆、携帶化粧品容器、天幕、ハンモック等
- 五、其他携帶品及旅行用器

第一百十三類 遊戲具、運動具及娛樂用具

- 一、骨牌、其他
 - 二、碁盤、將棋盤、玉突臺及附屬品等
 - 三、庭球用具、野球用具、其他運動用具
 - 四、蓄音機
- 第一百十四類 家具及建具
- 一、食器棚、水屋、書籍棚、飾棚、飾臺、箆筒、長持、机卓子、椅子、妾見、鏡臺、寢臺、額像、木製衝立、煙草盆、木製火鉢、簾等
 - 二、挽物、曲物、桶、盥、樽、木製風呂等
 - 三、障子、襖、戸等
 - 四、點燈具(電燈用具ヲ除ク)、瓦斯點燈用具、其他點燈用具及附屬品、燭臺等
 - 五、其他日用家具、塵取、其他掃除用具、洗濯用器、靴拭等
- 第一百十五類 敷物類
- 一、緞通、緞絨
 - 二、花筵、蓆、疊表、野草筵等
- 第一百十六類 杞柳製品及其他の製品
- 一、バスケツト、各種行李
 - 三、藤細工(椅子、表、日用雜貨ヲ除ク)齒朶細工、蔓細工等

第一百七類 度量衡器

第一百八類 履物

- 一、下駄、雪駄、草履、下駄表、草履表、鼻緒、爪掛等
- 二、靴、スリッパ

第一百九類 時計及附屬品

第二十類 帽子

- 第一百二十一類 自動車、自轉車、オートバイ乳母車、人力車、荷車、其他車輛の附屬品

第二十二類 雜工品

- 刷子類、冷蔵庫、焔爐(石油、瓦斯其他)竈、網帳、網類等
- 第一百二十三類 製作工業に關する器具機械

第六部 水産、食料品

第二百二十四類 水産製品

- 一、乾製鹽藏其他の食用魚介類
- 二、藻類
- 三、魚鱈、魚膠等
- 四、工業用及藥用水産物
- 五、珊瑚、眞珠、介殼、蠟甲、海獸皮、魚皮、鯨鬚等

第二百五類 食鹽及副産物

第二百六類 水産生物標本模型等

- 第一百二十七類 漁撈用具、遊漁具
- 第一百二十八類 水産ニ關スル器具機械
- 第一百二十九類 茶、珈琲等
- 第一百三十類 穀粉、澱粉、蒟蒻粉其他粉類
- 第一百三十一類 菓子及菓子原料、麵麩、餡、ビスケツト、蜂蜜、糖菓類

第三十二類 砂糖

第三十三類 麵類、麩類、酵母

第三十四類 罐詰、漬物、饅頭

- 第三十五類 バター、チーズ、煉乳、粉乳、罐肉、燻肉、其他乳肉製品

第三十六類 酒類

- 第三十七類 醬油、味噌、酢、ソース、其他調味料、加工香辛料等
- 第三十八類 清涼飲料水、果汁、礦水
- 第三十九類 雜食品

- 一、燒麩、凍豆腐、凍蒟蒻、湯葉、納豆

- 二、竹輪、蒲鉾、節類、魚煎餅、田麩、佃煮、海苔、其他
- 加工食用藻類等
- 第四百十類 滋養品
- 第四百十一類 鶏卵
- 第四百十二類 食料品製造用器具機械
- 第四百十三類 工藝圖案
- 第四百十四類 建築圖案
- 第四百十五類 商用圖案及裝飾圖案レツテル
- 第四百十六類 包装容器
- 第四百十七類 實用新案登録器
- 第四百十八類 登録商標品、登録意匠品
- 第四百十九類 特許品
- 第四百二十三類 美術工藝品
- 第四百二十四類 藝術寫真
- 第四百二十五類 書及篆刻
- 第四百二十六類 參考品

第七部 意匠圖案及特許品

第四百三十七類 各種參考品

第九部 參考品

- 第四百四十類 日本畫
- 第四百五十一類 西洋畫
- 第四百五十二類 彫刻

第八部 美術品

- 第四百五十三類 美術工藝品
- 第四百五十四類 藝術寫真
- 第四百五十五類 書及篆刻
- 第四百五十六類 參考品

審查規程

- 第一條 審查ハ御大典奉祝名古屋博覽會規則第十二條及全出品規程第十四條ノ定ムル出品部類(第八部及第九部ヲ除ク)ニ從ヒ之ヲ行フモノトス
- 第二條 各部ニ審査部長一名ヲ置ク
- 第三條 審査員ハ自己ノ出品物又ハ自己カ採取產出加工製作製造ニ干與シタル出品物ノ審査ニ與カルコトヲ得
- 第四條 審査上必要アルトキハ審査長ハ審査囑託審査補助及鑑定員ヲ置クコトヲ得
- 第五條 審査部長ハ審査員ノ分擔ヲ定ムヘシ
- 二部以上ニ跨リ審査ヲ必要トスル出品アルトキ又ハ第三條ニ該當スル出品物アリタル場合ハ關係審査部長協議ノ上相當審査員ヲ定ムルモノトス
- 第六條 審査部長前條ノ分擔ヲ定メタルトキハ直チニ審査長ニ報告スヘシ
- 前項ノ報告ハ審査部々長ヨリ之レヲ出品部長ニ通知スヘシ
- 第七條 審査部長ハ其ノ部屬ノ審査員ト協議シ評點ノ項目ヲ定メ審査部長ノ承認ヲ受クヘシ
- 第八條 審査部長審査ノ爲審査囑託審査補助及鑑定員ノ必要ヲ認メタルトキハ其旨審査長ニ申出ツヘシ
- 第九條 審査囑託審査補助及鑑定員ハ審査部長ノ指示ニ從ヒ執務スヘシ
- 第十條 審査部長ハ其ノ部屬ノ審査員カ審査ニ着手セントスルトキハ三日前ニ第一號様式ニ依リ及審査ヲ終了シタルトキハ速カニ第二號様式ニ依リ審査長ヲ經テ其旨ヲ出品部長ニ通知シ其復報書ヲ徴スヘシ
- 第十一條 審査ハ成ルヘク陳列ノ現場ニ於テ之ヲ爲スヘシ陳列場外ニ於テ審査ノ必要アルトキハ審査部長ヨリ第三號様式ニ依リ出品部長ニ通知スヘシ

- 第十二條 審査ノ爲出品物ノ試験又ハ分析ヲ要スルモノアルトキハ審査部長ハ其旨出品部長ニ通知スヘシ
- 第十三條 解説書ハ審査員自ラ之ヲ閱覽シ他ニ示スヘカラス
- 第十四條 審査ノ爲出品ト同種ノ物品ヲ要スルトキハ第四號様式ニ依リ豫メ搬入シ得ベキ日時ヲ測リ審査部長ヨリ出品部長ニ通知スヘシ
- 第十五條 審査ノ爲實地臨檢ヲ必要トスルトキハ其臨檢スヘキ場所及日時並ニ審査員ノ氏名ヲ審査部長ヨリ事務總長ニ申出スヘシ審査囑託審査補助鑑定員及書記ヲ伴ハントスルトキ亦全シ
- 第十六條 野菜果實花卉裝飾植物生魚介其他枯死腐敗ノ虞アル物品ハ審査ニ當リ相當期間前ニ其ノ審査日時ヲ出品部長ニ通知スヘシ
- 第十七條 出品部類ノ錯誤等ニ依リ審査ヲ爲ス能ハスト認ムルトキハ直ニ審査部長ヨリ出品部長ニ通知スヘシ
- 第十八條 審査員ハ審査シタル物品ニ對シ各自又ハ合議ノ上評點ヲ附スヘシ評點ハ壹百點ヲ以テ最高トス
- 第十九條 審査員ハ左ノ標準ニ依リ評點ヲ附スヘシ
金牌九十點以上、銀牌八十點以上、銅牌七十點以上、褒狀五十點以上
名譽大賞牌及名譽賞牌ハ金牌中特ニ詮衡ニ依リ之ヲ授與ス
- 第二十條 審査員審査ヲ了シタルトキハ評點ノ整理ヲナシタル後採點一覽表及審査概況報告ト共ニ之ヲ審査部長ニ差出スヘシ
- 第二十一條 審査部長ハ審査員ノ評點及審査概況ヲ取纏メ意見アルモノニ對シテハ意見ヲ附シ其ノ部全體ノ擬賞一覽表及審査概評府縣別擬賞歩合表並ニ擬賞者名簿ト共ニ之ヲ審査部長ニ提出スヘシ
- 第二十二條 評點九十點以上ニ達シタル出品ニ對シテハ審査部長ニ於テ別紙ニ其ノ擬賞スヘキ事由ヲ記載シ之ヲ審査部長ニ提出スヘシ
- 第二十三條 審査部長ハ必要ト認メタルトキハ再審査ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十四條 名譽大賞牌名譽賞牌ニ對スル擬賞ハ審査部長會議ノ結果ニヨリ其他ノ擬賞ハ審査部長ノ報告ニヨリ審査長之ヲ決定ス

第二十五條 審査囑託ノ評點ハ審査員ノ參考ニ供スルモノトス

第二十六條 出品ノ審査ヲ終リタルトキハ其附札ニ審査済ノ印章ヲ捺捺スヘシ

第二十七條 現場審査ハ各部共十月十日迄ニ終了スルモノトス審査員ハ第二十條ノ書類ヲ十月十三日迄ニ審査部長ニ提出シ審査部長ハ之ヲ取纏メ十月二十日迄ニ審査部長ニ提出スヘシ

第二十八條 審査長ハ擬賞ノ結果ヲ審査總長ニ報告スヘシ

第二十九條 審査總長審査長ノ報告ヲ適當ト認メタルトキハ褒賞ノ授與ヲ總裁宮殿下ニ申請ス

第三十條 審査員並ニ審査ノ事務ニ干與スル者ハ審査ニ關スル意見ノ發表又ハ審査ニ係ル一切ノ事項ヲ漏洩スルコトヲ得ス

(様式略)

特設館及賣店規程

- 第一條 本會用地内ニ自費ヲ以テ陳列所、賣店、飲食店、廣告塔其他建築物ヲ建設スルモノハ之ヲ特設館ト稱ス。特設館又ハ本會設備ノ賣店ヲ使用セントスル者ハ願書(第五號様式)ニ取扱品ノ種類及所要坪數ヲ明記シ昭和三年五月末日迄ニ本會事務所ニ願出許可ヲ受クベシ
- 自費建設ノ場合ハ建築設計書及圖面ヲ添付スルコトヲ要ス
- 第二條 前條ノ建設敷地ハ本會ノ指定スル所ニ限り之ヲ貸附ス
- 第三條 特設館建設又ハ賣店使用ハ本會出品者又ハ其ノ團體ニ限ルモノトス
- 第四條 特設館建設敷地使用料及賣店賃貸料左ノ通り定ム

一、特設館敷地使用料

| | | |
|----|--------|-------|
| 特等 | (一坪ニ付) | 八拾圓以上 |
| 一等 | (全上) | 六拾五圓 |
| 二等 | (全上) | 五拾圓 |

二、賣店 賃貸料

| | | |
|----|---------------------|--------|
| 特等 | (一 小間 間口一 間 奥行一 間半) | 百八拾圓以上 |
| 一等 | (全上) | 百五拾圓 |
| 二等 | (全上) | 百貳拾圓 |

九月十三日迄ニ出品陳列及裝飾ヲ完了セルモノニ對シテハ特ニ料金ノ一割ヲ割引シ尙特設館ハ其内容性質ニ依リ特別ノ割引ヲナスコトアルヘシ

第五條 特設館及賣店ハ本會々期中本會事務所ノ許可ナクシテ閉鎖又ハ休業スルコトヲ得ス

第六條 特設館及賣店ニ於テ管理者又ハ代理者ヲ定メタルトキハ直ニ其氏名ヲ本會事務所ニ届出ツヘシ

第七條 賣店ノ賣品ニ對シテハ必ス價格ノ正札ヲ附スヘシ、若シ之ヲ附シ難キモノアル場合ハ見易キ所ニ其定價表ヲ掲クヘシ

第八條 賣店ニ於テ販賣ニ附スル物品ハ豫メ本會ノ承認ヲ受クヘシ

第九條 賣店ニ於テ景品ヲ提供シ若クハ定價ノ割引ヲ爲シ其他特別ノ方法ヲ以テ賣出サントスルトキハ其ノ方法ヲ詳記シ本會事務所ノ承認ヲ受クヘシ

第十條 特設館及賣店ニハ本人、管理者又ハ使用人ノ外泊セシムルコトヲ得ス

第十一條 特設館及賣店ノ裝飾ハ本會事務所ノ許可ヲ受クヘシ

第十二條 賣店ニ於テハ其販賣シタル物品ノ品名、數量、金高ヲ十日毎ニ本會事務所ニ届出ツヘシ

第十三條 特設館及賣店ハ火氣ニ注意シ且其ノ通路及周圍ハ常ニ清潔ニ掃除スヘシ

第十四條 特設館ハ本會閉會ト共ニ閉鎖シ貸付賣店ハ五日以内ニ返納スヘシ

第十五條 自費建設特設館ハ閉會ノ翌日ヨリ十日以内ニ取り拂ヒ原形ニ復シ本會ノ検査ヲ受ケ敷地ヲ返納スヘシ

第十六條 本規程ニ違背シ又ハ本會事務所ノ指示ニ違フトキハ特設館及賣店ノ開設ヲ停止シ又ハ撤去セシムルコトアルヘシ

第十七條 遊戯場、觀覽物、飲食店等ニ就テハ本規程ヲ準用ス(様式略)

處務規程

第一條 本會ノ事務ヲ處理スル爲メ左ノ如ク區分ス

總務部、出品部、工務部、警備衛生部、宣傳部、接待部、餘興部、審査部

第二條 各部ニ部長副部长ヲ置ク

第三條 事務總長ハ各部ノ事務ヲ總理シ理事ハ各部ニ屬シ其ノ事務ヲ分掌ス

各部ノ分掌事務左ノ如シ

總務部

- 一、各部ノ事務聯絡ニ關スル事項
- 一、人事、會議、儀式及機密ニ關スル事項
- 一、文書ノ收受發送、編纂及文書並印章ノ保管ニ關スル事項
- 一、諸契約ニ關スル事項
- 一、豫算ノ執行ニ關スル事項
- 一、諸規程ノ制定運用ニ關スル事項

- 一、事務報告ニ關スル事項
- 一、徽章及制服ニ關スル事項
- 一、宿直ニ關スル事項
- 一、寄附金、補助金ニ關スル事項
- 一、協賛會並博覽會附帶開催ノ諸大會ニ關スル事項
- 一、其他總務ニ關シ他ノ主管ニ屬セザル事項

經理部

- 一、金錢ノ出納ニ關スル事項
- 一、物品ノ購買保管及出納ニ關スル事項
- 一、諸給與ニ關スル事項
- 一、賣上金ノ計算ニ關スル事項
- 一、物品ノ處分ニ關スル事項
- 一、有料入場券ノ出納ニ關スル事項
- 一、請負契約締結ニ關スル事項
- 一、決算ニ關スル事項
- 一、其他經理ニ關スル他ノ主管ニ屬セサル事項

出品部

- 一、出品勸誘ニ關スル事項
- 一、出品物搬入搬出ニ關スル事項

工務部

- 一、出品物陳列及裝飾ニ關スル事項
- 一、出品物ノ販賣ニ關スル事項
- 一、出品目錄及解説書ニ關スル事項
- 一、出品場所ノ配當並特定場所料金ノ協定ニ關スル事項
- 一、出品ニ伴フ諸動力ノ供給ニ關スル事項
- 一、看守人ノ監督ニ關スル事項
- 一、其他出品ニ關シ他ノ主管ニ屬セサル事項

警備衛生部

- 一、敷地、建築、土木ニ關スル事項
 - 一、特設館、賣店、飲食店、建築上ノ取締ニ關スル事項
 - 一、點燈給水ニ關スル事項
 - 一、動力設備ニ關スル事項
 - 一、館内外ノ裝飾ニ關スル事項
 - 一、其他營繕ニ關スル事項
- 警備衛生部
- 一、會場内ノ警備並門鑑ニ關スル事項
 - 一、衛生及救護ニ關スル事項
 - 一、會場内飲食物ノ検査取締ニ關スル事項
 - 一、守衛及夜警ニ關スル事項